ANNUAL REPORT

令和５年度

長崎県美術館年報

Nagasaki Prefectural Art Museum ANNUAL REPORT 2023

No.18

目 次

1．沿革・主な出来事
　1）沿革・主な出来事 ……2
　2）会議 ……3
　3）特記事項 ……3
2．利用者数一覧 ……3
3．展覧会事業
　1）企画展 ……4
　2）コレクション展 ……48
4．教育普及・生涯学習事業
　1）展覧会関連企画 ……74
　2）こどもアートクラブ ……77
　3）移動美術館 ……78
　4）みんなのアトリエ ……81
　5）学校との連携 ……84
　6）海外との教育普及事業連携 ……90
　7）地域連携 ……90
　8）鑑賞ツールの開発 ……90
　9）アトリエブログ ……91
5．補助金等による事業 ……92
6．収集事業
　1）新収蔵作品 ……94
　2）新収蔵図書 ……102
7．保存・修復事業
　1）作品修復 ……103
　2）額装関係 ……103
　3）額の作成 ……104
　4）虫害環境調査 ……104
　5）脱酸性化処理 ……104
8．作品貸出記録 ……105
9．調査・研究事業
　1）研究活動 ……107
　2）刊行物一覧 ……111
10．アートボランティア事業
　1）登録人数 ……119
　2）活動内容 ……119
　3）活動実績 ……119
11．広報マーケティング事業
　1）主要広報記録 ……122
　2）広報印刷物 ……124
　3）ホームページ ……126
　4）アートビジョン ……127
　5）会員事業 ……128
　6）入館者アンケート ……129
　7）研修事業 ……130
12．イベント等
　1）主催・共催のイベント ……131
　2）主催以外のイベント ……132
　3）協力事業 ……132
13．貸施設事業
　1）県民ギャラリー ……134
　2）ホール等 ……135
　3）その他の設備 ……136
14．ショップ、カフェ
　1）ショップ事業 ……137
　2）カフェ事業 ……137
15．収支 ……138
16．組織
　1）組織 ……140
　2）諮問機関 ……141
17．建築概要 ……142
18．基本理念 ……142
19．関係法規 ……143

1．沿革・主な出来事

1）沿革・主な出来事

平成12年11月　「諏訪の森再整備に関する基本方針」を長崎県・長崎市で公表
平成13年１月　長崎県新美術館基本構想専門家会議設置
平成13年４月　長崎県新美術館（仮称）建設基本構想（案）公表
（４～６月、構想（案）に対するパブリックコメント募集）
平成13年７月　長崎県新美術館（仮称）建設基本構想策定
平成13年10月　公募型プロポーザルの結果、「株式会社日本設計／協力：隈研吾」を設計者に決定
平成14年１月　環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議との協議（同年４、７、10月）
平成14年３月　長崎県新美術館（仮称）美術館機能検討会議設置
平成14年10月　建築設計完了
平成15年３月　着工
平成15年10月　美術館条例制定
平成16年１月　財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
平成16年４月　長崎県美術館指定管理者開始
伊東順二館長就任
平成16年11月　スペイン国立プラド美術館にて、プラド美術館との交流に関する覚書を締結
平成17年４月　開館
平成17年６月　「マーブルアーキテクチャーアワード2005 イーストアジア１等賞」受賞
平成17年10月　「グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門」受賞
平成17年12月　「ランドスケープライティングアワード2005 建築外構照明部門 部門最優秀賞」受賞
平成18年２月　「2005長崎市都市景観賞：大きな建物部門」受賞
平成18年５月　「平成17年度プレストレストコンクリート技術協会賞（作品部門）」受賞
「平成17年度照明普及賞（優秀施設賞）」受賞
平成18年６月　「2006ILDA 賞（国際部門）」入賞
平成18年10月　「第14回 CS デザイン賞（サイン部門）」受賞
「カサ・アシア賞」受賞
「日本建築士連合会賞」受賞
平成18年11月　「第47回建築業協会（BCS）賞」受賞
平成18年12月　「第40回 SDA 賞 公共サイン・システムサイン部門（奨励賞）」受賞
平成19年３月　入館者100万人達成
平成19年４月　米田耕司館長就任
平成19年５月　「日本建築家協会賞」受賞
平成20年１月　「2007きゅうでんイルミネーションコンテスト in Nagasaki（団体部門特別賞）」受賞
平成21年４月　指定管理者第２期開始
平成21年９月　入館者200万人達成
平成21年10月　皇太子殿下行啓
平成22年４月　開館５周年記念「プラド美術館所蔵 エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示」開催
平成22年６月　公益財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
平成22年７月　海フェスタながさき「海の総合展」に秋篠宮ご夫妻お成り
平成23年８月　釜山市立美術館との交流に関する協定書を締結
平成24年８月　入館者300万人達成
平成25年４月　自主企画展「現代スペイン・リアリズムの巨匠 アントニオ・ロペス展」全国巡回
平成25年８月　第37回全国高等学校総合文化祭へ秋篠宮殿下、眞子内親王殿下お成り
平成25年９月　釜山市立美術館で「長崎県美術館所蔵品展 スペイン／長崎」開催
平成26年11月　「釜山市立美術館所蔵品展 路地に建てられた都市__釜山」開催
平成27年２月　入館者400万人達成
平成27年４月　指定管理者第３期開始

平成27年４月　開館10周年記念「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画―ボデゴンの神秘」開催
平成28年10月　ねんりんピック長崎2016へ常陸宮妃殿下お成り
平成29年９月　入館者500万人達成
平成30年７月　「日本スペイン外交関係樹立150周年記念企画 スペイン現代写真展『Women&Women』」開催
平成30年10月　「日中美術交流展 日中平和友好条約締結40周年記念」開催
令和元年５月　天皇陛下御即位を慶祝してコレクション展を無料公開
令和２年４月　小坂智子館長就任
令和２年４月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（４月10日～５月24日）、および開館時間短縮
（５月25日～2022年３月31日は18時閉館 ただし、８月１日～12月26日の金曜・土曜を除く）
令和２年11月　入館者600万人達成
令和３年４月　指定管理者第４期開始
令和３年４月　「長崎港開港450周年記念長崎港をめぐる物語」開催
令和３年５月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（５月20日～31日）、および館時間短縮
（４月27日～５月19日、６月１日～９日、８月23日～９月12日は18時閉館。９月14日～18日は19時閉館、令和４年１月21日～３月６日は18時閉館）

２）会議

⑴ 理事会：定時５月30日、第２回11月15日、第３回３月６日
⑵ 評議員会：定時６月16日、第２回３月19日
⑶ スペイン美術アドバイザリーボード：12月３日
⑷ 県民ギャラリー利用審査会：10月18日

３）特記事項

アートボランティア第４期募集及び新たにアートコミュニケーター「よりより」新規募集

２．利用者数一覧

令和５年度入館者実績

単位：人

	総入館者		
	計画	実績	対比
企画展	92,255	111,187	120.5%
コレクション展	36,000	38,702	107.5%
教育普及・生涯学習	27,000	19,317	71.5%
県民ギャラリー等	160,000	147,890	92.4%
＊重複調整	△45,255	△19,619	43.4%
合計	270,000	297,477	110.2%

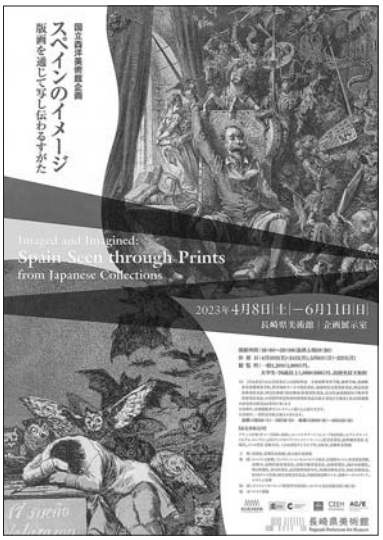
3．展覧会事業

1）企画展

スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた

令和５年４月８日㈯～６月11日㈰　※61日間　　会場：企画展示室
※会期中一部作品・資料の展示替えあり
前期：４月８日㈯～５月７日㈰、後期：５月９日㈫～６月11日㈰

概要：
異国情緒、豊饒な芸術文化、歴史的建造物の数々…。スペインという国のイメージはどのように形成されていったのか。そのイメージ形成に多大なる貢献を果たした版画芸術に焦点を当てた展覧会。スペインに関わる版画制作の史的展開を17世紀初頭から20世紀後半までの長大な時間軸で概観した。写し伝えることのできる美術メディアである版画が、スペインに関するイメージの形成や流布のなかで担った役割について、計200点を超える作品から探った。また本展の出品作は、国立西洋美術館と長崎県美術館所蔵のスペイン美術コレクションを中心にすべて国内で所蔵される作品であったことから、今日までの日本におけるスペイン美術受容とそれに付随した豊かなコレクション形成の様相を浮き彫りにする内容となった。



開催形態：共同企画展

主催：長崎県、長崎県美術館、国立西洋美術館
後援：スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京、在福岡スペイン国名誉領事館、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK 長崎放送局、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎
助成：スペイン・ヨーロッパ研究所（CEEH）、スペイン文化活動公社（AC/E）
協力：ヤマト運輸
企画監修：川瀬佑介（国立西洋美術館主任研究員）

観覧料：一般1,200（1,000）円、大学生・70歳以上1,000（800）円、高校生以下無料
※（　）内は前売りおよび15名以上の団体料金。

入場者数：7,098人（１日あたり116人）

出品点数：220点（前後期合計）

関連事業：
⑴特別講演「スペインに行ってしまったら、これからどうやってスペインについて話しをするつもりなんだい：スペインのイメージの形成の歴史」
日時：４月８日㈯ 14：00～15：30
講師：川瀬佑介（本展監修者、国立西洋美術館主任研究員）
会場：ホール
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：61人
⑵担当学芸員によるギャラリートーク
日時：①４月23日㈰　②５月28日㈰　各日11：00～12：00
会場：企画展示室
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：合計55人（①30人　②25人）
⑶こども鑑賞会「『ドン・キホーテ』の世界に旅立とう！」
＊事前申込
『ドン・キホーテ』の物語に取材した出品作品について、物語世界の事前レクチャーと合わせて展示室内で鑑賞する機会を設けた。
日時：①４月22日㈯　②５月27日㈯　各日13：30～14：30
会場：アトリエ、企画展示室
対象：小学生
参加人数：①６人　②５人
⑷２日間連続ワークショップ「ウォーターレスリトグラフの作品づくり」　＊事前申込
出品作品に多く用いられている平版技法の一種であるウォーターレスリトグラフによる制作ワークショップ。技法の仕組みの解説に始まり、描画・版づくり・刷りといった一連の工程を２日間かけてじっくり取り組む内容。
日時：５月13日㈯、14日㈰　各日10：30～13：00

講師：今泉奏（版画工房 kawalabo！スタッフ）
会場：アトリエ
対象：中学生以上（両日参加前提）
参加人数：14人

⑸「版画技法解説」の配布

本展に並ぶ版画作品の制作技法について、分かりやすく説明した解説を作成し、版画芸術に関するさらなる理解促進のために一般配布を行った。
仕様：A３サイズ
発行部数：5,000部

主要記事等：

・『芸術新潮』雑誌　新潮社 11月25日
・『美術の窓』雑誌　㈱生活の友社　３月20日
・『Pint』NBC 長崎放送　４月８日
・『newsevery』NIB 長崎国際テレビ　４月８日
・『スーパーＪチャンネル』NCC 長崎文化放送　４月８日
・『美術手帖』web 版　美術出版社　４月８日
・松尾えり子「スペインの印象 版画で伝える」『長崎新聞』４月10日
・「スペインのイメージ 版画が伝える」『読売新聞』４月22日
・中継『なんでんカフェ』長崎ケーブルメディア　５月１日
・『Pint』NBC　５月１日
・稲葉友汰「芸術ウェーブ〈121〉繊細で多様な表現の“共演”」『長崎新聞』５月７日
・窪田直子「版画を介し異国の風物伝達」『日本経済新聞』５月13日
・長岡健太郎「版画の持つ力 体感を」『毎日新聞』５月24日
・『芸術新潮』雑誌　新潮社　５月25日
・丸田みずほ「版画介し旅行者が伝えたスペイン」『西日本新聞』６月５日

出品リスト　※本展は長崎県美術館と国立西洋美術館を巡回した。以下リストに記載のない番号の作品は国立西洋美術館のみ出品のもの。

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
Ⅰ 黄金世紀への照射：「ドン・キホーテ」とベラスケス							
ⅰ)『ドン・キホーテ』							
1-1	ミゲル・デ・セルバンテス	『いとも著名なるドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャと彼の従者サンチョ・パンサの物語』（ロンドン：トマス・ホジキン）	1687年刊	書籍	32.0×20.0	京都外国語大学図書館	通期
1-1-ii	逸名画家	ドン・キホーテと人形芝居／魔法の小舟		エングレーヴィング	26.6×15.2		
1-2	ミゲル・デ・セルバンテス	『機知に富んだ郷士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャの生涯と偉業』（2巻、ロンドン：トンソン＆ドッズレー）	1742年	書籍	28.1×22.3		
1-2-I-i	ジョン・ヴァンダーバンク原画、ジョージ・ヴァーチュー版刻	書斎のドン・キホーテ		エングレーヴィング	23.5×18.4（画寸）	清泉女子大学附属図書館	通期
1-2-II-ii	ジョン・ヴァンダーバンク原画、ジェラード・ヴァン・デア・グート版刻	ドン・キホーテの遺言の口述		エングレーヴィング	25.3×18.7（画寸）		
1-3	ウィリアム・ホガース	〈ドン・キホーテ〉1番 グリソストモの埋葬と自身を正当化するマルセーラ	1738年	エッチング、エングレーヴィング	25.6×18.6（紙寸）	市立伊丹ミュージアム	通期
1-6	ウィリアム・ホガース	〈ドン・キホーテ〉4番 ドン・キホーテは漕刑囚を逃してやる	1738年	エッチング、エングレーヴィング	24.5×18.7（紙寸）	市立伊丹ミュージアム	通期
1-7	ウィリアム・ホガース	〈ドン・キホーテ〉5番 不運な岩山の騎士はドン・キホーテに出会う	1738年	エッチング、エングレーヴィング	24.9×18.5（紙寸）	市立伊丹ミュージアム	通期
1-9	ミゲル・デ・セルバンテス	『いとも著名なるドン・キホーテの物語と冒険』（2巻、ロンドン：アンドリュー・ミラー）	1755年	書籍	29.8×23.8		
1-9-I-ii	フランシス・ヘイマン原画、チャールズ・グリニオン1世版刻	酒袋を切りつけるドン・キホーテ		エングレーヴィング	23.6×17.4（画寸）	京都外国語大学図書館	通期
1-9-II-ii	フランシス・ヘイマン原画、チャールズ・グリニオン1世版刻	ドニャ・ロドリゲスの来訪		エングレーヴィング	22.7×17.3（画寸）		
1-10	ミゲル・デ・セルバンテス	『機知に富んだ郷士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ（スペイン王立アカデミーによる新版）』（4巻、マドリード：ホアキン・イバーラ）	1780年	書籍	29.5×23.4		
1-10-I-i	ホセ・デル・カスティーリョ原画、フェルナンド・セルマ版刻	従者サンチョ・パンサを伴い、二度目の旅に出るドン・キホーテ		エングレーヴィング、エッチング	20.7×14.1（画寸）		
1-10-II-ii	アントニオ・カルニセーロ原画、マヌエル・サルバドール・カルモナ版刻	ドン・キホーテは眠りながらワインの入った酒袋に剣や拳で穴を開ける		エングレーヴィング、エッチング	20.5×14.5（画寸）	国立西洋美術館	通期
1-10-III-i	アントニオ・カルニセーロ原画、ホアキン・バリェステール版刻	ドン・キホーテはライオンの前で剣と楯で武装する		エングレーヴィング、エッチング	21.0×14.4（画寸）		
1-10-IV-i	アントニオ・カルニセーロ原画、ホアキン・バリェステール版刻	駿馬クラビレーニョに跨り、風の層と火の層を通過するドン・キホーテ		エングレーヴィング、エッチング	20.5×14.5（画寸）		

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
1-11	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉43番　理性の眠りは怪物を生む	1799年	エッチング、アクアティント	30.8×19.5（紙寸） 21.6×15.2（版寸）	長崎県美術館	通期
1-12	フェリックス・ブラックモン	ドン・キホーテ（ゴヤに基づく）	1860年	エッチング	27.7×18.8（紙寸） 20.8×14.4（画寸）	国立西洋美術館研究資料センター	通期
1-13	ミゲル・デ・セルバンテス	『機知に富んだ郷士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』（2巻､パリ：デュボシェ社）	1836-37年	書籍	27.2×18.6	国立西洋美術館研究資料センター	通期
1-13-I-ii	トニー・ジョアノ原画、アンドリュー、ベスト＆ルロワール版刻	片手でぶら下がるドン・キホーテ		木口木版	15.0×6.5（画寸）		
1-13-II-ii	トニー・ジョアノ原画、トーマス・ウィリアムズ版刻	猫と鈴		木口木版	14.6×9.3（画寸）		
1-14	オノレ・ドーミエ	山中のドン・キホーテ	1850年頃	油彩・板	39.6×31.2	石橋財団　アーティゾン美術館	通期
1-15	オノレ・ドーミエ	ドン・キホーテとサンチョ・パンサ	1850-52年	油彩・板	36.0×52.0	市立伊丹ミュージアム	通期
1-16	ミゲル・デ・セルバンテス	『機知に富んだ郷士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』（2巻､パリ：アシェット書店）	1863年	書籍	44.1×33.7	国立西洋美術館研究資料センター	通期
1-16-I-i	ギュスターヴ・ドレ原画、エリオドール・ピサン版刻	彼の頭は本のなかで読んだもろもろのことからなる幻想でいっぱいになってしまった		木口木版	24.4×19.5（画寸）		
1-16-II-ii	ギュスターヴ・ドレ原画、エリオドール・ピサン版刻	ひどく傷ついて顔に繃帯を巻いたドン・キホーテは…		木口木版	24.3×19.6（画寸）		
1-17	ミゲル・デ・セルバンテス	『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャの物語』（6巻、パリ：ビブリオフィル書店）	1884年	書籍	17.3×10.8	清泉女子大学附属図書館	通期
1-17-I	ジュール・ウォルムス原画、リカルド・デ・ロス・リオス版刻	フィエラブラスの霊薬		エッチング	100×71（画寸）		
1-17-II	ジュール・ウォルムス原画、リカルド・デ・ロス・リオス版刻	片手でぶら下がるドン・キホーテ		エッチング	100×71（画寸）		
1-17-IV-ii	ジュール・ウォルムス原画、リカルド・デ・ロス・リオス版刻	ドン・キホーテとサンチョ・パンサの帰郷		エッチング	101×70（画寸）		
1-18	ルイ・アンクタン	騎士と乞食	1893年	リトグラフ	36.7×50.1	石橋財団　アーティゾン美術館	前期
1-19	ジャッジ・パリー翻案（ミゲル・デ・セルバンテスに基づく）	『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』（ロンドン、マンチェスター：ブラッキー＆サン／シェラット＆ヒューズ）	1900年	書籍	23.4×16.0	明治学院大学図書館	通期
1-19-ii	ウォルター・クレイン	酒袋		写真製版	18.5×12.8		
1-20	アンヘル・リスカーノ	自由(『ドン・キホーテ』より)		油彩・カンヴァス	32.0×52.5	長崎県美術館	通期
1-21	アンヘル・リスカーノ	エル・トボソのドゥルシネーア（『ドン・キホーテ』より）		油彩・カンヴァス	33.2×52.5	長崎県美術館	通期
1-22	アンヘル・リスカーノ	ドン・キホーテとライオン（『ドン・キホーテ』より）		油彩・カンヴァス	32.5×53.0	長崎県美術館	通期
1-23	アンヘル・リスカーノ	自分の島を治めるサンチョ・パンサ（『ドン・キホーテ』より）		油彩・カンヴァス	33.0×52.7	長崎県美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
1-24	ミゲル・デ・セルバンテス	『機知に富んだ郷士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』（2巻、ニューヨーク：リミテッド・エディションズ・クラブ）	1933年	書籍	26.7×19.6	京都外国語大学図書館	通期
1-24-I-i	アンリク・クリストフル・リカル	執筆するセルバンテス		木口木版	19.0×12.8		
1-24-II-ii	アンリク・クリストフル・リカル	クラビレーニョの冒険		木口木版	11.0×12.0		
1-25	サルバドール・ダリ	ドン・キホーテ	1957年	カラー・リトグラフ	41.0×32.5	長崎県美術館	通期
1-26	サルバドール・ダリ	ドゥルシネーアの出現	1957年	カラー・リトグラフ	40.0×31.8	長崎県美術館	通期
1-27	サルバドール・ダリ	夜中に夢想するドン・キホーテ	1957年	カラー・リトグラフ	41.0×32.5	長崎県美術館	通期
1-28	サルバドール・ダリ	酒袋	1957年	カラー・リトグラフ	41.0×32.5	長崎県美術館	通期
1-31	サルバドール・ダリ	黄金時代	1957年	カラー・リトグラフ	41.2×64.2	長崎県美術館	通期
ⅱ）ベラスケス							
1-32	フランシスコ・デ・ゴヤ	マルガリータ・デ・アウストリア騎馬像（ベラスケスに基づく）	1778年	エッチング	56.3×42.7（紙寸） 36.8×31.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-33	フランシスコ・デ・ゴヤ	王妃イサベル・デ・ボルボン騎馬像（ベラスケスに基づく）	1778年	エッチング	60.0×43.0（紙寸） 37.0×31.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-34	フランシスコ・デ・ゴヤ	バルタサール・カルロス王太子騎馬像（ベラスケスに基づく）	1778年	エッチング、ドライポイント	38.5×25.0（紙寸） 34.7×22.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-35	フランシスコ・デ・ゴヤ	イソップ（ベラスケスに基づく）	1778年	エッチング	42.8×30.3（紙寸） 29.7×21.5（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-36	フランシスコ・デ・ゴヤ	メニッポス（ベラスケスに基づく）	1778年	エッチング、エングレーヴィング	41.9×29.2（紙寸） 30.2×21.8（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-37	エドゥアール・マネ	小さな騎士たち	1860年	エッチング、ドライポイント、ルーレット、アクアティント	41.2×58.2（紙寸） 24.9×39.2（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-38	エドゥアール・マネ	スペイン王フェリペ4世（ベラスケスに基づく）	1862年	エッチング、アクアティント、ドライポイント	53.4×36.3（紙寸） 35.5×23.8（版寸）	国立西洋美術館	通期
1-39	エドゥアール・マネ	アブサンを飲む男	1861-62年 ／1867-68年 再制作 （1906-10年）	エッチング、アクアティント	41.6×29.8（紙寸） 25.0×14.6（画寸）	国立西洋美術館	通期
1-41	シャルル・ダヴィリエ編訳	『ベラスケスの覚え書き：フェリペ4世がエル・エスコリアルに送った41点の絵画について』（パリ：A・オーブリー）	1874年	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
	マリアーノ・フォルトゥーニ	ベラスケスの肖像	1873年	エッチング	25.1×17.8（紙寸） 18.3×13.1（版寸）		
1-43	アウレリアーノ・デ・ベルエーテ	『ベラスケス』（パリ：H・ローランス）	1898年	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
	レオン・ボナ	ベラスケスの肖像	1898年	エッチング	33.4×25.8（紙寸） 24.7×19.6（版寸）		
参考出品		「フェリペ4世の肖像」『イリュストラシオン』51巻1300号、64頁	1868年 1月25日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「ルーヴル美術館、ベラスケスの《芸術家たち》」『マガザン・ピトレスク』46巻、69頁	1878年	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「《イソップ》、ベラスケスの絵画」『イリュストラシオン』73巻1879号、189頁	1879年 3月22日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
Ⅱ スペインの「発見」							
ⅰ）旅行者の見たスペイン							
2-1	ジョージ・クルックシャンク	スペインの呪い	1818年	エッチング、手彩色	28.1×43.5（紙寸） 23.8×33.1（版寸）	同志社女子大学	通期
2-3	トマス・ロスコー	『スペインの旅行者：グラナダ』（ロンドン：ロバート・ジェニングス）	1835年	書籍	20.1×13.4	国立西洋美術館研究資料センター	通期
2-3-ii	デーヴィッド・ロバーツ	ダロ川に架かる橋の遺構		リトグラフ	10.1×14.7（画寸）		
2-4-i	デーヴィッド・ロバーツ	〈スペインのピクチャレスクなスケッチ〉５番 セビーリャ大聖堂北翼廊	1837年	リトグラフ	55.0×37.2（紙寸） 39.7×27.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-5	ヴィクトル・ド・フェレアル、マヌエル・デ・クエンディアス	『絵画、芸術、記念碑のスペイン』（パリ：エスノグラフィ書店）	1848年	書籍	26.7×18.1	国立西洋美術館研究資料センター	通期
2-5-i	クレルマン原画、フランソワ・パンヌマケル版刻	セビーリャの顔		木口木版	19.6×12.0（画寸）		
2-6	シャルル・ダヴィリエ	『スペイン紀行』（パリ：アシェット書店）	1862-73年	書籍(『ラ・トゥール・デュ・モンド』誌)	30.7×23.6	国立西洋美術館研究資料センター	通期
2-6-i	ギュスターヴ・ドレ原画、ヤーコプ・エットリンク版刻	トリアナ地区での灯火の宴（バイレ・デ・カンディル）		木口木版	24.0×16.5（画寸）	国立西洋美術館研究資料センター	通期
2-7	ノエル＝マリー＝ペマル・ルルブール編	『ダゲリアンたちの世界旅行』	1840-44年	書籍	27.5×38.8	東京都写真美術館	通期
2-7-i	ノエル＝マリー＝ペマル・ルルブール	グラナダ、スペイン	1841年	ダゲレオタイプに基づくエッチングほか混合技法	14.8×25.2		
2-8	パブロ・ゴンサルボ・ペレス	トレド、アルカンタラ橋	1848-54年	油彩・カンヴァス	30.5×59.8	長崎県美術館	通期
2-9	オーウェン・ジョーンズ、ジュール・グーリ	『アルハンブラの平面、立面、断面、細部図集』（２巻、ロンドン：O・ジョーンズ）	1842-45年	書籍	59.8×45.0	東京藝術大学附属図書館	通期
2-9-I-i	オーウェン・ジョーンズ	船の間	1842-45年	カラー・リトグラフ	59.5×45.0		
2-9-II-i	オーウェン・ジョーンズ	大使の間　パネル装飾	1842-45年	カラー・リトグラフ	59.8×44.8		
2-10	産業振興省特別委員会編	『スペイン建築遺産集成』	1860年	書籍		個人蔵	通期
	ヘロニモ・デ・ラ・ガンダラ原画、エミリオ・アンスレ製版	リンダラハのバルコニー上部部分図（アルハンブラ）	1860年	カラー・リトグラフ	73.1×57.9（紙寸） 65.0×47.8（版寸）		
2-18	アンリ・シャルル・ランドラン	サラゴサの眺め	1852年頃	エッチング	29.5×14.0	山梨県立美術館	通期
2-19	ジャン・アントワーヌ・ダヴィッド・エドゥアール・デルプラット	トレド（上図）	1864年	エッチング	12.8×18.3	山梨県立美術館	通期
2-20	カルロス・デ・アエス	見張り台（エルチェ）	1865年	エッチング	22.7×17.5	山梨県立美術館	通期
2-21	カルロス・デ・アエス	ピコス・デ・エウローパ	1862年頃	エッチング	32.7×45.1（紙寸） 16.0×21.6（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-22	マリアーノ・フォルトゥーニ・マドラソ	グラナダ、ダロ川		エッチング、アクアティント（亜鉛板）	48.1×55.8（紙寸） 35.9×44.8（画寸）	国立西洋美術館	通期
参考出品		「ナシオン通り、スペイン館のファサード」『イリュストラシオン』71巻1841号、365頁	1878年 6月8日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「イタリア座､オペラ『アベン・アメット』全二幕」『イリュストラシオン』84巻2183号、420頁	1884年 12月27日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
ⅱ）人物タイプ							
2-24	フランシスコ・デ・ゴヤ	暗い背景のマハ	1824-28年頃	エッチング、アクアティント、バーニッシャー	19.0×12.4（版寸） 16.3×10.4（画寸）	長崎県美術館	通期
2-25	レオナルド・アレンサ	民衆風俗六景（マホとマノラたち）	1840年頃	リトグラフ	21.7×31.4（紙寸）	国立西洋美術館	通期
2-26	エドワード・ウェーバー製版	ファニー・エルスラー十八番の踊り	1840年頃	リトグラフ、手彩色	33.6×24.7	兵庫県立芸術文化センター（薄井憲二バレエ・コレクション）	通期
2-28	アルフレッド・エドワード・シャロン原画、リチャード・ジェームズ・レーン製版	ポーリーヌ・デュヴェルネーのカチューチャ	1840年代	リトグラフ、手彩色	33.6×26.3	兵庫県立芸術文化センター（薄井憲二バレエ・コレクション）	通期
2-31	ヘンリー・ヴァランタン原画	『パキータ』カルロッタ・グリジ	1847年	リトグラフ、手彩色	23.2×15.5	兵庫県立芸術文化センター（薄井憲二バレエ・コレクション）	通期
2-33	アレクサンドル・ラコーシー原画、Ｊ・リゴ製版	『パキータ』イニゴ役のジョルジュ・エリー	1846年	リトグラフ、手彩色	26.7×17.0	兵庫県立芸術文化センター（薄井憲二バレエ・コレクション）	通期
2-34	エドゥアール・マネ	スペインの歌手（またはギタレロ）	1861年	エッチング、ルーレットなど	34.3×26.0（紙寸） 29.6×24.1（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-35	エドゥアール・マネ	ジプシーたち	1862年	エッチング、ドライポイント	51.6×34.7（紙寸） 33.0×23.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-36	エドゥアール・マネ	ロラ・ド・ヴァランス	1863年	エッチング、アクアティント	44.0×34.8（紙寸） 26.2×18.2（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-38	ギュスターヴ・クールベ	もの思うジプシー女	1869年	油彩・カンヴァス	50.3×61.0	国立西洋美術館（松方コレクション）	通期
2-42	ジュール・ドランシー	たばこ「ジタン」のポスター（フランス専売公社）	1931年	カラー・リトグラフ	161.0×122.0	たばこと塩の博物館	通期
2-43	ジュゼップ・モレイ	スペイン	1948年頃	カラー・リトグラフ、オフセット印刷	99.9×62.5	サントリーポスターコレクション（大阪中之島美術館寄託）	前期
2-44	ジュゼップ・モレイ	スペイン	1948年	カラー・リトグラフ、オフセット印刷	100.2×62.4	サントリーポスターコレクション（大阪中之島美術館寄託）	後期
参考出品		「スペイン人のタイプ」『イリュストラシオン』8巻189号、88-89頁	1846年 10月10日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「オペラ座、パキータ」『イリュストラシオン』7巻163号、92頁	1846年 4月11日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「ペトラ・カマラ」『イリュストラシオン』17巻418号、133頁	1851年 3月7日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
参考出品		「オペラ＝コミック座、カルメン」『イリュストラシオン』65巻1672号、172頁	1875年 3月13日	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
ⅲ）ゴヤの影響：ドラクロワ、マネ							
2-46	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉5番　類は友を呼ぶ	1799年	エッチング、アクアティント、ドライポイント	29.1×19.8（紙寸） 20.0×15.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-47	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉16番　神よお赦し下さい、それが母親だったとは	1799年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー、ドライポイント	29.3×19.9（紙寸） 19.8×15.0（版寸）	国立西洋美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
2-48	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉55番　死ぬまで	1799年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー、ドライポイント	29.5×20.0（紙寸） 21.6×15.2（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-49	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉64番　良いご旅行を	1799年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー、エングレーヴィング	29.5×20.0（紙寸） 21.6×15.2（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-50	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉66番　ほら、あっちへ飛んで行くよ	1799年	エッチング、アクアティント、ドライポイント	29.5×20.2（紙寸） 20.9×16.6（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-51	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉69番　それ吹け	1799年	エッチング、アクアティント、ドライポイント、エングレーヴィング	29.5×20.0（紙寸） 21.3×14.8（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-52	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉15番　もう助かる道はない	1810-15年頃 （1863年）	エッチング、エングレーヴィング、ドライポイント、バーニッシャー	24.9×34.5（紙寸） 14.0×16.8（版寸）	長崎県美術館	通期
2-53	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉22番　これではすまない	1810年 （1863年）	エッチング、ラヴィ、エングレーヴィング	24.9×34.5（紙寸） 16.0×25.2（版寸）	長崎県美術館	通期
2-54	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉38番　なんと野蛮な	1810-15年頃 （1863年）	エッチング、アクアティント、エングレーヴィング、バーニッシャー	24.8×34.5（紙寸） 15.5×20.6（版寸）	長崎県美術館	通期
2-55	ウジェーヌ・ドラクロワ	ゴヤ〈ロス・カプリーチョス〉に基づく習作		インク・紙	20.4×31.7（紙寸）	横浜美術館（坂田武雄氏寄贈）	通期
2-56	ウジェーヌ・ドラクロワ	魔女たちの言葉を聞くマクベス	1825年	リトグラフ	54.5×36.0（紙寸） 32.0×25.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-57	ウジェーヌ・ドラクロワ	〈ゲーテ『ファウスト』による連作〉空を飛ぶメフィストフェレス	1828年	リトグラフ	53.4×35.7（紙寸） 27.0×23.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-58	ウジェーヌ・ドラクロワ	〈ゲーテ『ファウスト』による連作〉ファウストの前に現われたマルガレーテの亡霊	1828年	リトグラフ	35.5×53.2（紙寸） 26.0×35.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-59	エドゥアール・マネ	異国の花（マンティーリャをかぶる女）	1868年 （1869年）	リトグラフ	17.4×11.5（画寸）	山梨県立美術館	通期
2-60	エドゥアール・マネ	ベルト・モリゾの肖像	1872-1874年 （1884年）	リトグラフ	43.5×31.5（紙寸） 25.0×17.5（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-62	エドゥアール・マネ	マクシミリアンの処刑	1868年頃 （1884年）	リトグラフ	52.1×66.5（紙寸） 33.3×43.2（画寸）	国立西洋美術館	通期
2-63	エドゥアール・マネ	バリケード	1871年頃 （1884年）	リトグラフ	55.9×71.7（紙寸） 33.1×46.4（版寸）	国立西洋美術館	通期
2-64	エドゥアール・マネ	内戦	1874年	リトグラフ	48.7×63.8（紙寸） 39.8×50.5（画寸）	国立西洋美術館	通期
参考出品		「フランシスコ・ゴヤ、スペイン人画家」「祖父の代までも」「おめかし」（〈ロス・カプリーチョスの模写〉）『マガザン・ピトレスク』２巻、324-325頁	1834年	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
Ⅲ 闘牛、生と死の祭典							
3-1	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈闘牛技〉11番　英雄エル・シッド、別の牡牛を角で突く	1816年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー、ドライポイント	25.0×35.0（版寸） 31.3×43.8（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-2	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈闘牛技〉20番　マドリードの闘牛場でフアニート・アピニャーニが見せた敏捷さと大胆さ	1816年	エッチング、アクアティント	24.5×35.7（版寸） 31.2×43.4（紙寸）	長崎県美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
3-3	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈闘牛技〉21番　マドリードの闘牛場の無蓋席で起こった悲劇とトレホーン市長の死	1816年	エッチング、アクアティント、ラヴィ、バーニッシャー、エングレーヴィング、ドライポイント	24.6×35.6（版寸） 31.3×43.8（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-4	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈闘牛技〉31番　炎のバンデリーリャ	1816年	エッチング、アクアティント、ラヴィ、バーニッシャー、エングレーヴィング、ドライポイント	24.4×35.3（版寸） 31.1×44.1（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-5	フランシスコ・デ・ゴヤ	雄牛の角で持ち上げられた盲人	1804年以前 （1867年）	エッチング、アクアティント、ドライポイント	17.5×21.6（版寸） 20.9×28.9（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-6	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ボルドーの闘牛〉二分された闘牛場	1825年	リトグラフ	45.5×61.0（紙寸） 30.0×41.5（版寸）	国立西洋美術館	通期
3-7	パブロ・ピカソ	〈闘牛技〉5番　ドン・タンクレドと呼ばれる技	1957年 （1959年）	シュガー・アクアティント	21.0×30.0	高崎市美術館	通期
3-8	パブロ・ピカソ	〈闘牛技〉9番　突き棒での跳躍	1957年 （1959年）	シュガー・アクアティント	21.0×30.0	高崎市美術館	通期
3-9	パブロ・ピカソ	〈闘牛技〉15番　バンデリーリャを突き刺す	1957年 （1959年）	シュガー・アクアティント	21.0×30.0	高崎市美術館	通期
3-10	パブロ・ピカソ	〈闘牛技〉19番　牡牛が角で闘牛士を引っかける	1957年 （1959年）	シュガー・アクアティント	21.0×30.0	高崎市美術館	通期
3-11	パブロ・ピカソ	剣で刺されたミノタウロス（闘牛場で若者に殺されるミノタウロス）	1933年 （1939年）	エッチング	34.0×44.5（紙寸） 19.3×26.9（版寸）	北九州市立美術館	通期
3-12	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス	1934年 （1939年）	アクアティント	24.7×34.7	井内コレクション	通期
3-14	パブロ・ピカソ	ミノタウロマキア	1935年	エッチング、スクレーパー、エングレーヴィング	49.5×69.0	DIC川村記念美術館	通期
3-15	アントニオ・サウラ	無題（サウロマシー）	1990年	アクリル・ゼラチンシルバープリント	50.4×40.7（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-16	アントニオ・サウラ	無題（サウロマシー）	1990-91年	アクリル・ゼラチンシルバープリント	50.5×39.7（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-17	アントニオ・サウラ	無題（サウロマシー）	1991年	アクリル・ゼラチンシルバープリント	50.4×40.4（紙寸）	長崎県美術館	通期
3-18	アントニオ・サウラ	無題（サウロマシー）	1991年	アクリル・ゼラチンシルバープリント	40.9×50.5（紙寸）	長崎県美術館	通期
Ⅳ 19世紀カタルーニャにおける革新							
ⅰ）フォルトゥーニ							
4-1	マリアーノ・フォルトゥーニ	タンジェ	1861年 （1875年）	エッチング	32.5×23.7（紙寸） 10.0×9.5（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-2	マリアーノ・フォルトゥーニ	友人の遺体を悼むアラブ人	1866年	エッチング、アクアティント	29.2×47.1（紙寸） 22.1×41.2（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-3	マリアーノ・フォルトゥーニ	死せるカビリア人	1867年 （1869年）	エッチング、アクアティント	43.7×62.0（紙寸） 21.0×40.5（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-4	マリアーノ・フォルトゥーニ	テトゥアンのカスバの衛兵たち	1869年	エッチング	58.0×47.0（紙寸） 21.8×17.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-5	マリアーノ・フォルトゥーニ	カードを切る女	1867年 （1869年）	エッチング、アクアティント、ドライポイント	61.5×44.5（紙寸） 11.0×17.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-6	マリアーノ・フォルトゥーニ	植物愛好家	1869年 （1878年）	エッチング	32.6×24.8（紙寸） 27.7×21.7（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-7	マリアーノ・フォルトゥーニ	浜辺の小舟	1878年	エッチング	24.0×32.5（紙寸） 5.9×9.9（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-8	マリアーノ・フォルトゥーニ	隠遁者	1869年 （1878年）	エッチング、アクアティント	40.5×55.0（紙寸） 37.4×50.3（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-9	ジュゼペ・デ・リベーラ	書物を読む聖ヒエロニムス	1624年	エッチング、エングレーヴィング、ドライポイント	20.9×27.0（紙寸） 19.6×25.7（版寸）	国立西洋美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
ⅱ）バルセロナからパリへ：世紀末の光と影							
4-10	ラモン・カザス	ペラ・ルメウと４匹の猫	1897年頃	鉛筆、インク・紙	8.9×18.8（紙寸）	国立西洋美術館	通期
参考出品		パンフレット「常連画家がアルス・クアトラ・ガッツの大ホールにて展示した素描、油彩習作一覧」	1897年	パンフレット		国立西洋美術館研究資料センター	通期
4-11	ラモン・カザス	「アニス・デル・モノ」のポスター	1898年	カラー・リトグラフ	219.0×112.0(紙寸)	国立西洋美術館	通期
4-12	アドリア・グアル	罪深き女	1899年	カラー・リトグラフ	69.5×100.0(紙寸)	国立西洋美術館	通期
4-13	アドリア・グアル	オルフェオ・カタラ合唱団のポスター	1904年	カラー・リトグラフ	77.0×111.0(紙寸)	国立西洋美術館	通期
4-14	ラモン・ピチョット	２人の少女	1906年頃	エッチング、アクアティント、プペ法による着彩	23.2×27.9（紙寸） 19.5×25.3（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-15	ジョアキム・スニェル	〈ジャン・リクテュス「貧者の独白」のための連作〉冬	1897年	カラー・リトグラフ	31.5×22.2（紙寸） 13.2×8.9（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-18	ジョアキム・スニェル	〈ジャン・リクテュス「貧者の独白」のための連作〉亡霊	1897年	カラー・リトグラフ	31.6×22.2（紙寸） 13.4×8.1（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-21	ジョアキム・スニェル	〈ジャン・リクテュス「貧者の独白」のための連作〉ファランドール	1897年	カラー・リトグラフ	31.5×22.1（紙寸） 12.9×8.9（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-23	ジョアキム・スニェル	サン・マルタン運河の船	1903年頃	エッチング	40.5×55.0（紙寸） 37.4×50.3（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-24	リカル・カナルス	通りの人物	1899年	エッチング、ドライポイント	50.6×33.7（紙寸） 38.5×27.0（版寸）	個人蔵	通期
4-25	パブロ・ピカソ	読書するアンジェル・フェルナンデス・デ・ソト	1898-99年	コンテ・紙	22.3×16.0	個人蔵	通期
4-26	パブロ・ピカソ	リュイス・アレマニの肖像	1899-1900年	グアッシュ、木炭・紙	47.0×31.0	井内コレクション	通期
4-27	パブロ・ピカソ	宝石	1899-1900年	木炭、鉛筆、水彩・紙	46.3×27.4	SOMPO 美術館	通期
4-28	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904年 （1913年）	アクリル・ステンレス	65.8×50.7（紙寸） 46.3×37.7（画寸）	国立西洋美術館	通期
4-29	パブロ・ピカソ	サルタンバンク	1905年 （1913年）	ドライポイント	51.0×66.0（紙寸） 28.8×33.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
4-30	パブロ・ピカソ	貧しき人々	1905年 （1913年）	エッチング	48.4×33.5（紙寸） 23.6×17.9（版寸）	国立西洋美術館	通期
Ⅴ ゴヤを超えて：20世紀スペイン美術の水脈を探る							
ⅰ）「エスパーニャ・ネグラ」							
5-1	作者不詳	メメント・モリ	17世紀	木版	32.1×22.1（紙寸） 30.5×21.0（画寸）	国立西洋美術館	通期
5-2	ジュゼペ・デ・リベーラ	グロテスクな小さな頭部	1622年	エッチング	14.7×11.1（紙寸） 14.5×10.9（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-3	ジュゼペ・デ・リベーラ	最後の審判のラッパの音を聞く聖ヒエロニムス	1621年	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング	35.0×25.5（紙寸） 32.5×24.6（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-4	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉24番　救いの道はなかった	1799年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー	29.5×20.2（紙寸） 21.7×15.2（画寸）	国立西洋美術館	通期
5-5	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈ロス・カプリーチョス〉46番　訓戒	1799年	エッチング、アクアティント、バーニッシャー	29.5×20.2（紙寸） 21.7×14.9（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-6	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉41番　炎をくぐって逃げる	1810-15年頃 （1863年）	エッチング、エングレーヴィング	24.7×34.5（紙寸） 16.0×23.3（版寸）	長崎県美術館	通期
5-7	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉66番　奇妙な信心！	1810-15年頃 （1863年）	エッチング、アクアティント、バーニッシャー	24.9×34.5（紙寸） 17.5×22.0（版寸）	長崎県美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
5-8	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈妄〉4番　大阿呆	1816-19年頃 (1864年)	エッチング、アクアティント、ドライポイント他	33.4×49.3（紙寸） 24.5×35.3（版寸）	長崎県美術館	通期
5-9	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈妄〉14番　謝肉祭の妄	1816-19年頃 (1864年)	エッチング、アクアティント	24.3×35.0（版寸） 33.0×49.0（紙寸）	長崎県美術館	通期
5-10	フランシスコ・デ・ゴヤ	もし有罪ならば早く死なせろ	1810-15年頃 (1859年頃)	エッチング	22.4×16.4（紙寸） 11.7×8.6（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-11	フランシスコ・デ・ゴヤ	盲目の歌人	1824-28年 (19世紀後半)	エッチング、アクアティント、ドライポイント、エングレーヴィング	18.6×12.2（版寸） 35.6×26.3（紙寸）	長崎県美術館	通期
5-12	エミール・ヴェラーレン、ダリオ・デ・レゴヨス	『エスパーニャ・ネグラ』(マドリード：ラ・レクトゥーラ)	1924年	書籍		国立西洋美術館研究資料センター	通期
	ダリオ・デ・レゴヨス	御者台からの印象		木版	14.5×9.7		
5-13	イグナシオ・スロアガ	3人のスペイン女性（デトマ三姉妹）	1899年	エッチング	48.9×34.1（紙寸） 25.0×20.9（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-14	リカルド・バローハ	〈スペインの情景〉郊外の二人	1906年	エッチング、アクアティント	24.8×35.3（紙寸） 13.4×21.2（版寸）	長崎県美術館	通期
5-15	リカルド・バローハ	〈スペインの情景〉教理問答	1905-06年頃	エッチング	24.3×35.1（紙寸） 13.7×21.8（版寸）	長崎県美術館	通期
5-16	リカルド・バローハ	仮装行列	1927年頃	リトグラフ	15.3×38.1（紙寸） 11.5×33.0（画寸）	長崎県美術館	通期
5-17	リカルド・バローハ	カスティーリャの都市	1910年 (1953年)	エッチング、アクアティント、ルーレット	37.1×27.8（画寸）	個人蔵	通期
5-18	リカルド・バローハ	メモリア門	1912年	油彩・カンヴァス	81.6×100.3	長崎県美術館	通期
5-19	ジェームズ・クレイグ・アナン	盲の旅音楽師、グラナダ	1914年	フォトグラビア	20.1×11.9	東京都写真美術館	通期
5-23	ホセ・グティエレス・ソラーナ	『エスパーニャ・ネグラ』(マドリード：ベルトラン)	1920年	書籍	19.1×12.9	長崎県美術館	通期
5-24	ホセ・グティエレス・ソラーナ	ラ・ベアタ（信心深い女）	1932-33年 (1946年)	エッチング、アクアティント	38.0×26.4（紙寸） 13.5×11.0（版寸）	国立西洋美術館	通期
5-25	ホセ・グティエレス・ソラーナ	腕を組んで踊る仮面たち	1932-33年頃 (1943年以前)	エッチング	26.3×19.1（紙寸） 15.7×12.4（版寸）	長崎県美術館	通期
5-26	ホセ・グティエレス・ソラーナ	怪しげな仮面	1925年頃	パステル、鉛筆	69.3×53.8	長崎県美術館	通期
5-27	ホセ・グティエレス・ソラーナ	宗教行列	1938年頃	油彩・カンヴァス	46.0×38.0	長崎県美術館	通期
5-28	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト作業員	1930年頃	油彩・カンヴァス	100.0×73.0	長崎県美術館	通期
5-29	アントニ・クラベ	〈ドメニコス・テオトコプロス讃〉7番　ドン・フェリペ	1965年	カラー・リトグラフ	65.5×51.0	個人蔵（北九州市立美術館寄託）	通期
5-30	アントニ・クラベ	〈ドメニコス・テオトコプロス讃〉11番　オーパ伯爵	1965年	カラー・リトグラフ	65.5×51.0	個人蔵（北九州市立美術館寄託）	通期
5-31	アントニ・クラベ	〈ドメニコス・テオトコプロス讃〉13番　胸の手	1965年	カラー・リトグラフ	65.5×51.0	個人蔵（北九州市立美術館寄託）	通期
5-33	ホセ・エルナンデス	黒の葛藤	1973年	エッチング、アクアティント	76.0×56.3（紙寸） 49.6×33.4（版寸）	長崎県美術館	通期
5-34	ホセ・エルナンデス	静物－オマージュ	1990年	エッチング、アクアティント	17.7×20.0（紙寸） 56.1×37.9（版寸）	長崎県美術館	通期
5-35	ホセ・エルナンデス	バカナル2	1975年	エッチング	45.6×31.7（紙寸）	長崎県美術館	通期
5-38	ホセ・エルナンデス	バカナル7	1975年	エッチング	45.5×31.9（紙寸）	長崎県美術館	通期
ⅱ）叫びと抵抗：20世紀スペインにおける政治と美術							
5-39	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉5番　やはり野獣だ	1810-15年頃 (1863年)	エッチング、アクアティント、ドライポイント、バニッシャー	24.8×34.4（紙寸） 15.5×20.5（版寸）	長崎県美術館	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
5-40	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉7番　なんと勇敢な	1810-15年頃（1863年）	エッチング、アクアティント、ドライポイント、エングレーヴィング、バーニッシャー	24.9×34.5（紙寸） 15.5×20.5（版寸）	長崎県美術館	通期
5-41	フランシスコ・デ・ゴヤ	〈戦争の惨禍〉3番　同じことだ	1810-15年頃（1863年）	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、エングレーヴィング、バーニッシャー	24.8×34.6（紙寸） 16.1×21.1（版寸）	長崎県美術館	通期
5-42	サルバドール・アリーバス	7月18日 1936年／1937年	1937年	カラー・リトグラフ	100.2×68.6	サントリーポスターコレクション（大阪中之島美術館寄託）	前期
5-43	ホセ・バルダサーノ	1936年7月18日	1937年	カラー・リトグラフ	100.3×68.9	サントリーポスターコレクション（大阪中之島美術館寄託）	後期
5-44	リカルド・バローハ	道の下	1937年	油彩・合板	33.2×50.1	長崎県美術館	通期
5-45	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅰ	1937年	エッチング、アクアティント	31.0×41.5	高崎市美術館	通期
5-46	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅱ	1937年	エッチング、アクアティント	31.0×41.5	高崎市美術館	通期
5-48	ジュアン・ミロ	スペインを救え	1937年	ステンシル・リトグラフ	30.7×23.6	広島県立美術館	通期
5-49	ジュアン・ミロ	〈黒と赤〉8番	1938年	エッチング	17.0×25.7	横浜美術館	通期
5-51	ジュアン・ミロ	〈ユビュ王〉3番　ポーランド王の宮殿で	1966年	カラー・リトグラフ	33.2×43.1	うらわ美術館	通期
5-52	ジュアン・ミロ	〈ユビュ王〉5番　ポーランド王の虐殺	1966年	カラー・リトグラフ	33.2×43.1	うらわ美術館	通期
5-55	アントニ・タピエス	〈カタルーニャ組曲〉2番	1972年	アクアティント	75.0×100.0	株式会社ミウラ（ミウラート・ヴィレッジ寄託）	通期
5-57	アントニ・タピエス	〈カタルーニャ組曲〉4番	1972年	アクアティント	75.0×100.0	株式会社ミウラ（ミウラート・ヴィレッジ寄託）	通期
5-60	アントニ・タピエス	〈カタルーニャ魂〉2番	1974年	カラー・エッチング、エンボス	46.0×76.0	株式会社ミウラ（ミウラート・ヴィレッジ寄託）	通期
5-61	フアン・ヘノベス	無題	1970年	エッチング（モノタイプ）	32.2×44.7（版寸） 49.7×65.5（紙寸）	長崎県美術館	通期
5-62	ラファエル・カノガール	音楽の戦士たち	1972年	カラー・リトグラフ、写真石版	75.9×56.1	町田市立国際版画美術館	通期
5-63	ラファエル・カノガール	デモ	1972年	カラー・リトグラフ、写真石版	56.0×75.9	町田市立国際版画美術館	通期
Ⅵ 日本とスペイン							
6-1	パブロ・ピカソ	母親の身づくろい	1905年（1913年）	ドライポイント	23.5×17.7	横浜美術館	通期
6-3	アントニ・クラベ	鳥籠を持つ女（鳥籠を持つ子ども）	1950年	カラー・リトグラフ	48.5×34.5	石橋財団　アーティゾン美術館	後期
6-4	アントニ・クラベ	〈ガルガンチュア物語〉ピクロコルの顧問官の早計浅慮（第33章）	1955年	カラー・リトグラフ	38.0×57.0	神奈川県立近代美術館	通期
6-6	アントニ・クラベ	手袋のアッサンブラージュ	1976年	カラー・アクアティント、カーボランダム	102.0×148.5(版寸) 123.7×160.6(紙寸)	長崎県美術館	通期
6-8	フランシスコ・ボレス	くしけずる女		カラー・リトグラフ	43.5×28.5	神奈川県立近代美術館	通期
6-9	ジュアン・ミロ	〈岩壁の軌跡〉3番	1967年	エッチング、アクアティント、カーボランダム	58.5×92.5	北九州市立美術館	通期
6-10	ジュアン・ガルディ・アルティガス	無題	1968年頃	カラー・リトグラフ	76.7×63.2	個人蔵	通期

番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
6-11	サルバドール・ダリ	〈神話篇〉レダ	1964年	エリオグラヴュール、ドライポイント、エッチングなど混合技法	76.5×56.9（紙寸） 50.6×40.8（画寸）	国立西洋美術館	通期
6-12	アントニ・タピエス	ふるい	1971年	エッチング、エンボス	65.0×69.4	熊本県立美術館	通期
6-14	アントニ・タピエス	1） 2） 3）	1975年	カラー・エッチング	44.0×69.5	北九州市立美術館	通期
6-16	アントニ・タピエス	下着	1972年	カーボランダム、手彩色	60.0×77.0	株式会社ミウラ（ミウラート・ヴィレッジ寄託）	通期
6-17	アントニ・タピエス	アンフォルメル	1987年	エッチング、カーボランダム、コラグラフ	79.0×70.0	長崎県美術館	通期
6-20	エドゥアルド・チリーダ	逸れるⅣ	1973年	エッチング	79.0×60.5（紙寸） 23.8×29.7（版寸）	長崎県美術館	通期
6-21	エドゥアルド・チリーダ	ペンローズ礼讃	1981年	エッチング	29.0×25.1	町田市立国際版画美術館	通期
6-22	アントニ・クラベ	作品Ⅲ（トランプの王様）	1955年	カラー・リトグラフ	86.0×63.5	石橋財団　アーティゾン美術館	後期
6-23	エキポ・クロニカ	新聞を読む人（街路）	1978年	シルクスクリーン	74.5×60.5	石橋財団　アーティゾン美術館	前期
6-24	ホセ・エルナンデス	神託	1975年	エッチング	64.6×50.0（紙寸） 49.5×34.3（版寸）	長崎県美術館	通期
6-27	エウセビオ・センペーレ	〈十字架の聖ヨハネ『霊の賛歌』による連作〉第4篇	1982年	シルクスクリーン	56.0×45.4（紙寸） 45.7×32.7（画寸）	国立西洋美術館	通期
6-29	エウセビオ・センペーレ	〈十字架の聖ヨハネ『霊の賛歌』による連作〉第14篇	1982年	シルクスクリーン	56.0×45.4（紙寸） 53.8×44.4（画寸）	国立西洋美術館	通期
6-33	エウセビオ・センペーレ	〈十字架の聖ヨハネ『霊の賛歌』による連作〉第35篇	1982年	シルクスクリーン	56.0×45.4（紙寸） 55.1×44.1（画寸）	国立西洋美術館	通期
6-34	ドロテオ・アルナイス	あざみ	1992年	メゾティント	15.8×24.5	山梨県立美術館	通期
6-36	アルベール・ラフルス・カサマダ	海の印	1990年	エッチング、アクアティント	90.0×63.0	南アルプス市立美術館　山本正文コレクション	通期
6-37	ジュアン・エルナンデス・ピジュアン	雲	1992年	アクアティント	76.0×56.0（紙寸） 40.0×50.0（版寸）	南アルプス市立美術館　山本正文コレクション	通期
6-38	ジュアン・エルナンデス・ピジュアン	耕地	1996年	アクアティント	76.0×56.0（紙寸） 49.5×38.5（版寸）	南アルプス市立美術館　山本正文コレクション	通期

イッタラ展　フィンランドガラスのきらめき

令和５年７月１日㈯～９月３日㈰　※62日間　　会場：企画展示室

概要：
フィンランドを代表するライフスタイルブランド、イッタラ。デザイン史をけん引した建築家やデザイナーとともに歩んできたことで知られ、美しさと機能性をすべての人へ提供するという思想のもと送り出されたプロダクトは、今なお世界中で愛され続けている。本展は、イッタラ創立140年を記念しフィンランド・デザイン・ミュージアムが開催した展覧会を再構成し、日本との関係に焦点を当てた章を加えた内容であった。ガラスを中心に、陶磁器、映像等をあわせた約450点を通して、イッタラの技術と哲学、デザインの美学に迫る展覧会となった。また、一つのブランドを紹介するという事にとどまらず、機能性、シンプルさ、美しさ、職人の技術、サステナビリティといった、フィンランドのデザインで普遍的に大切にされてきた価値観について、作品を通して具体的に理解できる展示内容でもあった。

開催形態：共催展（実行委員会方式／巡回展）

主催：長崎県美術館、フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社、NCC 長崎文化放送
後援：フィンランド大使館、長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎
特別協力：Iittala
助成：（公財）長崎バス観光開発振興基金

観覧料：一般1,300（1,100）円、大学生・70歳以上1,100（900）円
※高校生以下無料
※（　）内は前売りおよび15名以上の団体料金

入場者数：17,979人（一日あたり290人）

出品点数：約450点

関連事業：
ギャラリートーク
日時：①７月29日㈯　②８月12日㈯　各日14：30～
会場：企画展示室
講師：川口佳子（長崎県美術館学芸員）
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：①30人　②30人

主要記事等：
・『トコトン Happy』NCC 長崎文化放送　６月23日
・『美術手帖』web 版　美術出版社　６月24日
・『スーパー J チャンネル』NCC 長崎文化放送　６月30日、７月14日、７月21日、７月28日
・石倉徹也「イッタラ　美・技輝く」『朝日新聞』７月２日
・中継『なんでんカフェ』長崎ケーブルメディア　８月10日
・中継『トコトン Happy サタデー』NCC 長崎文化放送　８月11日
・松尾えり子「目にも涼やかなガラス作品」『長崎新聞』８月25日

出品リスト：

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
1　Timeline　イッタラ140年の歴史					
1881年～　イッタラ社の創業期					
1-1-1	作者不詳	皿《アメリコンスカ》（Amerikanska、アメリカン）	1913年	プレスガラス	イッタラ
1-1-2、3	アルフレッド・グスタフソン	砂糖入れ、クリーマー《ヴァークナ》（Vaakuna、紋章）	1905年頃	プレスガラス	イッタラ
1-1-4～7	作者不詳	クリスタルグラス《ソシエテ》（société）	1900年	吹きガラス、クリスタル・カット	イッタラ
1-1-8		写真資料　イッタラ製品カタログ	1889年		イッタラ
1-1-10、11		写真資料　イッタラの工場で働く吹きガラス職人たち	1940年代		
1-1-12		写真資料　花器を制作するガラス彫り職人	1940年代		
1930年代　カルフラとイッタラ　アアルト夫妻との共同作業					
1-2-1		写真資料　カルフラのカタログ	1938年		
1-2-2		写真資料　カルフラ　イッタラのパッケージ	1950年代		
1-2-3	アイノ・アアルト	タンブラー《ボルゲブリック》（Bölgeblick、水紋）	1932年	プレスガラス	カルフラ＝イッタラ
1-2-4	アイノ・アアルト	タンブラー《ボルゲブリック》（Bölgeblick、水紋）	1932年／1940年代プレスガラス	カルフラ＝イッタラ	
1-2-5	アイノ・アアルト	タンブラー《アイノ・アアルト》（Aino Aalto）	1932年／1986年	吹きガラス	イッタラ
1-2-6	アイノ・アアルト	タンブラー《アイノ・アアルト》（Aino Aalto）	1932年／2022年	プレスガラス	イッタラ
1-2-7	アイノ・アアルト	タンブラー《アイノ・アアルト》（Aino Aalto）	1932年／2022年	プレスガラス	イッタラ
1-2-8	アイノ・アアルト	写真資料　アイノ・アアルトのガラス製品	1932年／1990年代		
1940年代　ガラス・デザイン・コンペティション					
1-3-1	カイ・フランク	タンブラー	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ
1-3-2	カイ・フランク	ボトル	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ
1-3-3	カイ・フランク	皿	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ
1-3-4	カイ・フランク	写真資料　エングレービングのためのスケッチ	1946年		イッタラ
1-3-6	タピオ・ヴィルカラ	花器《カルヴォラン　カント》（Kalvolan kanto、カルヴォラの切り株）	1948年	吹きガラス	イッタラ
1-3-7		映像資料《カルヴォラン　カント（カルヴォラの切り株）》の制作風景	1948年		
1950年代　サルパネヴァとｉロゴ					
1-4-1	ティモ・サルパネヴァ	写真資料　イッタラのカタログ表紙のためのドローイング	1951年		
1-4-3	ティモ・サルパネヴァ	写真資料　カルフラ　イッタラ・ガラス工場のポスター	1951年		イッタラ
1-4-4	ティモ・サルパネヴァ	写真資料　カルフラ・ガラスの瓶のポスター	195		
1-4-5～7	ティモ・サルパネヴァ	ボトル、タンブラー《i-ライン》	1956年	吹きガラス	イッタラ
1-4-8	ティモ・サルパネヴァ	《i-ライン》のパッケージ	1956年	厚紙に印刷	イッタラ
1-4-9	ティモ・サルパネヴァ	《i-ライン》のパッケージ	1956年	厚紙に印刷	イッタラ
1-4-11	ティモ・サルパネヴァ	写真資料　《i-ライン》のボトル製品のためのドローイング	1955年		イッタラ
1-4-12		製品デザイン：ティモ・サルパネヴァ、撮影：ピエティネン 写真資料　《i-ライン》のタンブラーとパッケージ	1956年		イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
1960年代〜1970年代　テクスチャーガラスによる革新					
1-5-1	ティモ・サルパネヴァ	花器《フィンランディア3350》（Finlandia 3350）	1964年	吹きガラス	イッタラ
1-5-2		写真資料　ティモ・サルパネヴァの制作風景	1964年		イッタラ
1-5-3、4		製品デザイン：タピオ・ヴィルカラ 写真資料《ウルティマ　ツーレ（世界の果て）》の広告イメージ	1968年		イッタラ
1980年代　企業合併の時代					
1-6-1〜4	ケルトゥ・ヌルミネン	《ランピ》（Lampi、池）キャンドルホルダー、シャンパングラス、シュナップスグラス、ワイングラス	1993年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ／イッタラ
1-6-5		製品デザイン：オイバ・トイッカ 写真資料《バード・バイ・トイッカ》			ヌータヤルヴィ／イッタラ
1990年代〜2000年代　イッタラ、世界へ市場を拡大					
1-7-1〜4	ハッリ・コスキネン	タンブラー、ボウル《クルビ》（Klubi、クラブ）	1999年	吹きガラス	イッタラ
1-7-5〜10	コンスタンチン・グルチッチ	タンブラー《リレーションズ》（Relations、関係）	1999年	プレスガラス	イッタラ
1-7-11		製品デザイン：カリーナ・セス・アンダーソン 写真資料《リレーションズ》（Relations、関係）	1999年		イッタラ
今日　ライフスタイル・コレクションの発売					
1-8-1〜4	アントニオ・チッテリオ／グレン・オリバー・レーヴ	フォーク、ナイフ、スプーン《チッテリオ98》（Citterio 98）	1998年	ステンレス・スチール	イッタラ
1-8-5、6	ビヨルン・ダールストローム	キャセロール、ソースパン《ツールズ》（Tools）	1998年	ステンレス・スチール	イッタラ

2　Designers　イッタラとデザイナー

アイノ・アアルト					
2-1-1〜4	アイノ・アアルト	ジャグ、タンブラー、ショットグラス、ボウル《ボルゲブリック》（Bölgeblick、水紋）	1932年	プレスガラス	カルフラ
アルヴァ・アアルト					
2-2-1	アルヴァ・アアルト	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	1936年／2022年	吹きガラス	イッタラ
2-2-2	アルヴァ・アアルト	皿《アルヴァ・アアルト コレクション》	1936年／1950年代	吹きガラス	イッタラ
カイ・フランク					
2-3-1	カイ・フランク	カラフェ《1610》	1954年／2016年	吹きガラス	イッタラ
2-3-2〜4	カイ・フランク	タンブラー《キマラ》（Kimara、カクテル）	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
タピオ・ヴィルカラ					
2-4-1〜3	タピオ・ヴィルカラ	カラフェ、グラス、ボウル《ウルティマ ツーレ》（Ultima Thule、世界の果て）	1968年／1969年	吹きガラス	イッタラ
ティモ・サルパネヴァ					
2-5-1〜7	ティモ・サルパネヴァ	タンブラー、皿、ボウル、花器《i-ライン》	1956年	吹きガラス	イッタラ
オイバ・トイッカ					
2-6-1	オイバ・トイッカ	オブジェ《スペシャルモデル》	2003年	吹きガラス	イッタラ
2-6-2	オイバ・トイッカ	オブジェ《シエッポ》（Sieppo、ヒタキ）	1972年	吹きガラス	イッタラ
2-6-3	オイバ・トイッカ	オブジェ《ラウルラスタス》（Laulurastas、ウタツグミ）	1984年	吹きガラス	イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
アルフレッド・ハベリ					
2-7-1〜4	アルフレッド・ハベリ	カラフェ、ワイングラス《エッセンス》（Essence、本質）	2001年	吹きガラス	イッタラ
ハッリ・コスキネン					
2-8-1、2	ハッリ・コスキネン	キャンドルホルダー《ランタン》（Lantern）	1999年／2006年	吹きガラス	イッタラ

3　From Nature to Culture　イッタラを読み解く13の視点

素材としてのガラス					
3-1-1	作者不詳	ボトル	19世紀	吹きガラス	
3-1-2	作者不詳	花器	19世紀	吹きガラス	
3-1-3	作者不詳	酒入れ	19世紀	吹きガラス	
3-1-4	作者不詳	ボトル	1800〜50年	吹きガラス	
3-1-5	作者不詳	ジャー	19世紀	吹きガラス	
3-1-6	作者不詳	ボトル	19世紀	吹きガラス	
3-1-7	作者不詳	ジャグ	19世紀	吹きガラス	
3-1-8	作者不詳	ボトル	1881〜1900年頃	吹きガラス	イッタラ
3-1-9	作者不詳	ボトル			
3-1-10	カイ・フランク	ジャグ《トゥパ》（Tupa、部屋）	1948年	吹きガラス	イッタラ
3-1-11〜14	カイ・フランク	ボウル《カルティオ》（Kartio、円錐）	1953年／2011年	吹きガラス	イッタラ
3-1-15	オイバ・トイッカ	ボウル《カステヘルミ》（Kastehelmi、露のしずく）	1964年／2019年	プレスガラス	イッタラ
3-1-16	イルッカ・スッパネン	キャンドルホルダー《カーサ》（Kaasa、家）	2015年／2019年	吹きガラス	イッタラ
3-1-17	アイノ・アアルト	タンブラー	1932年／2019年	プレスガラス	イッタラ
3-1-18、19	アルヴァ・アアルト	花器《アルヴァ・アアルト　コレクション》	1936年／2019年	吹きガラス	イッタラ
3-1-20		映像資料　素材をあつかう（Making of the Essentials）			
職人の技					
3-2-1、2		ガラスの加工道具	2021年	木	イッタラ
3-2-3、4		ガラスの加工道具（ワイングラス用）	2021年	木	イッタラ
3-2-5、6		ガラスの加工道具	2021年	木	イッタラ
3-2-7	製品デザイン：オイバ・トイッカ	ガラス玉7個《バード　バイトイッカ》（カラフトライチョウ　夏）制作過程のサンプル	1995年	吹きガラス	イッタラ
3-2-8	オイバ・トイッカ	オブジェ《アニュアルキューブ》	2011年	吹きガラス	イッタラ
3-2-9	オイバ・トイッカ	オブジェ《アニュアルキューブ》	2008年	吹きガラス	イッタラ
3-2-10	ハッリ・コスキネン	オブジェ《ウウシ・アルエ》（Uusi Alue、新領域）	2009年	吹きガラス	イッタラ
3-2-11		ガラスの加工道具（バブル用）	2021年	木	
3-2-12	作者不詳	ワイングラス	1883年／1947年	吹きガラス、カット	イッタラ
3-2-13	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《オルキデア》（Orkidea、蘭）	1954年	吹きガラス、スティックブロー	
3-2-14	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《トリエンナーレ》（Triennale）	1954年	吹きガラス、スティックブロー、鎚目仕上げ	イッタラ
3-2-15、16	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《東京》（Tokyo、トウキョウ）	1954年	吹きガラス、スティックブロー	カルフラ＝イッタラ
3-2-17〜19	タピオ・ヴィルカラ	ゴブレット《タピオ》（Tapio）	1954年	吹きガラス、スティックブロー	イッタラ
3-2-20〜22	ゴラン・ホンゲル	ワイングラス《サヴォイ》（Savoy）	1941年	吹きガラス、エングレービング	カルフラ＝イッタラ
3-2-23	カイ・フランク	花器	1947年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ
3-2-24	カイ・フランク	ボトル《カイヴォンカツォヤ》（Kaivonkatsoja、水脈占い師）	1948年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
3-2-25		映像資料　バードのつくり方（Making of Birds）			
3-2-26		映像資料　スティックブロー技法（Stick blowing method）			
型でつくる					
3-3-1		スチール型	1913年	スチール　イッタラ	イッタラ蔵
3-3-2	アルフレッド・グスタフソン	タンブラー《グレート・メン》（Great Men、偉人）	1900～13年	プレスガラス	イッタラ
3-3-3		スチール型	1973年	スチール　イッタラ	イッタラ蔵
3-3-4	ティモ・サルパネヴァ	グラス《ケッケリト》（Kekkerit、パーティー）	1973年	吹きガラス	イッタラ
3-3-5		グラファイト型	1968年	グラファイト／スチール	イッタラ
3-3-6	ティモ・サルパネヴァ	花器《ナルダス2744》（Nardus 2744、茅）	1968年	吹きガラス	イッタラ
3-3-7		木型	1936年／1996年	木　イッタラ	イッタラ蔵
3-3-8	アルヴァ・アアルト	花器《アルヴァ・アアルト　コレクション》	1936年／1996年	吹きガラス	イッタラ
3-3-9		スチール型	1936年／2000年代	スチール　イッタラ	イッタラ蔵
3-3-10	アルヴァ・アアルト	花器《アルヴァ・アアルト　コレクション》	1936年／1996年	吹きガラス	イッタラ
3-3-11		映像資料　アアルト　ベースのつくり方（Making of Aalto Vase）			
3-3-12		映像資料　プレスガラスのつくり方（Making of Pressed Glass）			
マジック・リアリズム　自然や精霊との対話					
3-4-1	グンネル・ニューマン	花器《イロスヌスムス》（Ylösnousemus、復活）	1947年	吹きガラス	イッタラ
3-4-2	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《イントヒモ》（Intohimo、情熱）	1964年	吹きガラス	イッタラ
3-4-3	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《ヒーデンケフト》（Hiidenkehto、悪魔のゆりかご）	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ
3-4-4	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《ヒイシ　シリーズ》（Hiisi series、悪魔シリーズ）	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ
3-4-5	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《ヒーデンヘルミ》（Hiidenhelmi、悪魔の真珠）	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ
3-4-6	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《ヒーデンニュルッキ》（Hiidennyrkki、悪魔のこぶし）	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ
3-4-7	ティモ・サルパネヴァ	花器《ヒイシ》（Hiisi、悪魔）	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ
3-4-8	ティモ・サルパネヴァ	オブジェ《ウッコスパッロ》（Ukkospallo、雷電）	1957年	吹きガラス	イッタラ
3-4-9	ティモ・サルパネヴァ	皿《イカヴァ》（Ikävä、憧憬）	1956年	蒸気吹きガラス	イッタラ
3-4-10	タピオ・ヴィルカラ	花器《トゥオネラン　ヴィルタ》（Tuonelan virta、黄泉の国の川）	1951年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ
3-4-11～13	オイバ・トイッカ	タンブラー、ボトル、カップ《ファウナ》（Fauna、動物相）	1970年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-4-14	オイバ・トイッカ	ボウル《フルッタ》（Frutta、果物）	1970年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
気候と文化					
3-5-1、2	オブジェ《パーダリンヤー》（Paadarin jää、パーダル湖の氷）	タピオ・ヴィルカラ	1960年	鋳造ガラス、カット	イッタラ
3-5-3	オブジェ《ピルッキアヴァント》（Pilkkiavanto、氷上釣りの穴）	タピオ・ヴィルカラ	1970年	鋳造ガラス、カット	イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
3-5-4〜7	ティモ・サルパネヴァ	キャンドルホルダー《アーキペラゴ》（Arkipelago、フィンランド多島海域の群島）	1979年	鋳造ガラス、アーキペラゴ技法	イッタラ
3-5-8	タピオ・ヴィルカラ	花器《ヤーブオリ》（Jäävuori、氷山）	1952年	吹きガラス、カット	イッタラ
3-5-9〜11	エルッキ・ヴェサント	花器《ラッピ》（Lappi、ラップランド）	1958年	吹きガラス、アシッドエッチング	イッタラ
3-5-12〜15	オイバ・トイッカ	ボウル《トゥントゥリッサ》（Tunturissa、ラップランド地方の山） カーモス（Kaamos、極夜） ミットゥマーリ（Mittumaari、夏至） ロスプーット（Rospuutto、春の雪解け） ルスカ（Ruska、紅葉）	1987年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-5-16	タピオ・ヴィルカラ	フィンランディア・ウォッカのボトル	1969年	機械吹きガラス	カルフラ
3-5-17〜38	タピオ・ヴィルカラ	《ウルティマ　ツーレ》（Ultima Thule、世界の果て） 17、18：ビアグラス 19、20：スパークリングワイングラス 21、22：皿 23、24：皿 25、26：カラフェ 27、28：オールドファッションドグラス 29、30：コーディアルグラス 31、32：キャンドルホルダー 33、34：ボウル 35、36：ボウル 37、38：ボウル	2021年	吹きガラス　イッタラ	イッタラ蔵
陶磁器とガラス					
3-6-1〜4	カイ・フランク	《キルタ　BA》（BA, Kilta、ギルド） 皿、コーヒーカップ、ソーサー、蓋付きジャグ	1952〜53年	ファイアンス	アラビア
3-6-5	カイ・フランク	皿《ティーマ》（Teema、テーマ）	1981年	炻器	アラビア
3-6-6〜10	カイ・フランク	《ティーマ　BAU》（BAU, Teema） ティーポット、マグ、皿、ボウル	1981年	炻器	アラビア/10のみイッタラ
3-6-11〜13	カイ・フランク	タンブラー《キマラ》（Kimara、カクテル）	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ／イッタラ
3-6-14	カイ・フランク	タンブラー《カルティオ》（Kartio、円錐）		吹きガラス	イッタラ
3-6-15、16	カイ・フランク	タンブラー《カルティオ》（Kartio、円錐）	1956年／2000年代	プレスガラス	ヌータヤルヴィ／イッタラ
3-6-17	カイ・フランク	タンブラー《キマラ》（Kimara、カクテル）	1956年／2000年代プレスガラス	ヌータヤルヴィ／イッタラ	
3-6-18、19	カイ・フランク	ピッチャー《1610》	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-6-20〜24	ロナン＆エルワン・ブルレック	花器《ルーツ》（Ruutu、ひし形）	2015年	吹きガラス	イッタラ
3-6-25〜27	ロナン＆エルワン・ブルレック	花器《ルーツ》（Ruutu、ひし形）	2020年	セラミック	イッタラ
3-6-28〜33	アルフレッド・ハベリ	グラス《エッセンス》（Essence、本質）	2001年	機械吹きガラス	イッタラ
3-6-34、35	アルフレッド・ハベリ	皿《エッセンス》（Essence、本質）	2021年	セラミック	イッタラ
3-6-36、37	アルフレッド・ハベリ	皿《エッセンス》（Essence、本質）	2021年	プレスガラス	イッタラ
3-6-39, 40	カイ・フランク	デザインスケッチ（複製）	1949年	紙	
3-6-38、41〜43	カイ・フランク	デザインスケッチ	38：1946年 41, 42：1949年 43：1950年代	紙	
3-6-45〜51	カイ・フランク	デザインスケッチ（タコ（Tako）・カード）（複製）	45、46：1960年代 47：1976年 48〜51：1970年代	厚紙	
3-6-44、52〜57	カイ・フランク	デザインスケッチ（タコ（Tako）・カード）	44：1967年 52〜57：1970年代	厚紙	

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
アーキタイプ　基本のかたち					
3-7-1	タピオ・ヴィルカラ	カラフェ《2900-214》	1961年	吹きガラス	イッタラ
3-7-2、3	アンナリーナ・ハカティエ	ピッチャー《リレーションズ》（Relations、関係）	1999年	吹きガラス	イッタラ
3-7-4	タピオ・ヴィルカラ	カラフェ	1961年	吹きガラス	イッタラ
3-7-5〜7	ゴラン・ホンゲル	ボウル《シルコ》（Silko、シルクのような）	1938年	プレスガラス	カルフラ
3-7-8〜14	アントニオ・チッテリオ／グレン・オリバー・レーヴ	《コレクティブ　ツールズ》（Collective Tools、道具）ボトルオープナー、バターナイフ、チーズスライサー、サービングスプーン、ユーティリティーナイフ、ブレッドナイフ、シェフナイフ	2000年	ステンレス・スチール	イッタラ
3-7-15		マグ	1874年	アーザンウェア（硬質陶器）、鋳込み成型、釉掛け	アラビア
3-7-16		マグ《B２》	1874年	アーザンウェア（硬質陶器）、鋳込み成型、釉掛け	アラビア
3-7-17	カイ・フランク	ボトル《トゥパ》（Tupa、部屋）	1948年	吹きガラス	イッタラ
3-7-18	カイ・フランク	ショットグラス《トゥパ》（Tupa、部屋）	1948年	プレスガラス	イッタラ
3-7-19	タピオ・ヴィルカラ	ボウル	1950年	吹きガラス	イッタラ
3-7-20	エーロ・O・エルッコ	ワイングラス	1932年	吹きガラス	カルフラ／イッタラ
3-7-21〜26	ジャスパー・モリソン	《ラーミ》（Raami、枠）マグ、コーヒーカップ、ソーサー、皿、ボトル	2019年	セラミック	イッタラ
3-7-27〜29	ジャスパー・モリソン	ワイングラス《ラーミ》（Raami、枠）	2019年	吹きガラス	イッタラ
3-7-30、31	カイ・フランク	クリーマー、シュガーボウル《トゥパ》（Tupa、部屋）	1948年	吹きガラス、サンドブラスト	イッタラ
カラー					
3-8-1、2	ジャスパー・モリソン	カラフェ、ボウル《ラーミ》（Raami、枠）	2019年	プレスガラス	イッタラ
3-8-3	アルヴァ・アアルト	花器《サヴォイ》（Savoy）	1936年	吹きガラス	カルフラ＝イッタラ
3-8-4	マグヌス・ペターセン	ランプ《レイム》（Leimu、炎）	2013年／2017年		イッタラ
3-8-5〜7	オイバ・トイッカ	ボトル《プロアルテ　マンシッカパイッカ》（Pro Arte Mansikkapaikka、芸術のために　いちご畑）	1984年	吹きガラス、サンドブラスト	ヌータヤルヴィ
3-8-8〜11	アイノ・アアルト	ジャグ、花器、ショットグラス《ボルゲブリック》（Bölgeblick、水紋）	1932年	プレスガラス	カルフラ＝イッタラ
3-8-12	イルッカ・スッパネン	ランタン《カーサ》（Kaasa、家）	2015年	吹きガラス	イッタラ
3-8-13	フィリップ・マルイン	ボウル《クル》（Kuru、山あい）	2020年	プレスガラス	イッタラ
3-8-14〜16	サーラ・ホペア	グラス《ビストロ》（Bistro、食堂）	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-17〜19	サーラ・ホペア	タンブラー《マルヤ》（Marja、ベリー）	1956年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-20	ハッリ・コスキネン	キャンドルホルダー《アトラス》（Atlas、アトラス神）	1999年	吹きガラス	イッタラ
3-8-21〜24	カイ・フランク	ピッチャー《1609》	1954年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-25〜28	ティモ・サルパネヴァ	タンブラー《i-ライン》	1956年	吹きガラス	イッタラ
3-8-29〜34	タピオ・ヴィルカラ	タンブラー《4090》	1956年	プレスガラス	イッタラ
3-8-35		イッタラのカラーガラスのサンプル	2020年	鋳造ガラス	イッタラ
戦後フィンランドの外交とデザイン					
3-9-1	会場デザイン：アイノ・アアルト	写真資料　第６回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	1936年		
3-9-2	会場デザイン：タピオ・ヴィルカラ	写真資料　第９回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	1951年		
3-9-3	会場デザイン：タピオ・ヴィルカラ	写真資料　第10回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	1954年		

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
3-9-4	会場デザイン：ティモ・サルパネヴァ	写真資料　第11回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	1957年		
3-9-5	会場デザイン：アンッティ・ヌルメスニエミ	写真資料　第12回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	1960年		
3-9-6	会場デザイン：エリック・ハーロウ	写真資料　アメリカとカナダ各地を巡回した	「スカンディナビアのデザイン展」	1954年	
3-9-7	会場デザイン：ティモ・サルパネヴァ	写真資料　モントリオール万国博覧会のフィンランド・セクション	1967年		
3-9-8	会場デザイン：ティモ・サルパネヴァ	写真資料「フィンランディア展」、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館	1961年		
広告イメージ　世界観を伝える					
3-10-1	製品デザイン：タピオ・ヴィルカラ、撮影：ピエティネン	写真資料《3341》の広告イメージ	1951年		イッタラ
3-10-2	製品デザイン：カイ・フランク、撮影：ピエティネン	写真資料《アテネの朝》の広告イメージ			イッタラ
3-10-3	製品デザイン：ティモ・サルパネヴァ、撮影：ピエティネン	写真資料《ヒーデンニュルッキ（悪魔のこぶし)》と《ヒーデンケフト（悪魔のゆりかご)》の広告イメージ	1951年		イッタラ
3-10-4	製品デザイン：ティモ・サルパネヴァ、撮影：ピエティネン	写真資料《オルキデア（蘭)》の広告イメージ	1954年		イッタラ
3-10-5	製品デザイン：ティモ・サルパネヴァ、撮影：ピエティネン	写真資料《ランセティット（ランセット)》の広告イメージ	1952年		イッタラ
3-10-6～11	製品デザイン：ティモ・サルパネヴァ、撮影：ピエティネン	写真資料《i-ライン》の広告イメージ	1956年		イッタラ
ミメーシス　自然の模倣					
3-11-1	タピオ・ヴィルカラ	ボウル《レフティ》(Lehti、葉)	1954年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-2	タピオ・ヴィルカラ	ボウル《レフティ》(Lehti、葉)	1952年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-3	花器《バンブー》(Bambu、竹)	タピオ・ヴィルカラ	1952年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-4～7	花器《クッカ》(Kukka、花)	アルヴァ・アアルト	1939年／1980年代	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-8、9	アルヴァ・アアルト	花器《9751》	1937年／2021年	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-10	グンネル・ニューマン	ボウル《ムナンクオリ》(Munankuori、卵の殻)	1947年	吹きガラス、カット	イッタラ
3-11-11	オイバ・トイッカ	花器《レフト》(Lehto、木立)	1989年／2010年	吹きガラス	イッタラ
3-11-12	オイバ・トイッカ	花器《レフト／ピンヤ》(Lehto、木立／Pinja、イタリアカサマツ)	1989年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-11-13	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《3342》	1950年	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-14	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《3139》	1950年	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-15	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《3334》	1950年	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-16	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《ミニ・カンタレリ3280》(Mini-Kantarelli 3280、アンズタケ)	1952年／1981年	吹きガラス、フレア／ラインカット	
3-11-17､18	タピオ・ヴィルカラ	オブジェ《カンタレリ3280》(Kantarelli 3280、アンズタケ)	1948年	吹きガラス、フレア／ラインカット	イッタラ
3-11-19､20	カイ・フランク	オブジェ《ハウエンレウカ》(Hauenleuka、カワカマスのあご)	1947年	吹きガラス	イッタラ
3-11-21	タピオ・ヴィルカラ	灰皿《シンプッカ》(Simpukka、貝殻)	1947年	吹きガラス	イッタラ
3-11-22､23	オイバ・トイッカ	花器《バンブー》(Bambu、竹)	1966年／2021年	吹きガラス	イッタラ
連ねる、重ねる					
3-12-1～3	ゴラン・ホンゲル	グラス、ボウル《アールネ》(Aarne)	1954年	吹きガラス	イッタラ
3-12-4	コンスタンティン・グルチッチ	カラフェ＆タンブラー《リレーションズ》(Relations、関係)	1999年	プレスガラス	イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
3-12-5、6	コンスタンティン・グルチッチ	タンブラー《リレーションズ》（Relations、関係）	1999年	プレスガラス	イッタラ
3-12-7〜11	ティモ・サルパネヴァ	ボウル《マルセル3270》（Marcel　3270）	1993年	吹きガラス	イッタラ
3-12-12〜21	エルッキ・ヴェサント	タンブラー《パヌ》（Panu）	1962年	吹きガラス	イッタラ
3-12-22〜26	タピオ・ヴィルカラ	タンブラー《フォレスト》（Forest、森）	1962年	吹きガラス	イッタラ
3-12-27〜31	リサ・ヨハンソン・パッペ	花器《2773》	1962年	吹きガラス	イッタラ
3-12-32〜34	タピオ・ヴィルカラ	ゴブレット《ティーマ》（Tiima、時）	1958年	吹きガラス	イッタラ
3-12-35､36	タピオ・ヴィルカラ	ゴブレット《カルティオヤルカ》（Kartiojalka、円錐形の脚）	1956年	吹きガラス	イッタラ
リサイクルとサステイナビリティー					
3-13-1〜3	ジャスパー・モリソン	カラフェ、タンブラー《ラーミ》（Raami、枠）	2019年	プレスガラス､100％リサイクルガラス	イッタラ
3-13-4、5	オイバ・トイッカ	タンブラー《カステヘルミ》（Kastehelmi、露のしずく）	2019年	プレスガラス､100％リサイクルガラス	イッタラ
3-13-6	オイバ・トイッカ	オブジェ《ティッリ》（Tirri、コアジサシ）	2020年	吹きガラス、100％リサイクルガラス	イッタラ
3-13-7		リサイクル用ガラス片	2022年	イッタラ	イッタラ蔵

4　Iittala and Japan　イッタラと日本

カイ・フランクと日本					
4-1-1	カイ・フランク	皿《KF 3 》	1958年	アーザンウェア（硬質陶器）、鋳込み成型、釉掛け	アラビア
4-1-2、3	カイ・フランク	皿《KF 1 》	1957年	アーザンウェア（硬質陶器）、鋳込み成型、釉掛け	アラビア
4-1-4	カイ・フランク	皿《KF 2 》	1957年	アーザンウェア（硬質陶器）、鋳込み成型、釉掛け	アラビア
4-1-5	カイ・フランク	ケトル	1956年	セラミック	アラビア
4-1-6	カイ・フランク	ケトル	1956年	セラミック	アラビア
4-1-7	カイ・フランク	ケトル	1957年	セラミック	アラビア
4-1-8	カイ・フランク	ケトル	1956年	セラミック	アラビア
1950〜60年代の日本におけるフィンランド・デザイン展					
4-2-1		写真資料　日本セクションの和室（ヘルシンキ・アート・ギャラリー）	1955年		
4-2-2〜8	会場デザイン：ティモ・サルパネヴァ	写真資料「フィンランドデザイン展」会場（日本橋白木屋）	1964年		
イッタラ×イッセイ　ミヤケ					
4-3-1〜16		《イッタラ×イッセイミヤケ》コレクション 1〜3：マグ（セラミック） 4〜9：皿（セラミック） 10：花器（吹きガラス） 11：ナプキン（布） 12：テーブルクロス（布） 13：テーブルフラワー（布） 14〜16：バッグ（布）	2016年		イッタラ
イッタラ×ミナ　ペルホネン					
4-4-1、2	イッタラ×ミナ　ペルホネン	オブジェ《ガラスバード》	2020年	鋳造ガラス	イッタラ
4-4-3〜5	イッタラ×ミナ　ペルホネン	トートバッグ、ポーチ	2020年	布	イッタラ
4-4-6､7	イッタラ×ミナ　ペルホネン	ボウル、皿	2020年	セラミック	イッタラ
4-4-8	イッタラ×ミナ　ペルホネン	オブジェ《ガラスバード》	2021年	鋳造ガラス	イッタラ

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
4-4-9〜11	イッタラ×ミナ　ペルホネン	皿、マグ	2020年	セラミック　イッタラ	イッタラ蔵
4-4-12〜17	イッタラ×ミナ　ペルホネン	皿、マグ、ボウル	2021年	セラミック　イッタラ	イッタラ蔵
4-4-18		映像資料　皆川明インタビュー	2022年		
隈研吾　イッタラ表参道ストア＆カフェのデザイン					
4-5-1〜3	隈研吾	ランプ	2020年	ガラス	イッタラ蔵
4-5-4、5	隈研吾	木型／ランプ	2020年	木、ガラス	イッタラ蔵
4-5-6		映像資料　隈研吾インタビュー	2022年		

5　Installations, etc.　インスタレーションなど

アアルト ベース					
5-1-1〜3	アルヴァ・アアルト	《アアルト ベース》のためのドローイング（複製）	1936年	クレヨン、紙、厚紙	
5-1-4〜20	アルヴァ・アアルト	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	1936年	吹きガラス	イッタラ蔵
バード バイトイッカ					
5-2-1	オイバ・トイッカ	オブジェ《メッツォ》（Metso、ヨーロッパオオライチョウ 雄）	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-2	オイバ・トイッカ	オブジェ《コッペロ》（Koppelo、ヨーロッパオオライチョウ 雌）	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-3	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヤンカティッリ》（Jänkätirri、湿地のコアジサシ）	2000年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-4	オイバ・トイッカ	オブジェ《ファサーニ》（Fasaani、雉）	1981年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-5	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヴィッリヨウツェネット》（Villijoutsen、コブハクチョウ）	1994年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-6	オイバ・トイッカ	オブジェ《カルヤラン ラウルヨウツェネット》（Karjalan laulujoutsen、カレリア地方のオオハクチョウ）	2004年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-7	オイバ・トイッカ	オブジェ《ハラッカ》（Harakka、カササギ）	1990年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-8	オイバ・トイッカ	オブジェ《クルタキューフキュ》（Kultakyyhky、ゴールドフィンチ）	2001年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-9	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヘルミカナ》（Helmikana、ホロホロチョウ）	2002年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-10	オイバ・トイッカ	オブジェ《シニソツカ》（Sinisotka、青スズガモ）	2004年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-11	オイバ・トイッカ	オブジェ《ティルヒ》（Tilhi、キレンジャク）	2005年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-12	オイバ・トイッカ	オブジェ《タリティンティ》（Talitintti、ヨーロッパシジュウカラ）	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-13	オイバ・トイッカ	オブジェ《ナーッカ》（Naakka、ニシコクマルガラス）	1996年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-14	オイバ・トイッカ	オブジェ《タヴィン ポイカネン》（Tavin poikanen、ベビー コガモ）	2004年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-15	オイバ・トイッカ	オブジェ《ピックポヨ》（Pikku Pöllö、フクロウ（子））	2004年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-16	オイバ・トイッカ	オブジェ《トゥルキンカナ》（Turkinkana、トルコ鶏）	2005年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-17	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヴィーリアイネン》（Viiriäinen、ヨーロッパウズラ）	2008年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-18	オイバ・トイッカ	オブジェ《ハーカ》（Haahka、ホンケワタガモ）	1992年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-19	オイバ・トイッカ	オブジェ《カルヤラン ラウルヨウツェネット》（Karjalan laulujoutsen、カレリア地方のオオハクチョウ）	2004年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-20	オイバ・トイッカ	オブジェ《ピルヴィティーラ》（Pilvitiira、雲のアジサシ）	2007年	吹きガラス　ヌータ ヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵

番号	作家名	作品名	製作年	材質	所蔵
5-2-21	オイバ・トイッカ	オブジェ《プル》(Pulu、ハト)	2008年	吹きガラス　ヌータヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-22	オイバ・トイッカ	オブジェ《クリーック》(Kriikku、カイツブリ)	2008年	吹きガラス　ヌータヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-23	オイバ・トイッカ	オブジェ《レフトクルッパ》(Lehtokurppa、ヤマシギ)	2007年	吹きガラス　ヌータヤルヴィ／イッタラ	イッタラ蔵
5-2-24	オイバ・トイッカ	オブジェ《ルイクリ》(Luikuri、ウィローカールー)	2008年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-25	オイバ・トイッカ	オブジェ《タヴィタル》(Tavitar、コガモ 雌)	1999年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-26	オイバ・トイッカ	オブジェ《ソルサウロス》(Sorsauros、カモ 雄)	1994年	吹きガラス　ヌータヤルヴィ	イッタラ蔵
5-2-27	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヨウヒソルサ》(Jouhisorsa　、オナガガモ)	1996年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-28	オイバ・トイッカ	オブジェ《サティーンカーリントゥ》Sateenkaarilintu、虹の鳥)	2007年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-29	オイバ・トイッカ	オブジェ《ファサーニ》(Fasaani、雉)	1981年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-30	オイバ・トイッカ	オブジェ《ヴィヒレヒュイッパ》(Viherhyyppä、チドリ 緑)	2005年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-31	オイバ・トイッカ	オブジェ《タヴィタル》(Tavitar、コガモ 雌)	1999年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-32	オイバ・トイッカ	オブジェ《ティルッティ》(Tiltti、そよ風)	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-33	オイバ・トイッカ	オブジェ《プナヴァルプネン》(Punavarpunen、ローズフィンチ)	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-34	オイバ・トイッカ	オブジェ《コトゥカンポイカ》(Kotkanpoika、ベビーイーグル)	2000年	吹きガラス	イッタラ蔵
カステヘルミ					
5-3-1	製品デザイン：オイバ・トイッカ	《カステヘルミ》のタワー	2022年	カステヘルミのキャンドルホルダー325個　イッタラ	イッタラ蔵

トムとジェリー　カートゥーン・カーニバル

令和５年８月11日(金・祝)～９月３日㈰　※23日間　　会場：県民ギャラリー

概要：
1940年に短編作品として登場し、80年以上も世界中で愛され続けている『トムとジェリー』。第一作からのアニメーション作品や、写真を撮るとキャラクターが現れる不思議なスポット、ジェリーが大好きなチーズの世界を表現した空間演出など、全エリア撮影可能で幅広い世代が楽しめる展覧会であった。
関連企画として、ぬり絵のワークショップと撮影会を実施。その他、ノベルティ配布やカフェのオリジナルメニュー販売など、夏休みに親子で楽しめる企画を実施した。
インフルエンサーによる広報協力もあり、SNS での反応も良かった。
夏休み期間中の開催ということもあり、ファミリー層を中心に幅広い年齢層の来場があり、入場者数は目標を大きく超える結果となった。

開催形態：単独開催展（巡回展）

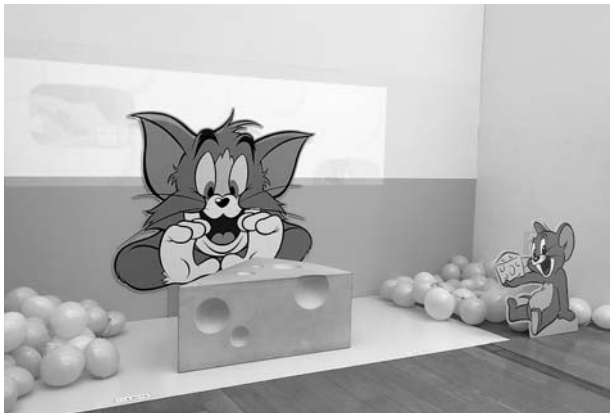
主催：長崎県美術館
共催：NCC 長崎文化放送
後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎
協力：ワーナー ブラザーズ ジャパン合同会社

観覧料：一般800（600）円、高校生・大学生・70歳以上600（400）円、小中学生500（300）円、前売ペア券（一般）1,000円
※小学生未満無料
※（　）内は前売りおよび15名以上の団体料金

入場者数：44,231人（１日あたり1,923人）

関連企画：
⑴トムとジェリーぬり絵コーナー
日時：①８月13日㈰　②８月19日㈯
　　各日10：30～12：00、13：30～15：00
会場：県民ギャラリー
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：合計536人（内訳：①268人　②268人）

⑵長崎県美術館出張イベント「ぬり絵で楽しむトムとジェリー」
ｉアミュプラザ長崎
日時：８月５日㈯ ①13：00～13：30　②13：30～14：00
　　③14：30～15：00　④15：00～15：30
会場：アミュプラザ長崎　１F カルディーコーヒーファーム前特設会場
対象：子どもから大人まで　※小学生以下は保護者同伴
参加費：無料
参加人数：合計22人



ⅱみらい長崎ココウォーク　＊随時受付
日時：８月16日㈬　13：00〜16：00
会場：みらい長崎ココウォーク　２Ｆイベントスペース
対象：子どもから大人まで　※小学生以下は保護者同伴
参加費：無料
参加人数：80人

⑶トムとジェリー撮影会
日時：８月12日㈯ ①10：30〜11：00　②13：30〜14：00
③15：00〜15：30
会場：ホール
参加費：無料（要本展観覧券）

主要記事等：
・『スーパーＪチャンネル』NCC 長崎文化放送　８月10日
・『トコトン Happy サタデー』NCC 長崎文化放送　８月11日
・『なんでんカフェ』長崎ケーブルメディア　８月18日
・『美術手帖』web 版　美術出版社　８月26日
・『ぎゅっと長崎』NHK 長崎放送局　８月29日

浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代

令和５年10月14日㈯～令和６年１月８日（月・祝）　※77日間　　会場：企画展示室
※会期中一部作品・資料の展示替えあり
前期：10月14日㈯～11月５日㈰、中期：11月７日㈫～11月26日㈰、後期：11月28日㈫～2024年１月８日（月・祝）

概要：
「銅座の殿様」とよばれた長崎有数の資産家であると同時に南蛮美術を中心とするコレクター、画家、写真家、文筆家など、芸術の分野においても多彩に活躍した永見徳太郎（1890-1950）に焦点を当てたはじめての展覧会。永見が手がけた絵画や写真作品をはじめ、南蛮美術を中心とする旧蔵品、竹久夢二や芥川龍之介ら交流した芸術家たちの作品など時代やジャンルの異なる様々な資料を多数展示し、彼の多彩な仕事を紹介した。２回の展示替えを含む３期によって、南蛮美術の重要作例として知られる《都の南蛮寺図》や竹久夢二が長崎を主題に描いた《長崎十二景》などといった長崎にゆかりの深い作品が展示される機会となった。

開催形態：自主企画展

主催：長崎県、長崎県美術館
共催：長崎新聞社、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎
協賛：株式会社カステラ本家福砂屋、株式会社西海建設、株式会社十八親和銀行
特別協力：神戸市立博物館
助成：芸術文化振興基金、公益財団法人ポーラ美術振興財団
後援：長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、NHK 長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

観覧料：一般1,200（1,000）円、大学生・70歳以上1,000（800）円、高校生以下無料
※（　）内は前売りおよび15名以上の団体料金。

入場者数：8,219人（１日あたり107人）

出品点数：約180点（前期・中期・後期合計）

関連事業：
⑴講演会「長崎が生んだ文化人・永見徳太郎の全貌」
日時：10月14日㈯　14：00～15：30（開場13：30）
講師：松久保修平（長崎県美術館学芸員）
会場：ホール
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：79人
⑵担当学芸員によるギャラリートーク
日時：①11月５日㈰ ②12月24日㈰ ③令和６年１月７日㈰
各日11：00～12：00
会場：企画展示室
参加費：無料（要本展観覧券）
参加者数：合計57人（内訳：①23人　②９人　③25人）
⑶ヒロスケさんと！永見ゆかりの地ツアー　＊事前申込
日時：12月10日㈰ ①10：00～12：00 ②14：00～16：00
※少雨決行
講師：山口広助氏
コース：長崎県美術館（展覧会鑑賞）→銅座町周辺→寺町周辺（現地解散）
参加費：無料（要本展観覧券）
参加者数：合計41人（内訳：①21人　②20人　応募者数：94人）
⑷ワークショップ「わたしを発信！ZINE づくり」
＊事前申込
日時：11月26日㈰　13：00～16：00
会場：アトリエ
対象：中学生以上
参加費：200円（要本展観覧券）
参加者数：８人（応募者数：12人、うち４人キャンセル）
⑸担当学芸員によるインスタライブ
日時：12月23日㈯　20：00～20：30
会場：企画展示室から配信
出演：松久保修平（長崎県美術館学芸員）
視聴者数：193（ピークの同時視聴者数35）
⑹ガイドブック「永見手帖」の配布
本展を分かりやすく解説した「永見手帖」を制作し、学校及び来場者に対して配布を行った。
仕様：Ｂ５サイズ　11ページ
発行部数：6,500部

主要記事等：

・『美術の窓』雑誌　㈱生活の友社　9月20日
・松尾えり子「近代長崎の文化振興に寄与」『長崎新聞』 9月27日
・『美術手帖』web 版　美術出版社 10月 9 日
・『Pint』NBC 長崎放送 10月13日、12月20日
・『マルっと！』KTN テレビ長崎 10月13日、10月18日、12月１日、１月５日
・松尾えり子「永見徳太郎 ゆかりの品紹介」『長崎新聞』10月15日
・松久保修平「「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」㊤収集と交流」『長崎新聞』10月20日
・『あさカラ』NBC ラジオ 10月23日、11月20日、12月20日
・松久保修平「「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」㊦「長崎」を発信」『長崎新聞』11月10日
・『芸術新潮』雑誌　㈱新潮社 11月25日
・『あの人この歌ああ人生』NBC ラジオ 11月27日
・「長崎 実業家・永見 文化の発信役」『読売新聞』12月９日
・『なんでんカフェ』長崎ケーブルメディア 12月13日
・『NHK ニュース』NHK 長崎放送局 12月13日
・『日曜美術館アートシーン』NHK E テレ 12月17日、12月24日

出品リスト：

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
プロローグ　銅座の殿様―永見徳太郎								
1	◎	大森桃太郎	永見徳太郎像	1933（昭和８）年	エッチング・紙	11.5×12.7	長崎歴史文化博物館	前・中期
2	◎	大森桃太郎	永見徳太郎像	1933（昭和８）年	エッチング・紙	11.5×12.7	長崎歴史文化博物館	後期
3	◎	永見伝三郎	柳川家、対州家、秋月家、金員調達書	1871（明治４）年	紙本墨書　冊子	25×15	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
4	◎		呉服太物商許可証	1891（明治24）年	紙本墨書	17.5×12	長崎歴史文化博物館	前・中期
5			永見倉庫写真	1912（大正元）年頃	写真	27.5×33.2	長崎歴史文化博物館	前期
6			商工技芸崎陽魁	1885（明治18）年	木版・紙　冊子	８×17	長崎歴史文化博物館	中・後期
7	◎	銅座町	銅座町総代ヨリ傘鉾寄贈礼状	1925（大正14）年	紙本墨書	39×53	長崎歴史文化博物館	中・後期
8			絵葉書・長崎諏訪神事　銅座町奉納　傘鉾	1925（大正14）年	写真	14.1×9.1	長崎歴史文化博物館	前・中期
9			絵葉書・長崎諏訪神社大祭記念　明治43年10月　銅座町傘鉾	1910（明治43）年	写真	14.1×9.1	長崎歴史文化博物館	後期
第１章　あつめる―「南蛮美術」の大コレクター								
10	◎	長久保赤水	地球万国山海輿地全図	江戸時代後期	木版・紙	31.5×43.7	神戸市立博物館	後期
11	◎	狩野宗秀	都の南蛮寺図	桃山時代(16世紀後期)	紙本金地着色	上弦50.6×下弦1.2×幅19.7	神戸市立博物館	前・中期
12	◎		世界萬国之図		紙本着色	68.5×81.7	神戸市立博物館	前・中期
13	◎	不詳（伝 荒木如元）	万国人物図	江戸時代	紙本着色	35×707	神戸市立博物館	通期（場面替えあり）
14	◎		南蛮人交易図	江戸時代(17世紀後期)	紙本着色	86.6×152.9	神戸市立博物館	前・中期
15			南蛮屏風（残欠）	江戸時代(17世紀前期)	紙本着色	138.2×219.7	神戸市立博物館	後期
16	◎		万国人物図	江戸時代（17世紀）	紙本金地着色（３帖）	（各）27.9×21.5	神戸市立博物館	通期（頁替えあり）
17	◎	伝 渡辺秀石	長崎唐蘭館図巻	江戸時代(18世紀初期)	紙本着色（２巻）	（各）35.8×399.2	神戸市立博物館	通期（場面替えあり）
18	◎		北亜墨利加人アハタムス像		木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	前・中期
19	◎		支倉常長像		銅版・紙	34.6×24	神戸市立博物館	後期
20	◎		蒔絵南蛮人図文箱	桃山－江戸時代初期	漆器	20.6×8.6×4	神戸市立博物館	通期
21	◎		蒔絵南蛮人洋犬文硯箱	桃山－江戸時代初期	漆器	22×20.8×4.3	神戸市立博物館	通期
22	◎		色絵象にインド風俗図壺	江戸時代(18世紀後期)	有田窯	高23.5 径16.8	神戸市立博物館	通期

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
23	◎		紅毛婦人と召使図	江戸時代	紙本着色	114.9×45.3	神戸市立博物館	前・中期
24	◎	不詳 (伝 司馬江漢)	ブロンホフ家族図	江戸時代(19世紀前期)	布(芭蕉布か)・着色	104.4×32	神戸市立博物館	後期
25	◎	河村(原)南嶺斎	時計図案帳	1815(文化12)年ほか	紙本着色	(各) 40×30.5	神戸市立博物館	前・中期
26	◎	西苦楽	紅毛ポンポコポン図(のぞきからくり図)	江戸時代	紙本着色	91.7×55.6	神戸市立博物館	後期
27	◎		うんすんかるた		紙本着色(75枚)	(各) 7.2×4.4	神戸市立博物館	通期
28	◎	ロンドン版	ポールモールの聖ジェームズ宮の眺望	1753年	銅版筆彩・紙	24.7×40.6	神戸市立博物館	前・中期
29	◎	ロンドン版	ローマ近郊ヴァチカンのベルヴェデーレ邸の眺望	1753年	銅版筆彩・紙	26.6×43.6	神戸市立博物館	前・中期
30	◎		放蕩息子の帰還		銅版筆彩・紙	27×40	神戸市立博物館	後期
31	◎		西洋宮殿図		銅版筆彩・紙	28.2×39.6	神戸市立博物館	後期
32	◎	高橋由一	初代玄々堂像	1875(明治8)年頃	油彩・カンヴァス	59.2×42.8	神戸市立博物館	通期
33	◎		南蛮唐草輪金ぎやまん瓶		ガラス、金属	高17.5 径3.2	神戸市立博物館	通期
34	◎		藍色カットグラス脚付杯		ガラス	高12.8 径7.5	神戸市立博物館	通期
35	◎		彩絵緑色阿蘭陀人文角形ガラス瓶	18−19世紀	ガラス・着彩	高29	神戸市立博物館	通期
36	◎		ガラス飾蓋付紙製円筒箱		紙箱にガラス、着彩	高2.1 径4.6	神戸市立博物館	通期
37	◎		ガラス飾円箱方位磁石		ガラス、着彩	高1.6 径4.6	神戸市立博物館	通期
38	◎	原本・石崎融思	長崎港図	1818(文化15)年	紙本着色	48.8×72.5	神戸市立博物館	前・中期
39	◎	城義隣	長崎港図	江戸時代後期(19世紀)	紙本着色	59.8×100.2	神戸市立博物館	後期
40	◎	原南嶺斎	諏訪町年中行事図	1827(文政10)年	紙本着色	33×446	神戸市立博物館	通期
41	◎	富嶋屋版	長崎図(無題)	1821(文政4)年	木版・紙	35.7×46	神戸市立博物館	前・中期
42	◎	文錦堂版	長崎湊外沖之図	江戸時代後期	木版・紙	32.6×44.1	神戸市立博物館	後期
43	◎	扇屋版	唐船之図	江戸時代後期	木版・紙	33.1×54.7	神戸市立博物館	前・中期
44	◎	磯野文斎版 (大和屋版)	Hollandsch groot Schip	江戸時代(19世紀前期)	木版・紙	15.6×42.8	神戸市立博物館	後期
45	◎	二代歌川広重	諸国名所百景　肥前長崎目鏡橋	1859(安政6)年	木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	前・中期
46	◎	二代歌川広重	諸国名所百景　長崎丸山の景	1859(安政6)年	木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	前・中期
47	◎	二代歌川広重	諸国名所百景　対州海岸	1860(万延元)年	木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	前・中期
48	◎	二代歌川広重	諸国名所百景　肥前五島鯨漁の図	1859(安政6)年	木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	後期
49	◎	二代歌川広重	諸国名所百景　肥前長崎唐船の図	1859(安政6)年	木版・紙	39×26.5	神戸市立博物館	後期
50	◎	荒木元融	水亭囲碁図	江戸時代(18世紀末期)	紙本墨画淡彩	103.4×38.1	神戸市立博物館	前・中期
51	◎	石崎融思	天保九如図	1845(弘化2)年賛	紙本着色	108.5×37.4	神戸市立博物館	後期
52	◎	元喬	千呆性佼図	1700(元禄13)年賛	紙本着色	84.6×34.5	神戸市立博物館	前・中期
53	◎	木下逸雲	関羽像	江戸時代(19世紀)	紙本着色	78×58.3	神戸市立博物館	後期
54	◎		小児を抱く中国人物像		木彫・着彩	高20.9	神戸市立博物館	通期
55	◎		恵比寿をかたどる聖像		木彫	高13.3	神戸市立博物館	通期
56	◎		如来坐像をかたどる聖母子像		木彫・着彩	高10.5	神戸市立博物館	通期
57	◎		マリア観音像	18世紀前期	陶製	高20.8	神戸市立博物館	通期
58	◎		マリア観音像		陶製	高22.8	神戸市立博物館	通期
59	◎	外国製	キリスト磔刑像		象牙、木	29.2×21.7	神戸市立博物館	通期
60	◎	外国製	キリスト茨冠像銅牌		金属	10.5×6.8	神戸市立博物館	通期
61	◎	外国製	キリスト像銅牌		金属	18.3×15.2	神戸市立博物館	通期
62	◎	外国製	キリスト像板絵		板・着彩	27×21	神戸市立博物館	通期
63	◎	外国製	大コンタツ		木、金属	12.8×6.3	神戸市立博物館	通期

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
64			池長孟宛永見徳太郎書簡	1950（昭和25）年	ペン・紙（２枚）	（各） 24.7×17.7	神戸市立博物館	通期
65			永見徳太郎写真		写真	15.5×11.2	神戸市立博物館	通期
第２章　つくる―アーティスト・永見夏汀								
66		永見徳太郎	『夏汀画集』	1913（大正２）年	書籍	18×27	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
67		永見徳太郎	『夏汀画集 二』	1915（大正４）年	書籍	19×27	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
68		永見徳太郎	『夏汀画集 三 印度の巻』	1916（大正５）年	書籍	19×26	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
69		永見徳太郎	長崎港	大正時代	油彩・カンヴァス	58×99.5	長崎県美術館	通期
70		永見徳太郎	唐寺	大正時代	油彩・カンヴァス	73×73	長崎県美術館	通期
71		永見徳太郎	朝のヒマラヤ（印度）	1917（大正６）年頃	油彩・カンヴァス	60.3×99.6	長崎県美術館	通期
72		永見徳太郎	赤道近くの海	1920（大正９）年	油彩・カンヴァス	73.4×100.3	長崎県美術館	通期
73		永見徳太郎著	『愛染草』	1924（大正13）年	書籍	18.8×13	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
74		永見徳太郎著	『月下の沙漠』	1924（大正13）年	書籍	19.8×14.1	長崎県立長崎図書館	通期（頁替えあり）
75		永見徳太郎著	『阿蘭陀の花』	1925（大正14）年	書籍	18.8×13	長崎県美術館	通期（頁替えあり）
76		永見徳太郎	受け隈 〈歌舞伎座／七代目坂東三津五郎（曽我時致）〉	1940（昭和15）年	ゼラチンシルバープリント	15.7×11.1	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
77		永見徳太郎	箱書附魚屋茶碗　写真撮影 〈新宿第一劇場／十四代目守田勘彌（蝮丸次郎吉）ほか〉	1937（昭和12）年	ゼラチンシルバープリント	29.4×36.5	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
78		永見徳太郎	大森彦七 〈新橋演舞場／五代目市川染五郎（大森盛長）、初代松本高麗五郎（道後左衛門）ほか〉	1938（昭和13）年	ゼラチンシルバープリント	29.5×37.2	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
79		永見徳太郎	先代萩の政岡に扮する沢村訥升 〈新宿第一劇場／四代目沢村訥升（先代萩の政岡）〉		ゼラチンシルバープリント	30×37	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
80		永見徳太郎	仮名手本忠臣蔵 〈歌舞伎座／十六代目市村家橘（足利直義）、六代目尾上菊五郎（塩谷判官）ほか〉	1938（昭和13）年	ゼラチンシルバープリント	29.5×37.2	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
81		永見徳太郎	南蛮渡見世物譚 〈歌舞伎座／六代目坂東簑助（足利義延）〉	1934（昭和９）年	ゼラチンシルバープリント	36.5×29.4	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
82		永見徳太郎	寿式三番叟 〈歌舞伎座／七代目松本幸四郎（翁）ほか〉	1941（昭和16）年	ゼラチンシルバープリント	24.5×29.7	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
83		永見徳太郎	助六由縁江戸櫻 〈歌舞伎座／十五代目市村羽左衛門（花川戸助六）、六代目大谷友右衛門（髭の意休）、七代目坂東三津五郎（朝顔仙平）ほか〉	1939（昭和14）年	ゼラチンシルバープリント	29.7×24.5	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
84		永見徳太郎	白浪五人男 〈東宝有楽座／四代目中村もしほ（弁天小僧）、九代目市川高麗蔵（南郷力丸）〉	1937（昭和12）年	ゼラチンシルバープリント	24.5×29.7	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
85		永見徳太郎	吉例曽我礎　開幕前 〈歌舞伎座／初代中村吉右衛門（工藤祐経）ほか〉	1939（昭和14）年	ゼラチンシルバープリント	24.5×29.7	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
86		永見徳太郎	春日龍神 〈歌舞伎座／六代目尾上菊五郎（猿澤の龍神）〉	1938（昭和13）年	ゼラチンシルバープリント	30×24.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
87		永見徳太郎	祝祭日〈東京・靖国神社〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	28.8×22.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
88		永見徳太郎	三社祭〈東京・浅草三社祭〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	20.7×29.9	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
89		永見徳太郎	まんとう、花笠、金棒、鈴袴〈東京・浅草三社祭〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	20.5×29.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
90		永見徳太郎	七五三祝〈東京・明治神宮〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	25.1×28.5	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
91		永見徳太郎	鹿角伐り〈奈良・春日公園〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	25×28.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
92		永見徳太郎	巫女行列〈神奈川・大山阿夫利神社〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	22.9×29.9	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
93		永見徳太郎	神輿渡御〈小田原・早川紀伊神社〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	22.8×29.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期
94		永見徳太郎	鯉のぼり〈東京・日比谷公園〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	20.4×30	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
95		永見徳太郎	祝祭日〈東京・銀座〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	25.2×28.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
96		永見徳太郎	舞楽面〈福岡・観世音寺〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	25.2×28.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
97		永見徳太郎	子神社祭〈神奈川・福浦村〉	1936-41(昭和11-16)年	ゼラチンシルバープリント	22.6×29.2	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	通期（モニタ放映）
98		永見徳太郎編	『珍らしい写真』	1932（昭和７）年	書籍	19×27	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）

第３章　つなげる―芸術家たちとの交流

99	◎	横山大観	永見徳太郎宛横山大観書簡（『尺牘集 二』所収）	1919（大正８）年	紙本墨書	19×71	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
100	◎	山口八九子	永見徳太郎宛山口八九子書簡（『尺牘集 四』所収）	1922（大正11）年	紙本墨書	18×59	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
101	◎	芥川龍之介	永見徳太郎宛芥川龍之介書簡（『尺牘集 一』所収）	1922（大正11）年	ペン・紙	23×13	長崎歴史文化博物館	前・中期
102	◎	満谷国四郎	鏡を見る女	1916（大正５）年	油彩・カンヴァス	79.5×86	岡山県立美術館	通期
103	◎	満谷国四郎	永見徳太郎宛満谷国四郎書簡	1917（大正６）年頃	水彩、ペン・紙（３枚）	（各）14×９	倉敷市立美術館	通期
104	◎	南薫造	葡萄棚	1915（大正４）年	油彩・カンヴァス	115.5×78.5	早稲田大学會津八一記念博物館	通期
105		南薫造	ダージリン	1916（大正５）年	水彩・紙	23.1×30.9	広島県立美術館	前・中期
106		南薫造	ダージリン	1916（大正５）年	水彩・紙	35.5×25.2	広島県立美術館	後期
107		南薫造	アグラ	1916（大正５）年	水彩・紙	25.2×35.5	広島県立美術館	前・中期
108		南薫造	ホテルの庭（ベナレス）	1916（大正５）年	水彩・紙	35.5×25.2	広島県立美術館	前・中期
109		南薫造	カルカッタ	1916（大正５）年	水彩・紙	35.5×25.3	広島県立美術館	前・中期
110		南薫造	木影（カルカッタ）	1916（大正５）年	水彩・紙	25.2×35.5	広島県立美術館	後期
111		南薫造	カルカッタにて	1916（大正５）年	水彩・紙	32.8×20	広島県立美術館	後期
112		南薫造	雲海	1916（大正５）年	水彩・紙	17.7×25.5	広島県立美術館	前・中期
113		南薫造	ヒマラヤの女	1916（大正５）年	パステル・紙	24.2×27.2	広島県立美術館	前・中期
114		南薫造	船上のビルマ僧	1916（大正５）年	水彩・紙	33×24	広島県立美術館	後期
115		南薫造	沐浴	1916（大正５）年	水彩・紙	25.2×35.5	広島県立美術館	後期

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
116		南薫造	タージマハール遠望	1916（大正５）年	水彩・紙	25.2×35.5	広島県立美術館	後期
117		永見徳太郎著	『印度旅日記』	1917（大正６）年	書籍	22×15	長崎県立長崎図書館	通期（頁替えあり）
118	◎	渡辺(宮崎)与平	帯	1911（明治44）年	油彩・カンヴァス	151.7×91	長崎県美術館	通期
119		渡辺(宮崎)与平	金さんと赤	1908（明治41）年	油彩・カンヴァス	107.5×150.3	長崎県美術館	通期
120	◎	渡辺(宮崎)与平	落ち椿		油彩・板	23×33	長崎歴史文化博物館	通期
121	◎	渡辺(宮崎)与平	夕刊売		油彩・カンヴァス	33×24	長崎歴史文化博物館	通期
122	◎	亀高文子 (渡辺ふみ子)	食後	1916（大正５）年	油彩・カンヴァス	84.7×77.8	長崎県美術館	通期
123		栗原玉葉	古賀街道図屏風	1919（大正８）年	絹本着色（二曲一双屏風）	（各） 171.0×169.0	長崎歴史文化博物館	前・中期
124		栗原玉葉	尼僧（童貞）	大正時代	絹本着色	173.2×98.5	長崎県美術館	後期
125	◎	平福百穂 (賛・斎藤茂吉)	長崎唐寺	1920（大正９）年頃	紙本墨画淡彩	37.8×50	神戸市立博物館	前・中期
126	◎	長野草風	南蛮人		紙本淡彩	138.8×33.8	神戸市立博物館	前・中期
127	◎	山村耕花	異教徒		紙本着色	127.9×41.6	神戸市立博物館	前・中期
128	◎	山村耕花	長崎風景		紙本着色	52.7×62.8	神戸市立博物館	後期
129	◎	川瀬巴水	崇福寺	1922（大正11）年	紙本淡彩	51.8×38.0	神戸市立博物館	前・中期
130	◎	近藤浩一路	諏訪祭ノ町・神輿	1920（大正９）年頃	紙本墨画（対幅）	（各） 130.6×44.7	神戸市立博物館	後期
131	◎	山口八九子	獅子踊り	1922（大正11）年頃	紙本墨画	62.3×26.5	神戸市立博物館	前・中期
132	◎	山口八九子	川舟	1922（大正11）年頃	紙本墨画	62.3×26.5	神戸市立博物館	後期
133	◎	小川千甕	大浦天主教会僧院	1921（大正10）年	紙本着色	132.7×28.5	神戸市立博物館	前・中期
134	◎	小川千甕	諏訪社	1921（大正10）年	紙本着色	132.6×28.5	神戸市立博物館	後期
135		山本森之助	フランスの田舎	1922-23(大正11-12)年	油彩・カンヴァス	80.3×100	長崎県美術館	通期
136	◎	山本森之助	ヨーロッパスケッチ帖	1922-23(大正11-12)年	水彩・紙	直径30.2	長崎県美術館	通期（頁替えあり）
	◎	竹久夢二	長崎十二景	1920（大正９）年	水彩・紙（12点１組）	（各） 36.5×27	福田美術館	前期
137			（１）青い酒					
138			（２）サボテンの花					
139			（３）ネクタイ					
140			（４）十字架					
141			（５）燈籠流し					
142			（６）化粧台					
143			（７）出島					
144			（８）浦上天主堂					
145			（９）凧揚げ					
146			（10）眼鏡橋					
147			（11）阿片窟					
148			（12）丘の青楼					
	◎	竹久夢二	女十題	1921（大正10）年	水彩・紙（10点１組）	39.5×29.5	福田美術館	前期
149			（１）北方の冬					
150			（２）朝の光へ					
151			（３）産衣					
152			（４）紅梅					
153			（５）黒猫					
154			（６）逢状					
155			（７）ネルの感触					

No.	永見旧蔵	作家名	作品名	制作年	素材・技法等	サイズ(cm)	所蔵	展示期間
156			（8）舞姫					
157			（9）三味線堀					
158			(10) 木場の娘					
		原画・竹久夢二 製作・加藤版画研究所	版画集『長崎六景』	1940-41(昭和15-16)年	木版・紙（6点1組）		静岡市美術館	中・後期
159			（1）青い酒			40.3×31		
160			（2）燈籠流し			40.3×31		
161			（3）出島			40.2×30.5		
162			（4）浦上天主堂			40.2×31		
163			（5）眼鏡橋			40.2×30.5		
164			（6）丘の青楼			40.2×31.1		
		原画・竹久夢二 製作・加藤版画研究所	版画集『女十題』	1937-38(昭和12-13)年	木版・紙（10点1組）		静岡市美術館	中・後期
165			（1）北方の冬			44.0×30.7		
166			（2）朝の光へ			43.5×30.5		
167			（3）産衣			43.5×31.0		
168			（4）泣き黒子			43.5×31.0		
169			（5）黒猫			43.8×30.5		
170			（6）逢状			44.0×30.7		
171			（7）ネルの感触			43.7×30.7		
172			（8）舞姫			43.5×30.7		
173			（9）三味線堀			44.0×30.7		
174			(10) 木場の娘			44.0×30.7		
175		鈴木信太郎	長崎の丘	1950（昭和25）年	油彩・カンヴァス	89×130.7	長崎県美術館	通期
176		鈴木信太郎、永見徳太郎	渡辺庫輔宛鈴木信太郎書簡	1950（昭和25）年	墨、ペン、水彩・紙	14× 9	長崎歴史文化博物館	前・中期
177		鈴木信太郎	渡辺庫輔宛鈴木信太郎書簡	1950（昭和25）年	ペン・紙	14× 9	長崎歴史文化博物館	後期
エピローグ　かたる―長崎の「伝道者」								
178		永見徳太郎編著	『長崎版画集』	1926（大正15）年	書籍	45×33	長崎県美術館	通期
179		永見徳太郎編著	『続長崎版画集』	1926（大正15）年	書籍	41×29	長崎県美術館	通期
180		永見徳太郎編著	『続々 長崎版画集 長崎八景』	1929（昭和4）年	書籍	40×28	長崎県美術館	通期
181		永見徳太郎著	『南蛮長崎草』	1926（大正15）年	書籍	20×14	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
182		永見徳太郎著	『びいどろ絵』	1928（昭和3）年	書籍	27×19.5	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
183		永見徳太郎著	『南蛮屏風大成』	1930（昭和5）年	書籍	39×27	長崎県美術館	通期
184		永見徳太郎著	『長崎の美術史』	1927（昭和2）年	書籍	21.5×15.5	長崎歴史文化博物館	通期（頁替えあり）
185	◎	満谷国四郎	長崎の人	1916（大正5）年	油彩・カンヴァス	91.3×116.8	倉敷市立美術館	通期

さくらももこ展

令和６年１月19日㈮～３月10日㈰　※49日間　　会場：企画展示室

概要：
『ちびまる子ちゃん』『COJI-COJI』『もものかんづめ』―。本展覧会では、まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家といくつもの顔を持ち、新しいキャラクターやエッセイを次々と世に送り出し続けた稀代のアーティスト、さくらももこのいまなお輝き続けるその全魅力に迫った。代表作を含む約300点のカラー原画や直筆原稿をこれまでにないボリュームで一堂に展示した。

開催形態：共催展（実行委員会方式／巡回展）

主催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎
企画：集英社、朝日新聞社
協賛：図書印刷
協力：三菱ケミカルグループ
後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎県書店商業組合

観覧料：
一般1,200（1,000）円、大学生・70歳以上1,000（800）円、高校生800（600）円
※中学生以下無料
※（　）内は前売りおよび15名以上の団体料金。

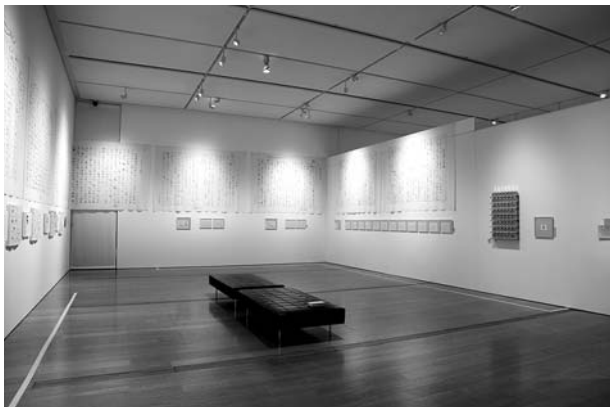
入場者数：24,369人（一日あたり497人）

出品点数：約300点

関連事業：
「さくらももこ展」開催記念スペシャルトークショー
＊事前申込・抽選制
日時：１月27日㈯　14：00～15：00
ゲスト：谷川史子（まんが家）、徳永真（集英社クリエイティブ代表取締役）
会場：ホール
参加費：無料（要本展観覧券）
参加人数：96人（応募者数　335人　うち、当選者数109人）

主要記事等：
・『マルっと！』KTN テレビ長崎　１月19日、１月26日、２月15日、２月20日、２月24日、３月７日
・有近隆史「さくらももこワールド満喫」『朝日新聞』１月28日
・『なんでんカフェ』長崎ケーブルメディア　１月29日、２月14日、２月26日

・『NHK ニュース』NHK 長崎放送局　２月５日
・『ぎゅっと！長崎』NHK 長崎放送局　２月５日
・竹添そら「さくらももこの世界に浸って」『西日本新聞』２月８日
・『美術手帖』web 版　美術出版社　２月16日
・前田徹「さくらももこ展　２万人」『西日本新聞』３月８日



出品リスト：

番号	作品名	制作年	色	サイズ
序章　さくらももこができるまで				
1	単行本『ひとりずもう』中扉絵	2005	カラー	W205×H257
2	デビュー作『教えてやるんだありがたく思え！』	1984	モノクロ	W259×H369
3	デビュー作『教えてやるんだありがたく思え！』	1984	モノクロ	W259×H369
4	デビュー作『教えてやるんだありがたく思え！』	1984	モノクロ	W259×H369
5	デビュー作『教えてやるんだありがたく思え！』	1984	モノクロ	W259×H369
6	『富士山』第4号　さくらももこ突撃インタビュー 最終回 P12	2000	カラー	W257×H182
7	『ほのぼの劇場』カラー原画展示　RMC 6巻「フランス人形とちび姫」	1988	カラー	W270×H374
8	『ほのぼの劇場』 6巻 P160「放課後の学級会」	1988	モノクロ	W259×H369
9	『ほのぼの劇場』 6巻 P161「放課後の学級会」	1988	モノクロ	W259×H369
10	『ほのぼの劇場』 8巻 P154「陽だまりの粒」	1991	モノクロ	W259×H360
11	『ほのぼの劇場』 8巻 P155「陽だまりの粒」	1991	モノクロ	W259×H360
第1章　ももことちびまる子ちゃん				
12	「まる」の詩	1990	モノクロ	W259×H360
13	『ちびまる子ちゃん』 1巻 表紙原画	1987	カラー	W99×H130
14	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
15	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
16	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
17	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
18	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
19	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
20	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
21	『ちびまる子ちゃん』第一話 その1「おっちゃんのまほうカード」の巻	1986	モノクロ	W263×H360
22	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈まる子〉 7巻 その44「まる子 山口百恵のコンサートに行く」P110	1990	モノクロ	W259×H369
23	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈たまちゃん〉 10巻 その65「たまちゃん、大好き」の巻 P20	1992	モノクロ	W259×H360
24	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈野口さん〉 13巻 その96「青春てなんだろう」の巻 P67	1994	モノクロ	W256×H363
25	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈はまじ〉 10巻 その70「まる子は盆栽好き」P99	1992	モノクロ	W259×H360
26	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈丸尾くん〉 7巻 その39「男子対女子大戦争」の巻 P30	1989	モノクロ	W259×H369
27	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈花輪くん〉 10巻 その69「とくちゃんはお人よし」の巻 P90	1992	モノクロ	W259×H360
28	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈みぎわさん〉 11巻 その79「仲良しの集い」の巻 P94	1993	モノクロ	W256×H363
29	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈藤木〉 14巻 その111「藤木のひきょうを直す会」の巻 P117	1996	モノクロ	W256×H363
30	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈永沢〉 10巻 その66「永沢君の家、火事になる」P37	1992	モノクロ	W259×H360
31	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈山根〉 15巻 その116「山根、手相に凝る」の巻 P66	2002	モノクロ	W256×H363
32	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈小杉〉 16巻 その122「小杉 みんなによけいな心配をかける」の巻 P46	2008	モノクロ	W256×H363
33	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈ブー太郎〉 7巻 その46「まる子まぼろしの洋館を見る」の巻 P150	1990	モノクロ	W259×H360
34	『ちびまる子ちゃん』漫画 キャラストーリー原画〈山田〉 10巻 その71「まる子きもだめしに出かける」の巻 P117	1992	モノクロ	W259×H360
35	『ちびまる子ちゃん』 5巻 その29「まるちゃんかぜをひく」の巻 P54	1989	モノクロ	
36	『ちびまる子ちゃん』 5巻 その29「まるちゃんかぜをひく」の巻 P55	1989	モノクロ	
37	『ちびまる子ちゃん』 5巻 その29「まるちゃんかぜをひく」の巻 P56	1989	モノクロ	
38	『ちびまる子ちゃん』 6巻 その33「おかあさんの日」の巻 P18	1989	モノクロ	
39	『ちびまる子ちゃん』 6巻 その33「おかあさんの日」の巻 P19	1989	モノクロ	

番号	作品名	制作年	色	サイズ
40	『ちびまる子ちゃん』 6 巻 その36「まるちゃん南の島へ行く」の巻（後編）P94	1989	モノクロ	
41	『ちびまる子ちゃん』 6 巻 その36「まるちゃん南の島へ行く」の巻（後編）P95	1989	モノクロ	
42	『ちびまる子ちゃん』 6 巻 その37「憂鬱な参観日」の巻 P118	1989	モノクロ	
43	『ちびまる子ちゃん』 6 巻 その37「憂鬱な参観日」の巻 P119	1989	モノクロ	
44	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その40「まるちゃん年賀状をかく」の巻 P50	1990	モノクロ	
45	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その40「まるちゃん年賀状をかく」の巻 P51	1990	モノクロ	
46	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その41「まるちゃん学校でお腹痛くなる」の巻 P70	1990	モノクロ	
47	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その41「まるちゃん学校でお腹痛くなる」の巻 P71	1990	モノクロ	
48	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その41「まるちゃん学校でお腹痛くなる」の巻 P72	1990	モノクロ	
49	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その41「まるちゃん学校でお腹痛くなる」の巻 P73	1990	モノクロ	
50	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その42「まるちゃん熱帯魚を飼う」の巻 P88	1990	モノクロ	
51	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その42「まるちゃん熱帯魚を飼う」の巻 P90	1990	モノクロ	
52	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その43「まるちゃん自分の部屋が欲しくなる」の巻 P102	1990	モノクロ	
53	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その43「まるちゃん自分の部屋が欲しくなる」の巻 P103	1990	モノクロ	
54	『ちびまる子ちゃん』 7 巻 その43「まるちゃん自分の部屋が欲しくなる」の巻 P104	1990	モノクロ	
55	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その51「ゆうかい犯に気をつけろ」の巻 P56	1990	モノクロ	
56	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その51「ゆうかい犯に気をつけろ」の巻 P57	1990	モノクロ	
57	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その51「ゆうかい犯に気をつけろ」の巻 P66	1990	モノクロ	
58	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その51「ゆうかい犯に気をつけろ」の巻 P67	1990	モノクロ	
59	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その54「まる子 不幸の手紙をもらう」の巻 P101	1991	モノクロ	
60	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その54「まる子 不幸の手紙をもらう」の巻 P102	1991	モノクロ	
61	『ちびまる子ちゃん』 8 巻 その54「まる子 不幸の手紙をもらう」の巻 P103	1991	モノクロ	
62	『ちびまる子ちゃん』 9 巻 その62「おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかす」の巻 P108	1991	モノクロ	
63	『ちびまる子ちゃん』 9 巻 その62「おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかす」の巻 P109	1991	モノクロ	
64	『ちびまる子ちゃん』 9 巻 その62「おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかす」の巻 P110	1991	モノクロ	
65	『ちびまる子ちゃん』 9 巻 その62「おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかす」の巻 P111	1991	モノクロ	
66	『ちびまる子ちゃん』10巻 その66「永沢君の家 火事になる」の巻 P38	1992	モノクロ	
67	『ちびまる子ちゃん』10巻 その66「永沢君の家 火事になる」の巻 P39	1992	モノクロ	
68	『ちびまる子ちゃん』11巻 その80「まる子 おすし屋さんに行く」の巻 P113	1993	モノクロ	W256×H363
69	『ちびまる子ちゃん』11巻 その80「まる子 おすし屋さんに行く」の巻 P114	1993	モノクロ	W256×H363
70	『ちびまる子ちゃん』11巻 その80「まる子 おすし屋さんに行く」の巻 P115	1993	モノクロ	W256×H363
71	『ちびまる子ちゃん』11巻 その80「まる子 おすし屋さんに行く」の巻 P116	1993	モノクロ	W256×H363
72	「りぼん」1990年11月号 その50「まる子 ノストラダムスの予言を気にする」扉絵 RMC 8 巻表紙絵	1990	カラー	W316×H410×D20
73	『ちびまる子ちゃん』「りぼんマスコットコミックス」 2 巻 表紙絵 1987年	1988	カラー	W107×H143
74	『ちびまる子ちゃん』「りぼんマスコットコミックス」 6 巻 表紙絵 1990年	1990	カラー	W173×H215
75	『ちびまる子ちゃん』「その52 花輪邸ついに公開」の巻 「りぼん」1991年 1 月号 扉絵	1991	カラー	W245×H379
76	『ちびまる子ちゃん』その54「まる子 不幸の手紙をもらう」の巻 「りぼん」1991年 3 月号 扉絵	1991	カラー	W253×H335
77	『ちびまる子ちゃん』その58「まる子 偏食をする」の巻 「りぼん」1991年 7 月号 扉絵	1991	カラー	W253×H335
78	『ちびまる子ちゃん』その60「まる子 ゴキブリをこわがる」の巻 「りぼん」1991年 9 月号 扉絵	1991	カラー	W256×H335
79	『ちびまる子ちゃん』その65「たまちゃん、大好き」の巻 「りぼん」1992年 2 月号 扉絵	1992	カラー	W235×H335
80	『ちびまる子ちゃん』「ビンのふたが開かない」の巻き 「富士山 第 1 号」2000年 （新潮社）	2000	カラー	W193×H266
81	『ちびまる子ちゃん』その127「まる子、通帳をなくす」の巻 扉絵 「りぼん」2010年 2 月号（集英社）	2010	カラー	W227×H310
82	『永沢君』カラー原画	1995	カラー	W334×H247
83	『永沢君』「不良」P48 「週刊ビッグコミックスピリッツ」1993年19号（ 4 月26日号）	1993	モノクロ	
84	『永沢君』「不良」P49	1993	モノクロ	

番号	作品名	制作年	色	サイズ
85	『4コマ!! 永沢君』第4回 有名な本 P36	1996	カラー	
86	『4コマ!! 永沢君』第29回「花輪くんと永沢」P64	1996	カラー	
87	『永沢君の詳細』イラスト原画	2013	モノクロ	W363×H258
88	『ちびしかくちゃん』コミックス表紙原画	2017	カラー	W256×H363
89	『ちびしかくちゃん』1巻扉絵「お父さんのパンツの巻」	2015	カラー	W256×H363
90	『ちびしかくちゃん』1巻P4「お父さんのパンツの巻」	2015	カラー	W256×H363
91	『ちびしかくちゃん』1巻P5「お父さんのパンツの巻」	2015	モノクロ	W256×H363
92	『ちびしかくちゃん』1巻P6「お父さんのパンツの巻」	2015	モノクロ	W256×H363
93	映画原作『ちびまる子ちゃん』「大野くんと杉山くん」	1990	モノクロ	R
94	映画原作『ちびまる子ちゃん』「大野くんと杉山くん」	1990	モノクロ	
95	映画原作特別描き下ろし『ちびまる子ちゃん』「私の好きな歌」	1992	モノクロ	W436×H363
96	映画原作特別描き下ろし『ちびまる子ちゃん』「君を忘れないよ」	2015	モノクロ	
97	映画原作『ちびまる子ちゃん』「君を忘れないよ」	2015	モノクロ	
98	さくらももこのシリーズ絵本1『ちびまる子ちゃん』「おかあさんの日」P23	1992	カラー	
99	さくらももこのシリーズ絵本2『ちびまる子ちゃん』「ノストラダムスで大さわぎ」P17	1992	カラー	
100	さくらももこのシリーズ絵本3『ちびまる子ちゃん』「百恵ちゃんのコンサートに行く」P15	1993	カラー	
101	さくらももこのシリーズ絵本4『ちびまる子ちゃん』「たまちゃん、大好き」P23	1993	カラー	
102	『おはなしちびまる子ちゃん』	1999	カラー	W239×H295
103	『おはなしちびまる子ちゃん』	1998	モノクロ	W121×H192
104	『おはなしちびまる子ちゃん』	1998	モノクロ	W128×H192
105	ふろく まるちゃんカルタ	1988	カラー	
106	ふろく おばけごっこレター	1988	カラー	W195×H272
107	『4コマ ちびまる子ちゃん』6巻P116	2009	カラー	W256×364
108	『4コマ ちびまる子ちゃん』2巻P15	2007	モノクロ	W256×364
109	『4コマ ちびまる子ちゃん』2巻P97	2008	モノクロ	W256×364
110	これからもまる子をよろしくの詩	1990	モノクロ	

第2章　ももこのエッセイ

111	『ものかんづめ』表紙イラスト原画	1991	カラー	W120×H101
112	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P1	1989	モノクロ	W304×H218
113	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P2	1989	モノクロ	W304×H218
114	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P3	1989	モノクロ	W304×H218
115	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P4	1989	モノクロ	W304×H218
116	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P5	1989	モノクロ	W304×H218
117	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P6	1989	モノクロ	W304×H218
118	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P7	1989	モノクロ	W304×H218
119	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P8	1989	モノクロ	W304×H218
120	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P9	1989	モノクロ	W304×H218
121	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P10	1989	モノクロ	W296×H210
122	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P11	1989	モノクロ	W296×H210
123	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」原稿用紙P12	1989	モノクロ	W296×H210
124	『ものかんづめ』「奇跡の水虫治療」挿絵	1989	モノクロ	W180×H171
125	『さるのこしかけ』「前世日本人の疑い」原稿P1書き出し「私は、2才半頃～」	1992	モノクロ	W360×H249
126	『さるのこしかけ』「前世日本人の疑い」原稿P2	1992	モノクロ	W360×H249
127	『さるのこしかけ』「前世日本人の疑い」挿絵	1992	モノクロ	W360×H260
128	『たいのおかしら』「歯医者に行く」原稿P3	1993	モノクロ	W360×H250
129	『たいのおかしら』「歯医者に行く」原稿P4	1993	モノクロ	W360×H250
130	『たいのおかしら』「歯医者に行く」挿絵	1993	モノクロ	W365×H257
131	『あのころ』装丁ラフ 1996年 集英社	1996	モノクロ	W257×H181
132	『あのころ』題字（下書き or 習作）1996年 集英社	1996	モノクロ	W365×H254
133	『あのころ』ノンブル、目次 1996年 集英社	1996	モノクロ	W365×H254
134	『あのころ』見返し 1996年 集英社	1996	モノクロ	W150×H84

番号	作品名	制作年	色	サイズ
135	『あのころ』見返し 1996年 集英社	1996	モノクロ	W150×H66
136	『あのころ』総扉 1996年 集英社	1996	カラー	W147×H256
137	『まるむし帳』P12「まるむし帳」原画	1991	モノクロ	W98×H76
138	『まるむし帳』P18「善くも悪くもない」原画	1991	モノクロ	W97×H78
139	『まるむし帳』P40「きもち」原画	1991	モノクロ	W96×H74
140	『まるむし帳』P54「まるい星」原画	1991	モノクロ	W157×H149
141	『まるむし帳』P130「今のわたしの声」原画	1991	モノクロ	W100×H240
142	『いきもの図鑑』とり	1993	カラー	W220×H147
143	『いきもの図鑑』どうぶつ	1994	カラー	W157×H134
144	『いきもの図鑑』さかな	1994	カラー	W140×H116
145	『いきもの図鑑』むし	1993	カラー	W168×H133
146	『いきもの図鑑』最終回（しにもの図鑑）	1994	カラー	W177×H126
147	『いきもの図鑑』とり	1994	カラー	W120×H105
148	『いきもの図鑑』どうぶつ	1994	カラー	W134×H126
149	『いきもの図鑑』さかな	1993	カラー	W131×H120
150	『いきもの図鑑』むし	1993	カラー	W133×H116
151	『いきもの図鑑』むし	1993	カラー	W220×H148
152	『いきもの図鑑』いろいろ	1993	カラー	W173×H106
153	月刊カドカワ　春	1991	モノクロ	W260×H360
154	月刊カドカワ　夏	1991	モノクロ	W260×H360
155	月刊カドカワ　秋	1991	モノクロ	W260×H360
156	月刊カドカワ　冬	1992	モノクロ	W260×H360

第3章　ももこのまいにち

157	そういうふうにできている　ハード本　表紙原画	1995	カラー	W260×H365
158	そういうふうにできている　ハード本　表紙原画	1995	モノクロ	W257×H364
159	富士山　第2号　P72　息子のかいた絵	2000	モノクロ	W178×H213
160	『さくら日和』	1999	モノクロ	W365×H254
161	富士山　第2号　息子の手紙	2000	モノクロ	W148×H200
162	富士山　第2号　息子の手紙	2000	モノクロ	
163	『赤ちゃん日記』	1997	カラー	W271×H385
164	『赤ちゃん日記』	1997	カラー	W271×H385
165	絵本　スーパー0くん	2002	カラー	W266×H387
166	絵本　スーパー0くん	2002	カラー	W266×H387
167	絵本『おばけの手』	2002	モノクロ	W256×363
168	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
169	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
170	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
171	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
172	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
173	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
174	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W364×H257
175	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
176	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
177	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
178	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
179	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
180	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
181	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
182	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
183	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266
184	絵本『おばけの手』	2002	カラー	W387×H266

番号	作品名	制作年	色	サイズ
185	のほほん絵日記　ぜんぜんちがう、	1999	カラー	W102×H150
186	のほほん絵日記　UFO	1999	カラー	W132×H185
187	21世紀日記	2005	カラー	W334×H257
188	21世紀日記	2008	カラー	W363×H260
189	絵日記表紙原画	2010	カラー	W182×257
190	絵日記表紙原画	2011	カラー	W199×298
191	ももこのまんねん日記	2011	カラー	W256×363
192	ももこのまんねん日記	2012	カラー	W256×363
193	清水市ことば 2007年にかかれて、2008年に清水市市役所職員名刺に	2007	モノクロ	W256×363
194	清水市鳥観図　映画原作特別描き下ろし『ちびまる子ちゃん』－わたしの好きなうた－P 6	1992	モノクロ	
195	清水市 MAP「映画わたしの好きなうた　画集 1 」	1992	カラー	W255×H335
196	『ちびまる子ちゃん』その61　さくら家のお月見の巻 扉絵	1991	カラー	W274×H373
197	『4 コマちびまる子ちゃん』13巻 P131「年末」	2011	カラー	W256×H364
198	2013年 CD『まるちゃんの静岡音頭』ピエール瀧（ワーナーミュージック・ジャパン）ケース背面	2013	カラー	W365×H254
199	GJ 8 マン	2016	カラー	
200	ピエール・ラニエ 時計　原画 星座	2001	モノクロ	W230×H267
201	ピエール・ラニエ 時計　原画 世界のこども	2017	カラー	W365×H254

第 4 章　ももこのナンセンス・ワールド

202	『神のちから』「スピリッツボンバーコミックス」単行本描きおろし	1992	カラー	W259×H360
203	『神のちから』カラーイラスト原画	1992	カラー	W259×H360
204	『神のちから』愛蔵版　その 4　P71「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
205	『神のちから』愛蔵版 P72「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
206	『神のちから』愛蔵版 P73「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
207	『神のちから』愛蔵版 P74「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
208	『神のちから』愛蔵版 P75「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
209	『神のちから』愛蔵版 P76「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
210	『神のちから』愛蔵版 P77「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
211	『神のちから』愛蔵版 P78「しりがうりもののおやじの巻」	1990	モノクロ	W259×H369
212	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
213	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
214	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
215	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
216	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
217	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
218	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
219	『神のちから』漫画原画　その16「かんげいされたおとこの巻」	1992	モノクロ	W259×H360
220	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P45 「神のちからちからっ子新聞」第12回 49号（11／15号）11月 1 日発売	2004	モノクロ	
221	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P46 「神のちからちからっ子新聞」第12回	2004	モノクロ	
222	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P47 「神のちからちからっ子新聞」第12回	2004	モノクロ	
223	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P48 「神のちからちからっ子新聞」第12回	2004	モノクロ	
224	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P141 「神のちからちからっ子新聞」第28回	2005	カラー	W256×H364
225	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P142 「神のちからちからっ子新聞」第28回	2005	カラー	W256×H364
226	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P143 「神のちからちからっ子新聞」第28回	2005	カラー	W256×H364
227	『神のちからっ子新聞』愛蔵版「神のちからっ子新聞上」P144 「神のちからちからっ子新聞」第28回	2005	カラー	W256×H364

番号	作品名	制作年	色	サイズ
第5章　ももことコジコジ				
228	「コジコジ万博」図録『COJI COJI』FAN BOOK「コジコジのすべて」	1991	カラー	W143×H160×D25
229	『COJI-COJI』原画 第4話「メルヘンの国の悪者達の巻」扉絵「きみとぼく」1995年3月号	1995	カラー	W258×H370
230	コジコジのことば　1995年9月14日（木）車内吊り用告知コメント	1995	モノクロ	W256×H363
231	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P15 第1話「コジコジはコジコジの巻」	1994	モノクロ	W256×H363
232	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P16 第1話「コジコジはコジコジの巻」	1994	モノクロ	W256×H363
233	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P17 第1話「コジコジはコジコジの巻」	1994	モノクロ	W256×H363
234	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P52 第3話「学級劇 ちびまる子ちゃんの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
235	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P53 第3話「学級劇 ちびまる子ちゃんの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
236	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P107 第7話「手紙を書こう!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
237	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P116 第7話「手紙を書こう!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
238	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P117 第7話「手紙を書こう!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
239	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P118 第7話「手紙を書こう!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
240	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P119 第7話「手紙を書こう!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
241	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P140 第8話「嵐が来るぞ!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
242	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P141 第8話「嵐が来るぞ!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
243	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P142 第8話「嵐が来るぞ!!の巻」	1995	モノクロ	W256×H363
244	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P156 第9話「海水浴へ行こうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
245	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P157 第9話「海水浴へ行こうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
246	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P162 第9話「海水浴へ行こうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
247	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P163 第9話「海水浴へ行こうの巻」	1995	モノクロ	
248	『COJI-COJI』新装再編版 1巻P190 第11話「ファッションショーをやろうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
249	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P191 第11話「ファッションショーをやろうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
250	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P192 第11話「ファッションショーをやろうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
251	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P193 第11話「ファッションショーをやろうの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
252	『COJI-COJI』新装再編版 1巻 第13話「きょうはクリスマスの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
253	『COJI-COJI』新装再編版 1巻 第13話「きょうはクリスマスの巻」	1995	モノクロ	W256×H363
254	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P44 第15話「やすひこ君に会いに行こうの巻」	1996	モノクロ	W256×H363
255	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P45 第15話「やすひこ君に会いに行こうの巻」	1996	モノクロ	W256×H363
256	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P46 第15話「やすひこ君に会いに行こうの巻」	1996	モノクロ	W256×H363
257	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P114 第19話「カエルの生き方の巻」	1996	モノクロ	W256×H363
258	『COJI-COJI』新装再編版 2巻P115 第19話「カエルの生き方の巻」	1996	モノクロ	W256×H363
259	『COJI-COJI』新装再編版 3巻P110 第32話「クールのひけつの巻」	2000	カラー	W235×H324
260	『COJI-COJI』新装再編版 3巻P111 第32話「クールのひけつの巻」	2000	カラー	W221×H313
261	『COJI-COJI』新装再編版 3巻P112 第32話「クールのひけつの巻」	2000	カラー	W234×H308
262	『COJI-COJI』新装再編版 3巻P139 第33話「不思議屋がやってきたの巻」	2002	カラー	W239×H341
263	『COJI-COJI』新装再編版 3巻P140 第33話「不思議屋がやってきたの巻」	2002	カラー	W243×H331
264	『COJI-COJI』原画 第11話「ファッションショーをやろうの巻」扉絵「きみとぼく」1995年10月号	1995	カラー	W263×H367
265	『COJI-COJI』原画 第16話「え!?ジョニー君がアイドルに!!の巻」扉絵「きみとぼく」1996年3月号	1996	カラー	W263×H367
266	『COJI-COJI』原画　第31話「まほうの練習の巻」扉絵「富士山」2000年第2号	2000	カラー	W230×H270
267	『まんが倶楽部』1巻P9「ゴシゴシ vol.1」2015年11月4日号 22号 10月21日発売日	2015	モノクロ	W255×H364
268	『まんが倶楽部』1巻P10「ゴシゴシ vol.1」	2015	モノクロ	W255×H364
269	『まんが倶楽部』1巻P11「ゴシゴシ vol.1」	2015	モノクロ	W255×H364
終章　アトリエより				
270	ももこのファンタジック・ワールド コジコジ コジコジがやってきた の巻　下絵	1992	モノクロ	
271	ももこのファンタジック・ワールド コジコジ コジコジがやってきた の巻　下絵	1992	モノクロ	
272	ももこのファンタジック・ワールド コジコジ コジコジがやってきた の巻　下絵	1992	モノクロ	
273	ももこのファンタジック・ワールド コジコジ コジコジがやってきた の巻　下絵	1992	モノクロ	
274	絵本『まるコジ』原画	1994	カラー	W260×H360
275	絵本『まるコジ』原画※幼稚園1992年7月	1993	カラー	W255×H335

番号	作品名	制作年	色	サイズ
276	絵本『まるコジ』原画	1993	カラー	W257×H365
277	『ほのぼの劇場』	1988	カラー	W247×H379
278	少女の絵	2015	カラー	W571×H572
279	『まる子だった』あとがき後の OMAKE 手書き原稿	1997	モノクロ	W254×H365
280	ももこ　心の俳句	1995	モノクロ	W415×H385×D27

※ここに掲載した作品は直筆作品に限る。展覧会ではその他、資料展示多数。

超絶技巧の鉛筆画 吉村芳生展

令和６年３月22日㈮～５月12日㈰　※50日間　　会場：企画展示室

概要：
鉛筆による細密描写で現代アート界に衝撃を与え、2013年に63歳で急逝した吉村芳生（山口県出身）の大回顧展。活字１文字１文字まですべて手描きで完璧に写しとった「新聞」、１年間毎日描き続けた「自画像」、写真と見まがう「全長10ｍの花々」など、初期のモノクロ作品から晩年の鮮やかな花々まで、約500点を展示した。

開催形態：共催展（受託形式／巡回展）

主催：長崎新聞社、長崎県美術館
共催：NCC 長崎文化放送
特別協賛：佐藤和眼科医院
協力：長崎バス、アミュプラザ長崎、長崎県医師会、長崎新聞販売センター
後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎市立図書館、長崎県 PTA 連合会、長崎県国公立幼稚園・こども園協会、長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会、長崎県学童保育連絡協議会、長崎市学童保育連絡協議会、長崎県保育協会、長崎県子ども会育成連合会、長崎県民生委員児童委員協議会、長崎県社会福祉協議会、長崎商工会議所、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、生活協同組合ララコープ、長崎県生活協同組合連合会、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎県美術協会、長崎県書店商業組合、長崎県興行生活衛生同業組合、長崎県映画センター、長崎親善人形の会（瓊子の会）

観覧料：一般（大学生以上）：前売券（全日）1,100円／当日券（平日）1,200円／当日券（土日祝日）1,300円、小中高生：前売券（全日）500円／当日券（平日）600円／当日券（土日祝日）700円
※小学生未満無料

入場者数：28,071人（一日あたり561人）

出品点数：約500点

関連事業：
「三上詩絵さん 特別講演会」　※事前申込
日時：３月31日㈰　午前の部（11時～）、午後の部（14時～）
講師：三上詩絵（色鉛筆作家）
会場：ホール
参加費：無料（要観覧券）
参加人数：午前の部 92人、午後の部 87人

主要記事等：
・『美術の窓』生活の友社、３月19日
・『美術手帖』web 版、美術出版社、３月20日
・『スーパー J チャンネル』NCC 長崎文化放送、３月22日、４月５日、４月11日、４月12日、５月８日
・『NHK ニュース』NHK 長崎放送局、３月22日
・中村修二「吉村芳生展　緻密表現じっくり鑑賞」『長崎新聞』３月23日
・（徹）「水や空」『長崎新聞』３月23日
・冨田章「超絶技巧を超えて①ジーンズ　斜線の濃密で描く」『長崎新聞』３月24日
・岡田真実「吉村芳生の細密鉛筆画500点」『朝日新聞』３月25日
・冨田章「超絶技巧を超えて②新聞と自画像（ジャパンタイムズ）すさまじい執念、迫力」『長崎新聞』３月25日
・冨田章「超絶技巧を超えて③コスモス」『長崎新聞』３月26日
・冨田章「超絶技巧を超えて④無数の輝く生命に捧ぐ　花一つ一つに人の魂」『長崎新聞』３月27日
・冨田章「超絶技巧を超えて⑤コスモス（絶筆）」『長崎新聞』３月28日
・『日曜美術館アートシーン』NHK E テレ、４月７日
・『はっけん TV』NHK、４月23日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	点数(全体)	所蔵
ありふれた風景						
1	ドローイング　金網	1977	鉛筆、紙	97.0×1686.7	1点	個人蔵
2	河原 No.7	1978	コンテ、紙	108.0×158.0	1点	個人蔵
3	河原 No.9	1978	コンテ、紙	108.0×158.0	1点	個人蔵
4	ROAD No.10	1978	エッチング、紙	66.8×49.0	1点	個人蔵
5	A STREET SCENE No.6	1978	油性ペン、紙	90.5×80.0	1点	個人蔵
6	A STREET SCENE No.16	1978	エッチング、紙	43.5×54.6	1点	個人蔵
7	A PARKING SCENE No.26	1979	インク、フィルム	55.0×82.5	1点	個人蔵
8	A PARKING SCENE No.26 （A）	1979	シルクスクリーン、紙	55.0×82.5	1点	個人蔵
9	FLY	1979	インク、フィルム	45.5×55.5	1点	個人蔵
10	FLY	1979	シルクスクリーン、紙	45.4×55.5	1点	個人蔵
11	ドローイング　新聞　ジャパンタイムズ	1979-80	鉛筆、紙／オフセット、紙／鉛筆・色鉛筆、紙	各56.0×42.5	10点	個人蔵
12	SCENE No.23	1979	リトグラフ、紙	62.6×92.7	1点	個人蔵
13	SCENE No.24	1979	リトグラフ、紙	80.3×55.4	1枚	個人蔵
14	SCENE No.25	1979	リトグラフ、紙	63.0×93.2	1枚	個人蔵
15	友達シリーズ	1981	鉛筆、紙	各19.0×15.0	65点	個人蔵
17	SCENE	1983	シルクスクリーン、紙	42.5×53.2	1点	個人蔵
18	SCENE No.36（河原）	1983	鉛筆、紙	100.0×216.0	1点	個人蔵
19	SCENE No.40	1983	インク、フィルム	44.7×55.2	1点	個人蔵
21	ASH TRAY	1980	シルクスクリーン、紙	41.7×55.3	1点	個人蔵
22	ジーンズ	1983	鉛筆、紙	150.0×110.0	1点	個人蔵
23	ジーンズ　下絵（数字）	1984	鉛筆、紙	84.0×59.0	1点	個人蔵
24	ジーンズ	1984	インク、フィルム	84.0×59.0	1点	個人蔵
25	KANOCHI	1986	オフセット、紙	50.2×75.4	1枚	個人蔵
自画像の森						
27	ニューデリーの自画像	1986	色鉛筆、紙	73.0×73.0	1点	個人蔵
28	エローラの自画像	1986	色鉛筆、紙	73.0×51.5	1点	個人蔵
29	ジャルマハルの自画像	1986	色鉛筆、紙	61.5×52.2	1点	個人蔵
30	マトウラの自画像	1986	色鉛筆、紙	51.7×36.5	1点	個人蔵
31	エレファンタの自画像	1986	色鉛筆、紙	49.5×59.2	1点	個人蔵
32	エレファンタの自画像Ⅱ	1986	色鉛筆、紙	51.6×51.6	1点	個人蔵
33	新聞と自画像　2008.6.9　朝日新聞	2008	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
34	新聞と自画像　2008.6.15　中国新聞	2008	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
35	新聞と自画像　2008.8.9　読売新聞	2008	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.0	1点	みぞえ画廊
36	新聞と自画像　2008.8.28　中国新聞	2008	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
37	新聞と自画像　2008.9.17　日本経済新聞	2008	鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
38	新聞と自画像　2008.10.8　毎日新聞	2008	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
39	新聞と自画像　2009.1.22　ジャパンタイムズ	2009	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
40	新聞と自画像　2010.10.14　読売新聞	2010	鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩、紙	146.0×109.1	1点	個人蔵
41	新聞と自画像　2009年	2009	鉛筆・色鉛筆、新聞紙	各56.0×43.5	全364点	個人蔵
42	「3.11から」新聞と自画像	2011	シルクスクリーン、新聞紙	各54.5×40.5／各54.5×81.0	全8種（見・吁・光・阿・吽・失・共・叫）58点	個人蔵
43	Self-portraits 1000 in Paris（パリの新聞と自画像）	2011-12	鉛筆、新聞紙	各41.5×27.8	全1,000点	個人蔵

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	点数(全体)	所蔵
百花繚乱						
44	モッコウバラ	2000	色鉛筆、紙	117.0×80.5	1点	みぞえ画廊
45	コスモス	2000-07	色鉛筆・墨、紙	112.0×145.5	1点	個人蔵
46	コスモス	2001	色鉛筆、紙	162.0×112.0	1点	個人蔵
47	コスモス	2004	色鉛筆、紙	117.0×80.5	1点	みぞえ画廊
48	コスモス	2005	色鉛筆、紙	116.9×80.5	1点	個人蔵
49	コスモス	2006	色鉛筆・墨、紙	112.0×194.1	1点	個人蔵
50	コスモス　徳地に住んで見えてくるもの（色鉛筆で描く…）	2007	色鉛筆、紙	162.0×336.6	1点	みぞえ画廊
51	タンポポ	2004	色鉛筆、紙	117.0×91.0	1点	みぞえ画廊
52	バラ	2004	色鉛筆、紙	117.0×80.5	1点	みぞえ画廊
53	ケシ	2004	色鉛筆、紙	146.4×97.0	1点	個人蔵
54	ケシ	2005	色鉛筆、紙	162.2×112.1	1点	個人蔵
55	ケシ	2005、2006	色鉛筆・墨、紙	162.5×112.0	1点	個人蔵
56	ケシ	2008	色鉛筆、紙	202.2×613.5	1点	個人蔵
57	フジ	2005、2006	色鉛筆・墨、紙	112.0×194.2	1点	個人蔵
58	ヒマワリ	2007	色鉛筆、紙	145.0×112.0	1点	みぞえ画廊
59	バンダ	2007	色鉛筆、紙	162.0×112.0	1点	個人蔵
60	未知なる世界からの視点	2010	色鉛筆、紙	202.0×1022.0	1点	個人蔵
61	無数の輝く生命に捧ぐ	2011-13	色鉛筆、紙	202.0×714.0	1点	個人蔵
62	コスモス（絶筆）	2013	色鉛筆、紙	202.0×306.0	1点	個人蔵

【資料】

資料1	No.19《SCENE　No.40》のもとになった写真	写真1枚		1枚	個人蔵
資料2	No.23・24《ジーンズ》のもとになった写真	写真4枚1組	（44枚組み全体）86.0×55.5	1組（4枚）	個人蔵
資料3	No.25《KANOCHI》に関連する写真とフィルム	写真1枚・フィルム4枚		1式	個人蔵
資料4	愛用のカメラ	一眼レフカメラ		1台	個人蔵
資料5	制作に使用した道具	色鉛筆・道具箱（蓋付）・制作スケール・制作カラーチャート		1式	個人蔵
資料7	No.61《無数の輝く生命に捧ぐ》の構想写真			1式	個人蔵

※No.16、20、26、資料6は欠番（不出品のため）

2）コレクション展

鴨居玲のスペイン時代　スペイン・バロックの巨匠ジュゼペ・デ・リベーラの作品とともに

令和５年４月７日㈮～６月11日㈰　※62日間　　会場：常設展示室第４室

概要：
長崎ゆかりの画家・鴨居玲（1928-1985）のスペイン時代に焦点を当てた特集展示。開催にあたり、鴨居がスペイン時代に多大な影響を受けたジュゼペ・デ・リベーラの《哲学者クラテース》を国立西洋美術館から特別借用し、比較展示をした。そして鴨居がリベーラ作品からどのような親和性を感じ取り、自身の制作に反映させていったかを検証した。なお本展は、国立美術館と国立アートリサーチセンターが新たに開始した事業「国立美術館 コレクション・プラス」のプレ事業として開催された。

主催：長崎県、長崎県美術館
特別協力：国立西洋美術館、国立アートリサーチセンター

入場者数：6,394人（１日あたり103人）

出品点数：14点

関連事業：
レクチャー「鴨居玲はスペインで何を見たか」（コレクション・イン・フォーカス第１回）
日時：４月16日㈰　11：00～11：45
会場：ホール
講師：森園敦（当館学芸員）
参加者数：34人

主要記事等：
・『スーパーＪチャンネル』NCC 長崎文化放送　４月８日
・岡部匡志「人気作家の創作過程に新たな光　長崎県美術館『鴨居玲のスペイン時代』自館の所蔵作と“国立美術館コレクション・プラス”が生み出した大きな相乗効果」『美術展ナビ』令和５年６月５日、https://artexhibition.jp/topics/news/20230601-AEJ1411086/
・森園敦「収蔵作品の潜在的な魅力を引き出した『国立美術館 コレクション・プラス』」（国立アートリサーチセンター HP、令和５年９月28日）https://ncar.artmuseums.go.jp/reports/collections/cooperativeprograms/post2023-13.html

その他：
国立アートリサーチセンターより展覧会リーフレットを発行（森園敦「鴨居玲のスペイン時代」を掲載）

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	国立西洋美術館蔵	ジュゼペ・デ・リベーラ	哲学者クラテース
2	A2イ1030	鴨居玲	自画像
3	A2ロ0335	鴨居玲	太鼓
4	A2イ1031	鴨居玲	蛾
5	A2イ1105	鴨居玲	かるた
6	A2イ0295	鴨居玲	宝くじ売り
7	A2イ0185	鴨居玲	英雄
8	A2イ0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ
9	A2イ0347	鴨居玲	廃兵
10	A2ロ0040	鴨居玲	狂候えよ
11	Ｆロ0013-01～04	井上博道	鴨居玲肖像

永田玄の眼 タイ古陶の美

令和５年10月27日㈮～令和５年１月21日㈰　※77日間　　会場：常設展示室第１室

概要：
長崎ゆかりの編集者・蒐集家である永田玄（1952-）のコレクションを特集した初めての展覧会。16世紀頃から長崎と関わりのあった、タイを中心とする東南アジア陶磁について、タイ陶磁史上の黄金期の作品を中心に、年代や生産地ごとの特徴をまとまった形で紹介した。また、蒐集家の「眼」（視点、審美眼）に焦点を当て、永田による作品解説、蒐集活動に関するコラム、東南アジア関連の蔵書、タイや長崎に関わる出版物などを併せて展示。ものの「美」に魅了される事という、私達の誰しもに起こり得る鑑賞体験の一例に迫り、陶磁器鑑賞の裾野を広げることを目指した展覧会でもあった。

主催：長崎県、長崎県美術館
入場者数：7,520人（１日あたり96人）

出品点数：79点

関連事業：
１）担当学芸員によるギャラリートーク
日時：10月28日㈮　14：00～14：30
講師：川口佳子（当館学芸員）、永田玄
会場：常設展示室第１室
参加人数：約30人
２）永田玄との対話
日時：11月11日㈮
第一部：13：30～14：30（13：00開場）
第二部：14：40～15：40
登壇者：第一部　永田玄、南雲浩二郎（クリエイティブディレクター）
第二部　永田玄、岡本仁（編集者）
会場：ホール
参加人数：51人
３）タイ北部の陶磁についての講演会
日時：12月17日㈰　11：00～12：00（10：30開場）
講師：矢島律子（鶴見大学教授）
会場：ホール
参加人数：20人

・永田玄「タイの古陶、蒐集したい」『日本経済新聞』３月28日
・『タイ国政府観光庁』雑誌　タイ国政府観光庁 10月６日
・竹添そら「タイの古陶など80点」『西日本新聞』10月27日
・川口佳子「おおらかな気質漂うタイ古陶」『朝日新聞』12月18日
・永田玄「なんでこんなに集めたんだろう、オレ」岡戸絹代編『つるとはな ミニ？』2024年９月

出品リスト：

番号	作品名	生産地等	年代
バンチェン			
1	壺	バンチェン（タイ東北部）	紀元前1500年頃
2	壺	バンチェン（タイ東北部）	紀元前1500年頃
3	壺	バンチェン（タイ東北部）	紀元前1500年頃
クメール			
4	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
5	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
6	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
7	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
8	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
9	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
10	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
11	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
12	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
13	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
14	壺	クメール（タイ東北部またはカンボジア）	12-13世紀
スコータイ／シーサッチャナーライ			
15	壺	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀

番号	作品名	生産地等	年代
16	壺	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
17	壺	不詳（スコータイ／シーサッチャナーライ）	15-16世紀
18	壺	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
19	建築装飾	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
20	建築装飾	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
21	鉢	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
22	鉢	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
23	鉢	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
24	皿	シーサッチャナーライ窯（タイ中部）	15-16世紀
25	皿	スコータイ窯（タイ中部）	15-16世紀
カロン			
26	皿	カロン窯	15-16世紀
27	皿	カロン窯	15-16世紀
28	皿	カロン窯	15-16世紀
29	皿	カロン窯	15-16世紀
30	皿	カロン窯	15-16世紀
31	皿	カロン窯	15-16世紀
32	皿	カロン窯	15-16世紀
33	皿	カロン窯	15-16世紀
34	皿	カロン窯	15-16世紀
35	皿	カロン窯	15-16世紀
36	皿	カロン窯	15-16世紀
37	皿	カロン窯	15-16世紀
38	皿	カロン窯	15-16世紀
39	皿	カロン窯	15-16世紀
40	皿	ワンヌワ窯	15-16世紀
41	皿	ワンヌワ窯	15-16世紀
サンカンペン			
42	皿	パヤオ窯	15-16世紀
43	皿	パヤオ窯	15-16世紀
44	皿	パヤオ窯	15-16世紀
45	皿	パヤオ窯	15-16世紀
46	皿	パヤオ窯	15-16世紀
47	皿	パヤオ窯	15-16世紀
48	皿	パヤオ窯	15-16世紀
49	皿	パヤオ窯	15-16世紀
50	皿	パヤオ窯	15-16世紀
51	皿	パヤオ窯	15-16世紀
52	皿	パヤオ窯	15-16世紀
53	皿	パヤオ窯	15-16世紀
54	皿	パヤオ窯	15-16世紀
55	皿	パヤオ窯	15-16世紀
56	皿	パヤオ窯	15-16世紀
57	皿	パヤオ窯	15-16世紀
58	皿	パヤオ窯	15-16世紀
パヤオ／パーン			
59	皿	パヤオ窯	15-16世紀
60	皿	パヤオ窯	15-16世紀
61	皿	パヤオ窯	15-16世紀
62	皿	パヤオ窯	15-16世紀
63	皿	パヤオ窯	15-16世紀
64	皿	パヤオ窯	15-16世紀

番号	作品名	生産地等	年代
65	皿	パヤオ窯	15-16世紀
66	皿	パヤオ窯	15-16世紀
67	皿	パヤオ窯	15-16世紀
68	皿	パヤオ窯	15-16世紀
69	皿	パヤオ窯	15-16世紀
70	皿	パヤオ窯	15-16世紀
71	皿	パヤオ窯	15-16世紀
72	壺	パヤオ窯	15-16世紀
73	皿	パーン窯	15-16世紀
74	皿	パーン窯	15-16世紀
ミャンマー			
75	皿	ミャンマー	不詳
76	皿	ミャンマー	不詳
77	皿	ミャンマー	不詳
78	皿	ミャンマー	不詳
79	碗	ミャンマー	不詳
絵画、関連資料等			
−	《拡がる耕地》	制作：永田力（技法：油彩・カンヴァス）	1993年
−	《緑色の幻影》	制作：永田力（技法：油彩・カンヴァス）	1990年代
−	Unforgettable	撮影：永田玄、監修：及川中（約12分の映像作品）	2023年
−	関連資料（コラム、東南アジア関連の蔵書、タイや長崎に関わる出版物など）		

※所蔵作品・資料は全て永田玄氏の所蔵品。

会場写真撮影：繁延あづさ

■常設展示室第１室・第２室

収蔵名品展

令和５年４月13日㈭～７月23日㈰

概要：

約8,000点にのぼるコレクションの中から長崎ゆかりの絵画作品を選りすぐり、約50点の作品・資料によって構成した。長崎の近代洋画における先駆者である彭城貞徳にはじまり、おおむね作家の活躍年代順に作品を配置し、ごく大まかな長崎の近代美術の流れに触れることができるような展示となった。また展示室の後半では、諫早市出身の画家・椛島勝一の代表作のひとつである「正チャンのぼうけん」が連載開始100周年を迎えることを記念した特集コーナーも設けた。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0210	彭城貞徳	和洋合奏之図
2	A2イ0001	彭城貞徳	九十九島・月夜の景
3	A2イ1029	彭城貞徳	菊図
4	A2イ0270	渡辺［宮崎］与平	白日
5	A2イ0003	渡辺［宮崎］与平	金さんと赤
6	A2イ0760	山本森之助	利根川べり
7	A2イ1040	山本森之助	街角
8	A2イ0223	山本森之助	蒲郡の朝
9	A2イ0504	横手貞美	ガラージュ
10	A2イ1093	横手貞美	新聞雑貨店
11	A2イ0004	横手貞美	ビロード服の女
12	A2イ0287	横手貞美	フランス革命記念祭の集い
13	A2イ0245	永見徳太郎	長崎港
14	A2イ0029	野口彌太郎	丘の眺め
15	A2イ0030	吉岡憲	大波止
16	A2イ0266	鈴木信太郎	長崎の丘
17	A2イ1023	棟方志功	長崎公園隅景
18	A2イ0025	中川一政	長崎マリア園
19	A2イ0736	鍋井克之	大浦天主堂内陣
20	A2イ0009	野口彌太郎	長崎の山々
21	A2イ0050	山本直治	天主堂の窓
22	A2イ0152	小林敏夫	老シレーフ像（B）
23	A2イ1101	今村春吉	窓
24	A2ニ0128	渡辺千尋	埋没
25	A2イ1106	菊畑茂久馬	舟歌 四
26	A1イ0140	荒木十畝	旭松図屏風
27	A2イ0481	彭城貞徳	花づくし
28	A1イ0195	大久保玉珉	保元の乱　為朝応戦図
29	A1イ0220	栗原玉葉	葛の葉
30	A1イ0208	栗原玉葉	春秋美人図屏風
31	A1イ0045	小柳創生	東山手風景（旧福島屋）
32	A1イ0269	丸木位里 丸木俊	母子像　長崎の図
33	Ｆロ0036－02	画：椛島勝一	四コマ漫画『正チャンの冒険』
34	Ｆロ0036－02	画：椛島勝一	四コマ漫画『正チャンの冒険』
35	Ｆロ0036－02	画：椛島勝一	四コマ漫画『正チャンの冒険』

番号	収蔵番号	作者名	作品名
36	F ロ0036－02	画：椛島勝一	四コマ漫画『正チャンの冒険』
37	F ロ0036－02	画：椛島勝一	四コマ漫画『正チャンの冒険』
38	F ロ0036－02	画：椛島勝一	イラスト『正チャンの冒険』
39	F ロ0036－02	画：椛島勝一	まんがすごろく（付録）
40	F ロ0036－02	画：椛島勝一	『正チャンの其後』 （朝日新聞社、1926年２月25日刊行） 復刻：絵本絵ばなし集（ほるぷ出版）
41	F ロ0036－02	画：椛島勝一	『お伽 正チャンの冒険 五の巻』 （朝日新聞社、1925年３月10日刊行） 復刻：絵本絵ばなし集（ほるぷ出版）
42	F ロ0036－02	画：椛島勝一	『お伽 正チャンの冒険 六の巻』 （朝日新聞社、1925年６月15日刊行） 復刻：絵本絵ばなし集（ほるぷ出版）
43		椛島勝一	『絵ものがたり 正ちゃんのぼうけん（２）』装幀原画
44		椛島勝一	『絵ものがたり 正ちゃんのぼうけん（２）』見返し原画
45		椛島勝一	『絵ものがたり 正ちゃんのぼうけん（２）』口絵原画
46		椛島勝一	『絵ものがたり 正ちゃんのぼうけん（２）』扉原画
47		椛島勝一	『絵ものがたり 正ちゃんのぼうけん（２）』のための挿絵原画

※No. 43－47は講談社蔵／長崎県美術館寄託。それ以外は長崎県美術館蔵。

2022年度新収蔵作品

令和５年７月27日㈭～10月22日㈰

概要：

長崎ゆかりの芸術をテーマとして、2022年度に当館コレクションに加わった新収蔵品とそれらに関係のある作品の数々を選りすぐって紹介した。

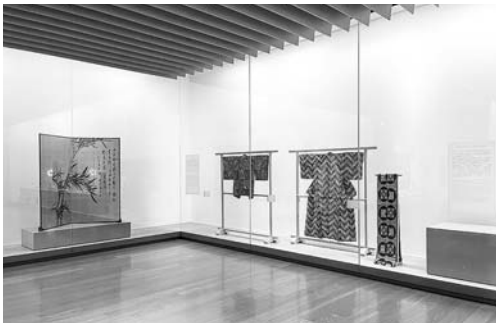
出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	Bハ0089	青木野枝	雲谷／長崎	◎
2	A2イ1167	山本森之助	初夏	◎
3	A2イ1168	山本森之助	浅間山	◎
4	A2イ1169	山本森之助	画家とモデル	◎
5	A2イ1068	山本森之助	妙義山	
6	A2イ0195	山本森之助	戦場ヶ原	
7	A2ロ0618	渡辺（宮崎）与平	鵜	◎
8	A2ロ0619	渡辺（宮崎）与平	鼠	◎
9	A1イ0258	渡辺（宮崎）与平	鴉	
10	A2ロ0610－23	渡辺（宮崎）与平	相国寺	◎
11	A2ロ0610－24	渡辺（宮崎）与平	大阪道頓堀の夜景	◎
12	A2ロ0610－27	渡辺（宮崎）与平	風景	◎
13	A3イ0207	田川憲	人間の丘	◎
14	A3イ0208	田川憲	坂本町 異人墓地	◎
15	A3イ0209	田川憲	めがね橋早春譜	◎
16		田川憲	人間の丘（続 II）	長崎市寄託
17	A3イ0011	田川憲	ピナテールと出島	
18	A3ニ0360	田川憲	めがね橋早春	
19	A2ロ0629	原覚	雨季	◎
20	A2ロ0630	原覚	遠雷	◎
21	A2ロ0631	原覚	国東晩秋	◎
22	A2イ0157	原覚	シグナル（標識）	
23	A2イ1182－01	津上みゆき	From Nabekanmuri-yama, 16 Mar. 2018, 4 pm	◎
24	A2イ1182－07	津上みゆき	Oohato, 19 March, 3:10 pm	◎
25	A2イ1182－09	津上みゆき	View, Kameyama, 1:15 pm, 19 Mar. 2018	◎
26	A2イ1182－10	津上みゆき	View, Oranda-zaka, noon, 16 Mar. 2018	◎
27	A2イ1182－12	津上みゆき	A place of my own, 5 pm, 19 March 2018	◎
28	A2イ1182－13	津上みゆき	View, Higashiyamate, 1:32 pm, 16 Mar. 2018	◎
29	A2イ1182－21	津上みゆき	View, Nagasaki, 3:35 pm, 19 March, 2018	◎
30	A2イ1182－23	津上みゆき	View, Nagasaki, 5:45 pm, 18 March 2018	◎
31	A2イ1182－24	津上みゆき	A foreign house, a distance, 19 March, 2018	◎
32	A2イ1182－30	津上みゆき	View, Kameyama, 4:50 pm, 8 Oct. 2018	◎
33	A2イ1182－31	津上みゆき	View, Chaya, around 11 am, 18 Mar. 2018	◎
34	A2イ1182－32	津上みゆき	View, Sakamichi, 2:18 pm, 18 Mar. 2018	◎
35	A2イ1182－39	津上みゆき	View, Teramachi, 3:10 pm, 8 Oct, 2018	◎
36	A2イ1182－45	津上みゆき	View, Heifuri-zaka, upside down, 3:05 pm 8 Oct. 2018/2019	◎
37	A2イ1182－46	津上みゆき	View, Naka-machi, 9:30 am, 7 Oct. 2018/2019	◎
38	A2イ1182－48	津上みゆき	Michi Hatake, around 3 pm, 17 Mar. 2018	◎

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
39	A 2 イ1182－50	津上みゆき	Nagasaki. Yokohama, 2018/2019	◎
40	A 2 イ1182－52	津上みゆき	View, Nagasaki, 4 pm 16 Mar. 2018	◎
41	H イ0659－001	奈良原一高	沈黙の園『王国』	◎
42	H イ0659－002	奈良原一高	沈黙の園『王国』	◎
43	H イ0659－004	奈良原一高	沈黙の園『王国』	◎
44	H イ0659－007	奈良原一高	沈黙の園『王国』	◎
45	H イ0659－118	奈良原一高	壁の中『王国』	◎
46	H イ0659－119	奈良原一高	壁の中『王国』	◎
47	H イ0659－140	奈良原一高	壁の中『王国』	◎
48	H イ0659－165	奈良原一高	壁の中『王国』	◎
49	A 2 イ1196	松尾薫明	作品86－C	◎
50	A 2 イ0173	松尾薫明	作品 B	
51	A 2 イ0174	松尾薫明	作品 E	
52	A 2 イ1177	野見山暁治	部屋に入ってきた雲	◎
53	A 2 イ1180	野見山暁治	戦う山	◎
54	A 1 イ0274	帯屋青霞	雲山秋景	◎
55	A 1 イ0275	帯屋青霞	唐船崎港図	◎
56	A 1 イ0276	帯屋青霞	幽花香一泉	◎
57	A 1 ロ0027	江上瓊山	山水図	
58	A 1 ロ0059	阿南竹坨	墨竹図屏風	
59	D ト0037	堀口正子	絞り染め着物	◎
60	D ト0039	堀口正子	絞り染め羽織	◎
61	D ト0042	堀口正子	絞り染め帯	◎
62	D ハ a1108－01	中里陽山（末太郎）	デミタスセット　ポット	◎
63	D ハ a1108－02	中里陽山（末太郎）	デミタスセット　シュガーポット	◎
64	D ハ a1108－03	中里陽山（末太郎）	デミタスセット　ミルクポット	◎
65	D ハ a1108－04	中里陽山（末太郎）	デミタスセット　カップ	◎
66	D ハ a1108－05	中里陽山（末太郎）	デミタスセット　ソーサー	◎
67	D ハ a1056－001	城谷耕生	TIPO シリーズ　ミニボール	
68	D ハ a1056－002	城谷耕生	TIPO シリーズ　カップ	
69	D ハ a1056－003	城谷耕生	TIPO シリーズ　ソーサー	
70	D ハ a1056－004	城谷耕生	TIPO シリーズ　プレート	
71	D ニ0015－002	城谷耕生	TIPO シリーズ　ガラスボウル 大	
72	D ニ0015－003	城谷耕生	TIPO シリーズ　ガラスボウル 中	
73	D ハ1103－01	城谷耕生	RIM　プレート L	◎
74	D ハ1103－02	城谷耕生	RIM　プレート M	◎
75	D ハ1103－03	城谷耕生	RIM　プレート S	◎
76	D ハ1103－04	城谷耕生	RIM　プレート SS	◎
77	D ハ1103－05	城谷耕生	RIM　ボウル L	◎
78	D ハ1103－06	城谷耕生	RIM　ボウル M	◎
79	D ハ1103－07	城谷耕生	RIM　ボウル S	◎
80	D ハ1103－08	城谷耕生	RIM　ボウル SS	◎
81	D ハ a1057－001	城谷耕生	イクスシー・オリジナルテーブルウエア　急須	
82	D ハ a1057－002	城谷耕生	イクスシー・オリジナルテーブルウエア　湯呑（小）	
83	D ハ a1057－003	城谷耕生	イクスシー・オリジナルテーブルウエア　湯呑（大）	
84	D ハ a1057－004	城谷耕生	イクスシー・オリジナルテーブルウエア　茶托	
85	D ハ1105－01	城谷耕生	LEAVES TO TEA　カップ&ソーサー	◎
86	D ハ1105－02	城谷耕生	LEAVES TO TEA　急須	◎
87	D ハ1105－03	城谷耕生	LEAVES TO TEA　ティーポット	◎
88	D ハ1105－04	城谷耕生	LEAVES TO TEA　ティースクープ	◎
89	D ハ1105－05	城谷耕生	LEAVES TO TEA　キャニスター（250ml）	◎
90	D ハ1105－06	城谷耕生	LEAVES TO TEA　キャニスター（450ml）	◎

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
91	D ハ1105－07	城谷耕生	LEAVES TO TEA　トレイ	◎
92	D ハ1106－01	城谷耕生	FARO　コーヒードリッパー	◎
93	D ハ1106－02	城谷耕生	FARO　コーヒーポット	◎
94	D ハ1106－03	城谷耕生	FARO　コーヒーマグ	◎
95	D ハ1106－04	城谷耕生	FARO　ダブルウォールカップ	◎
96	D ハ1106－05	城谷耕生	FARO　リッド	◎
97	D ヘ0003	城谷耕生	APTENIA　ブラケットランプ	
98	D ニ13	清水久和	メロンシャーベット用蓋付き容器	
99	D ロ0009	清水久和	アイスクリームスプーン	
100	D ロ0010	清水久和	アイスクリームカップ	
101	D チ0085－01	清水久和	鏡の髪型「井伊直弼」	◎
102	D チ0085－02	清水久和	鏡の髪型「紫式部」	◎
103	D チ0086	清水久和	西瓜の時計	◎
104	D チ0087－01	清水久和	IXY 410F	◎
105	D チ0087－02	清水久和	IXY 410F	◎
106	D チ0089	清水久和	魔法瓶（コンセプトモデル）	◎
107	D チ0090－01	清水久和	機内食の皿	◎
108	D チ0090－02	清水久和	機内食の皿	◎
109	D チ0090－03	清水久和	機内食の皿	◎

◎は新収蔵作品



■常設展示室第１室

森永純一写真の中の事実

令和６年１月27日(土)～４月14日(日)

概要：

長崎市出身の写真家・森永純（1937－2018）は、キャリアを通じて「写真とはなにか」という命題について探求し表現の基底とした。彼の代表作として知られるのが、経済発展に伴い汚染が進行した東京都内の河川を被写体とした《河―累影》、そして日本各地の海面を捉えた《波―海》というふたつのシリーズである。本展では、《河―累影》、《波―海》シリーズのうち当館が所蔵する42点を展示した。モノクロームの美しい諧調と強烈な存在感を併せ持つ両シリーズの作品は、対象の複製ではなくモノとしての写真が放つリアリティこそが何よりも重要だという森永の写真観を雄弁に物語るものである。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	H ロ0005－1	森永純	河／「河―累影」より
2	H ロ0005－2	森永純	河／「河―累影」より
3	H ロ0005－3	森永純	河／「河―累影」より
4	H ロ0005－4	森永純	河／「河―累影」より
5	H ロ0005－5	森永純	河／「河―累影」より
6	H ロ0005－6	森永純	河／「河―累影」より
7	H ロ0005－7	森永純	河／「河―累影」より
8	H ロ0005－8	森永純	河／「河―累影」より
9	H ロ0005－9	森永純	河／「河―累影」より
10	H ロ0005－10	森永純	河／「河―累影」より
11	H ロ0005－11	森永純	河／「河―累影」より
12	H ロ0005－12	森永純	河／「河―累影」より
13	H ロ0003－01	森永純	波（唐津、七ツ釜）／「波―海」より
14	H ロ0003－02	森永純	波（唐津）／「波―海」より
15	H ロ0003－03	森永純	波／「波―海」より
16	H ロ0003－04	森永純	波（千葉、太東岬）／「波―海」より
17	H ロ0003－05	森永純	波（佐渡、小木）／「波―海」より
18	H ロ0003－06	森永純	波（唐津）／「波―海」より
19	H ロ0003－07	森永純	波／「波―海」より
20	H ロ0003－08	森永純	波（湘南）／「波―海」より
21	H ロ0003－09	森永純	波（伊良湖岬）／「波―海」より
22	H ロ0003－10	森永純	波（大洗海岸）／「波―海」より
23	H ロ0003－11	森永純	波／「波―海」より
24	H ロ0003－12	森永純	波（八丈島）／「波―海」より
25	H ロ0003－13	森永純	波（八丈島）／「波―海」より

番号	収蔵番号	作者名	作品名
26	H ロ0004－01	森永純	波（東京湾） ／「波―海」より
27	H ロ0003－14	森永純	波（千葉、稲毛） ／「波―海」より
28	H ロ0003－15	森永純	波（千葉、稲毛） ／「波―海」より
29	H ロ0003－16	森永純	波／「波―海」より
30	H ロ0003－17	森永純	波（伊豆大島） ／「波―海」より
31	H ロ0003－18	森永純	波（千葉、鴨川） ／「波―海」より
32	H ロ0004－02	森永純	波（千葉、房総） ／「波―海」より
33	H ロ0004－03	森永純	波（大洗海岸） ／「波―海」より
34	H ロ0003－19	森永純	波／「波―海」より
35	H ロ0003－20	森永純	波／「波―海」より
36	H ロ0003－21	森永純	波（東京湾） ／「波―海」より
37	H ロ0004－04	森永純	波（千葉、稲毛） ／「波―海」より
38	H ロ0004－05	森永純	波／「波―海」より
39	H ロ0003－22	森永純	波／「波―海」より
40	H ロ0003－23	森永純	波（伊豆大島） ／「波―海」より
41	H ロ0003－24	森永純	波（伊豆大島） ／「波―海」より
42	H ロ0003－25	森永純	波（紋別） ／「波―海」より

■常設展示室第 2 室

長崎ゆかりの日本画

令和 5 年10月27日㈮～令和 6 年 1 月21日㈰

概要：

当館コレクションから明治期以降に描かれた日本画の名品を展示した。荒木十畝や栗原玉葉を中心に、秋らしい作品を厳選し紹介した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A1イ0098	荒木十畝	鳳凰
2	A1ロ0013	荒木十畝	松樹白鷹の図
3	A1イ0133	荒木十畝	梅花群雀図
4	A1イ0053	大久保玉珉	諏訪祭礼御輿図
5	A1イ0123	栗原玉葉	秋草美人図
6	A1イ0185	栗原玉葉	初秋の夕
7	A1イ0243	栗原玉葉	遊女の図
8	A1ロ0038	渡辺（宮崎）与平	枯木寒鴉図
9	A1イ0064	小波魚青	春野白狐　朧夜狸図
10	A1イ0229	松尾敏男	流れ

長崎ゆかりの染織作家たち

令和６年１月27日(土)～４月14日(日)

概要：

当館コレクションの中から、着物、帯、タペストリーなど、現代の染織作品約20点を紹介した。それぞれの作品は、「染める」「織る」といった、美術作品では他にない表現方法によって制作されたもの。作者自身の手の動き、制作にかけた時間、そこに乗せられた信念や思いなど、様々なことを鑑賞者に自由に想像していただくことのできるような展示とした。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Bハ0089	米田明生	静水
2	Dト0002	堀野美沙子	焔
3	Dト0036	堀口正子	絞り染め着物
4	Dト0037	堀口正子	絞り染め浴衣
5	Dト0038	堀口正子	絞り染め羽織
6	Dト0039	堀口正子	絞り染め羽織
7	Dト0005	堀口正子	桜花紋絞り昼夜帯
8	Dト0042	堀口正子	絞り染め帯
9	Dト0017	鳥巣水子	天蚕花絽織帯地「岩走る」
10	Dト0010	鳥巣水子	小袿紗 花織　七夕
11	Dト0008	鳥巣水子	小袿紗 絽織　運河
12	Dト0013	鳥巣水子	小袿紗 紅花染花絽織　紅枝だれ
13	Dト0016	鳥巣水子	小袿紗 花絽織　尾瀬ヶ原
14	Dト0009	鳥巣水子	花絽織　小袿紗　秋霖
15	Dト0014	鳥巣水子	小袿紗 市松絽織　白露
16	Dト0031	鳥巣水子	WAVE－5
17	Dト0020	明坂尚子	作品名不詳
18	Dト0022	明坂尚子	作品名不詳
19	Dト0024	明坂尚子	作品名不詳
20	Dト0026	明坂尚子	作品名不詳
21	Dト0029	明坂尚子	記憶のはざま
22	Dト0034	明坂尚子	海の冬

■常設展示室第３室

須磨コレクション１―須磨彌吉郎の見たスペイン

令和５年４月25日㈫～８月27日㈰

概要：

第二次大戦時に特命全権公使としてスペインに派遣された須磨彌吉郎（1892－1970）は、現地で膨大な数のスペイン美術作品を収集するだけでなく、そこで得た知見を基に同国美術史に関する文章の数々を残している。本展では須磨の残した言葉をたよりに、彼ならではのスペイン観を伝える作品群を紹介した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
2	A2イ0471	マリアノ・フォルトゥーニ	風景
3	A2イ0539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム
4	A2イ0540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋
5	A2イ0098	リカルド・バローハ	レコレートス通り
6	A2イ0099	リカルド・バローハ	記念日
7	A2イ0688	リカルド・バローハ	喧嘩
8	A2イ0563	ホセ・フラウ・ルイス	雨のカスティーリャ
9	A2イ0610	ルシアーノ	アビラ
10	A2イ0101	フアン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵
11	A2イ0103	作者不詳（カスティーリャ派）	サンティアゴ騎士団員の肖像
12	A2イ0119	作者不詳（マドリード派）	サンルーカル・ラ・マヨール公爵ドン・ガスパール・フェリペ・デ・グスマンの肖像
13	A2イ0525	アロンソ・サンチェス・コエーリョに帰属	アントニオ・ペレス（？）
14	A2イ1066	フアン・カレーニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子
15	A2イ0125	フランシスコ・グディエレス・デ・ラ・ベーカに帰属	騎士の夢（アントニオ・デ・ペレーダ作品の模写）
16	A3イ0082	フランシスコ・デ・ゴヤ	滑稽の妄（『妄』第３番）
17	A3イ0082	フランシスコ・デ・ゴヤ	結婚の妄（『妄』第７番）
18	A3イ0082	フランシスコ・デ・ゴヤ	すべてが妄（『妄』第９番）
19	A3イ0082	フランシスコ・デ・ゴヤ	葬いの妄（『妄』第18番）
20	A2イ0086	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領
21	A2イ0658	ペドロ・イバセタ・バレーダ	ベールの女
22	A2ロ0103	ダニエル・バスケス・ディアス	マドリードの場末の人々
23	A2イ0095	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち
24	A2イ0121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面
25	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち

須磨コレクション２―名品選

令和５年８月29日㈫～12月24日㈰

概要：

第二次大戦中の特命全権公使・須磨彌吉郎（1892－1970）がスペインで収集した美術コレクションから選りすぐった作品を紹介した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
2	A2イ0109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ
3	A2イ0520	作者不詳（スペイン）	聖ユダ
4	A2イ0522	作者不詳（スペイン）	聖パウロ
5	A2イ0115	作者不詳（カタルーニャ派）	キリストの磔刑
6	A2イ0516	作者不詳（フランドル？）	聖母子
7	A2イ0517	作者不詳（アラゴン派あるいはカタルーニャ派）	聖ステパノ
8	A2イ0101	フアン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵
9	A2イ0103	作者不詳（カスティーリャ派）	サンティアゴ騎士団員の肖像
10	A2イ0069	作者不詳（フアン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺）	フェリペ二世
11	A2イ1066	フアン・カレーニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子
12	A2イ0106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド７世の肖像
13	A2イ0086	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領
14	A2イ0549	リカルド・デ・ビリョーダス	自画像
15	A2イ0541	モデスト・ウルジェイ	共同墓地のある風景
16	A2イ0550	エミリオ・サラ	カシーノ・デ・マドリードの装飾画の習作
17	A2イ0553	ホアキン・ソローリャ	Ａ・サイント＝アウビンの肖像
18	A2イ0558	フランシスコ・イトゥリーノ	女
19	A2イ0098	リカルド・バローハ	レコレートス通り
20	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
21	A2イ0566	ペドロ・プエノ	自画像
22	A2イ0567	アントニオ・ゴメス・カーノ	眠る女

須磨コレクション3―スペイン・キリスト教絵画

令和5年12月26日㈫～令和6年4月7日㈰

概要：

第二次大戦中の特命全権公使・須磨彌吉郎（1892－1970）は、スペインでの駐在期間、15－16世紀頃に描かれたキリスト教主題の板絵を多数収集している。国内では希少な板絵作品を中心にスペインの宗教絵画を紹介した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0519	作者不詳（スペイン）	聖アンデレ
2	A2イ0520	作者不詳（スペイン）	聖ユダ
3	A2イ0522	作者不詳（スペイン）	聖パウロ
4	A2イ0109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ
5	A2イ0112	ペレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ
6	A2イ0517	作者不詳（アラゴン派あるいはカタルーニャ派）	聖ステパノ
7	A2イ0142	作者不詳（カスティーリャ派あるいはアンダルシア派）	聖母と眠れる幼児キリスト
8	A2イ0516	作者不詳（フランドル？）	聖母子
9	A2イ0663	作者不詳（スペイン）	聖母子と洗礼者聖ヨハネ
10	A2イ0523	作者不詳（フランドル）	聖アンナと洗礼者聖ヨハネのいる聖家族
11	A2イ1066	フアン・カレーニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子
12	A2イ0114	作者不詳（カスティーリャ派あるいはアラゴン派）	ゲッセマネの祈り
13	A2イ0120	作者不詳（カスティーリャ派）	キリストの鞭打ち
14	A2イ0108	作者不詳（スペイン）	キリストの鞭打ち
15	A2イ0143	作者不詳（スペイン）	この人を見よ
16	A2イ0113	作者不詳（スペイン）	聖ペテロと聖フランチェスコを伴ったキリストの磔刑
17	A2イ0115	作者不詳（カタルーニャ派）	キリストの磔刑
18	A2ロ0096	作者不詳（スペイン）	十字架の下の悲しみの聖母マリアと聖ヨハネ
19	A2イ0077	作者不詳（アンダルシア派）	悲しみの聖母
20	A2イ0111	作者不詳（カスティーリャ派）	聖母の嘆き（ピエタ）
21	A2イ0130	作者不詳（カスティーリャ派）	巡礼者聖ヤコブ
22	A2イ0132	作者不詳（カスティーリャ派）	聖セバスティアヌス
23	A2イ0131	作者不詳（カスティーリャ派）	聖バルトロマイ
24	A2イ0128	作者不詳（カスティーリャ派）	聖人修道士の埋葬
25	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像

■常設展示室第４室

新収蔵――池野清と池野巖

令和５年６月14日㈬～９月10日㈰

概要：
昭和の長崎で活動した洋画家・池野清（1913－1960）と池野巖（1926－1990）の兄弟。彼らはともに被爆者であり（清は長崎で、巖は動員先の広島で被爆）、中央画壇の潮流からは距離を置きながら詩情を湛える静謐な作品を制作した。また子どもや労働者に絵を教え、後進の育成にも努めた。さらに清は友人であった長崎出身の小説家・佐多稲子の長編『樹影』（1972年、講談社）の主要登場人物のモデルとなり、巖は佐多の同書執筆に協力し著作の装幀も手がけている。現存作品が極めて少ない二人だが、当館は令和４年度に個人の方から清の作品４点、巖の作品15点、合わせて19点の作品の寄贈を受けた。本展示では油彩、素描、版画で構成される寄贈作品19点をすべて公開した。
※展示室内は撮影可とした。

主要記事等：
・松尾えり子「池野兄弟 原爆画など新収蔵品」『長崎新聞』７月14日
・川島一起「被爆洋画家 故池野兄弟が描く爆心地」『毎日新聞』８月29日
・福満葉子「絵画は証する　被爆地の洋画家　池野清・巖」『美術の窓』９月号（No. 480）、78－79頁

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ1193	池野清	枯野	女川裕子氏寄贈
2	A2イ1194	池野清	貧しい家	女川裕子氏寄贈
3	A2イ1195	池野清	鳩笛	女川裕子氏寄贈
4	A2ロ0623	池野清	東山手風景	女川裕子氏寄贈
5	A2イ1183	池野巌	椿	女川裕子氏寄贈
6	A2イ1184	池野巌	誕生	女川裕子氏寄贈
7	A2イ1185	池野巌	枯紫陽花	女川裕子氏寄贈
8	A2イ1186	池野巌	荷車	女川裕子氏寄贈
9	A2イ1187	池野巌	呼	女川裕子氏寄贈
10	A2イ1188	池野巌	酷	女川裕子氏寄贈
11	A2イ1189	池野巌	ねんねこ	女川裕子氏寄贈
12	A2イ1190	池野巌	野仏	女川裕子氏寄贈
13	A2イ1191	池野巌	題名不詳（女性像）	女川裕子氏寄贈
14	A2イ1192	池野巌	題名不詳（花）	女川裕子氏寄贈
15	A3ロ0499	池野巌	網場風景	女川裕子氏寄贈
16	A3ロ0498	池野巌	佐多稲子『樹影』表紙絵原画	女川裕子氏寄贈
17	A3ロ0500	池野巌	春雪	女川裕子氏寄贈
18	A2ロ0621	池野巌	大浦運上所横丁	女川裕子氏寄贈
19	A2ロ0622	池野巌	孤魚	女川裕子氏寄贈

東松照明と長崎

令和５年９月12日㈫～11月12日㈰

概要：

1961年に撮影された最初の作品群から2000年代まで、東松の眼を通した長崎の多様な姿を紹介した。東松が見る長崎という町の根底には、原爆による悲惨さが横たわっている。それは2000年代の「町歩き」シリーズも同様である。半世紀にわたり、長崎という町が共有する記憶へとアプローチし続けた東松の仕事を改めて概観した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Ｈイ0001	東松照明	上野町から掘り出された腕時計／長崎国際文化会館・平野町
2	Ｈイ0008	東松照明	熱線と火災で溶解変形した瓶／長崎国際文化会館・平野町
3	Ｈイ0003	東松照明	熱線と火災で表面が変質変色した火鉢／長崎国際文化会館・平野町
4	Ｈイ0007	東松照明	浦上天主堂のキリスト像／本尾町
5	Ｈイ0002	東松照明	爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像／本尾町
6	Ｈイ0015	東松照明	片岡津代さん１／本原町
7	Ｈイ0018	東松照明	片岡津代さん４／聖フランシスコ教会・小峰町
8	Ｈイ0114	東松照明	福田須磨子さん１／城山町
9	Ｈイ0099	東松照明	関帝像／崇福寺・鍛冶屋町
10	Ｈイ0210	東松照明	魚市場／尾上町
11	Ｈイ0051	東松照明	末次助作さん１／江平町
12	Ｈイ0135	東松照明	絵踏みに使われたキリスト像／東京国立博物館
13	Ｈイ0095	東松照明	山口仙二さん２／中園町
14	Ｈイ0038	東松照明	井持浦天主堂／下五島・玉之浦町
15	Ｈイ0098	東松照明	路地と石畳／中小島一丁目
16	Ｈイ0047	東松照明	時中小学校（現・孔子廟）／大浦町
17	Ｈイ0066	東松照明	町並１　棟割り長屋／日の出町
18	Ｈイ0165	東松照明	みなと祭り／中通り商店街・諏訪町
19	Ｈイ0196	東松照明	青空朝市／相生町
20	Ｈイ0034	東松照明	旧居留地（現・東山手十二番館）／東山手町
21	Ｈイ0209	東松照明	貨車のプラットホーム／長崎駅
22	Ｈイ0145	東松照明	浦川清美さんと娘たち１　左から美雪・和代・志津香さん／坂本町
23	Ｈイ0136	東松照明	浦川志津香さん１／坂本町
24	Ｈイ0137	東松照明	浦川志津香さん２／坂本町
25	Ｈイ0315	東松照明	浦川志津香さん／長崎市本尾町　浦上天主堂
26	Ｈイ0139	東松照明	浦川志津香さんと娘たち１　左から千佳・朋世・美加・志津香さん／アートアイスタジオ・上町
27	Ｈイ0435	東松照明	山口仙二さん／長崎市平野町　長崎原爆資料館
28	Ｈイ0264	東松照明	片岡津代さん　９／黒崎教会・外海町
29	Ｈイ0573	東松照明	無題／長崎市大浦町界隈
30	Ｈイ0451	東松照明	無題／長崎市平野町
31	Ｈイ0553	東松照明	無題／長崎市八幡町
32	Ｈイ0306	東松照明	無題／長崎市館内町
33	Ｈイ0128	東松照明	おくんち６／万屋町
34	Ｈイ0420	東松照明	無題／長崎市賑町　中央公園

世界遺産登録 5 周年記念展：祈りのありか

令和 5 年11月14日㈫～令和 6 年 2 月12日（月・祝）

概要：

南島原市の原城跡、信仰の実践の場である長崎各地の集落そして大浦天主堂など「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に取材した作品群を通し、本展では長崎におけるキリスト教文化と美術の関わりの一端に迫った。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0029	野口彌太郎	丘の眺め	
2	A2イ0387	辻利平	キリシタンの島	
3	A3ロ0477	田川憲	大浦天主堂	
4	A3ロ0040	田川憲	南山手10番	
5		田川憲	大浦天主堂（『田川憲一版画集　新版長崎風景』より）	書籍（当館所蔵）
6	A2ロ0489	舟越保武	聖フェリッペ・デ・ヘスス	
7	A2ロ0490	舟越保武	聖ルドビコ茨木（ルドビコ白衣）	
8	A2ロ0559	舟越保武	聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル	
9	A2ロ0567	舟越保武	聖ヨハネ五島（ヨハネ草庵）	
10	Bハ0082	舟越保武	原の城	
11	Hイ0135	東松照明	絵踏みに使われたキリスト像　東京国立博物館	
12	Hイ0187	東松照明	大野教会　西彼杵半島・外海町	
13	Hイ0333	東松照明	無題　五島市（久賀島）浜脇教会	
14	Hイ0353	東松照明	無題　長崎市下黒崎町	
15	Hイ0381	東松照明	無題　長崎市下大野　大野教会	
16	Hイ0509	東松照明	無題　旧外海町界隈	

ホセ・エルナンデス　闘牛の黙する音楽

令和 6 年 2 月14日㈬～ 4 月21日㈰

概要：

20世紀中頃以降のスペインで活躍したホセ・エルナンデス（1944－2013）は、油彩と銅版画の両分野で数多くの優品を残している。2022年度、当館は新たに彼のアーティストブックの仕事を代表する作品の一つ『闘牛の黙する音楽』を収蔵することとなった。本展では、本作を構成する銅版画全点とテキストの一部を通して、奇怪でありながらもどこか幽玄な美を湛えるエルナンデスの版画世界を紹介した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A3イ0205	ホセ・エルナンデス	闘牛の黙する音楽	アーティストブック（銅版画10点、ヴィニェット 1 点）
2	A3イ0100	ホセ・エルナンデス	ミノタウロス	

■常設展示室第５室

スペイン近現代美術１

令和５年４月25日㈫～８月27日㈰

概要：

収蔵品の中から、20世紀以降のスペイン美術を展示した。

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0589	バレンティン・デ・スビアウレ	バスクの村人	須磨コレクション
2	A2イ0629	バレンティン・デ・スビアウレ	トルトラ・バレンシア	須磨コレクション
3	A2イ0607	ラモン・デ・スビアウレ	静物	須磨コレクション
4	A2イ0094	ダニエル・バスケス・ディアス	人気闘牛士たち	須磨コレクション
5	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ	須磨コレクション
6	A2イ0565	アルトゥーロ・ソウト	二人の踊り子	須磨コレクション
7	A2イ0564	アルトゥーロ・ソウト	カフェの内部	須磨コレクション
8	A2イ0246	パブロ・ピカソ	静物	大光コレクション
9	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	
10	A2イ0240	ジュアン・ミロ	絵画	大光コレクション
11	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬	
12	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む	大光コレクション
13	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土	大光コレクション
14	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンポジション	
15	A2イ0308	アントニオ・ロペス	フランシスコ・カレテロ	
16	A2イ0309	ダニエル・キンテロ	コップ一杯の水の中の溺死	
17	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのポル・ボウでの最期	
18	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）	

スペイン近現代美術 2

令和 5 年 8 月29日㈫～12月24日㈰

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0589	バレンティン・デ・スビアウレ	バスクの村人	須磨コレクション
2	A2イ0629	バレンティン・デ・スビアウレ	トルトラ・バレンシア	須磨コレクション
3	A2イ0607	ラモン・デ・スビアウレ	静物	須磨コレクション
4	A2イ0094	ダニエル・バスケス・ディアス	人気闘牛士たち	須磨コレクション
5	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ	須磨コレクション
6	A2イ0565	アルトゥーロ・ソウト	二人の踊り子	須磨コレクション
7	A2イ0564	アルトゥーロ・ソウト	カフェの内部	須磨コレクション
8	A2イ0246	パブロ・ピカソ	静物	大光コレクション
9	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	
10	A2イ0240	ジュアン・ミロ	絵画	大光コレクション
11	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬	
12	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む	大光コレクション ※11／1まで展示
13	A2イ0479	エドゥアルド・ナランホ	自画像「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」	※11／2から展示
14	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土	大光コレクション
15	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンポジション	
16	A2イ0308	アントニオ・ロペス	フランシスコ・カレテロ	
17	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのポル・ボウでの最期	
18	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）	
19	A2イ0309	マヌエル・フランケロ	無題	

スペイン近現代美術 3

平成 5 年12月26日㈰～平成 6 年 4 月 7 日㈰

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0094	ダニエル・バスケス・ディアス	人気闘牛士たち	須磨コレクション
2	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ	須磨コレクション
3	A2イ0589	イーヴァ・アガホルム	眠る庭師	須磨コレクション
4	A2イ0629	イーヴァ・アガホルム	ナザレのポルトガル人漁師	須磨コレクション
5	A2ロ0154	アルトゥーロ・ソウト	ファンタジア	須磨コレクション
6	A2イ0565	アルトゥーロ・ソウト	二人の踊り子	須磨コレクション
7	A2イ0564	アルトゥーロ・ソウト	カフェの内部	須磨コレクション
8	A2イ0246	パブロ・ピカソ	静物	大光コレクション
9	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	
10	A2イ0240	ジュアン・ミロ	絵画	大光コレクション
11	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬	
12	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む	大光コレクション
13	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土	大光コレクション
14	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンポジション	
15	A2イ0308	アントニオ・ロペス	フランシスコ・カレテロ	
16	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのポル・ボウでの最期	
17	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）	
18	A2イ0309	マヌエル・フランケロ	無題	

■敷地内常設彫刻

○ギャラリー棟１Ｆ：情報コーナー前

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Ｂハ0031	富永直樹	友人の顔
2	Ｂハ0035	富永直樹	イヤリングの女
3	Ｂハ0036	富永直樹	エジプトでみた女

○ギャラリー棟２Ｆ：エレベーター横

番号	収蔵番号	作者名	作品名
4	Ｂロ0028	太田清人	ウテルス・胎

○ギャラリー棟２Ｆ：カフェ横

番号	収蔵番号	作者名	作品名
5	Ｂハ0055	富永直樹	塗る男

○美術館棟：常設展示室パティオ内

番号	収蔵番号	作者名	作品名
6	Ｂイ0005	流政之	夜明けの前

○美術館棟：屋上庭園

番号	収蔵番号	作者名	作品名
7	Ｂハ0009	北村西望	花吹雪
8	Ｂハ0037	富永直樹	荒海の男
9	Ｂハ0046	富永直樹	クスコの少女
10	Ｂハ0064	富永直樹	新風

○美術館棟：光壁前踊り場

番号	収蔵番号	作者名	作品名
11	Ｂハ0029	ジュアン・ミロ	あるモニュメントのためのプロジェクト

○美術館棟南側：修景池（下池）

番号	収蔵番号	作者名	作品名
12	Ｂハ0028	サルバドール・ダリ	ガラのニュートン

■長崎県庁舎内

※１～11番までの作品は新県庁舎竣工後の平成30（2018）年度から当該の場所にて展示。12～14番は令和４（2022）年２月28日からの展示。

令和５年４月１日㈯～令和６年３月31日㈰

○２階協働エリア

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Bハ0053	富永直樹	クリスマス・イヴ

○８階展望室

番号	収蔵番号	作者名	作品名
2	Bハ0060	富永直樹	華麗なる王女

○屋上スロープ前

番号	収蔵番号	作者名	作品名
3	Bハ0017	富永直樹	若き日のシーボルト

○長崎県庁舎秘書課所管会議室

番号	収蔵番号	作者名	作品名
4	A2イ0336	辻利平	教会のある丘
5	A2イ0340	辻利平	津崎瀬戸
6	A2イ0353	萩原輝夫	マリア園あたり

○長崎県庁舎議会事務局所管会議室

番号	収蔵番号	作者名	作品名
7	A2イ0384	辻利平	島原風景
8	A2イ0338	辻利平	漁港好日
9	A2イ0199	大塚伊次	東山手風景
10	A2イ0297	中山武之	残照九十九島
11	A2イ0190	納富進	長崎の天主堂（出津）

○長崎県庁舎知事室

番号	収蔵番号	作者名	作品名
12	A2イ0035	堀田清治	新緑の長崎（川端通り）
13	A2イ0061	村岡平蔵	長崎の家
14	A2イ0383	辻利平	マジョリカの花器

令和５年11月25日㈯～令和６年３月31日㈰

○長崎県庁舎議会棟議長来客用控室

番号	収蔵番号	作者名	作品名
15	A2イ0022	橋原健三	グラバー邸
16	A2イ0023	笹岡了一	長崎の教会
17	A2イ0051	林鶴雄	雲仙ゴルフ場の見ゆる景

4．教育普及事業・生涯学習事業

1）展覧会関連企画

⑴企画展「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」関連企画

①特別講演

「スペインに行ってしまったら、これからどうやってスペインについての話しをするつもりなんだい：スペインのイメージ形成の歴史」

企画意図や各章について、来場者がより深く理解するための場としてギャラリートークとの両プログラムが展開された。内容はもとより、登壇者・トーカーに対して「企画者から直接熱量をもって展覧会を紹介されたことで、学芸員という仕事の奥深さを知った」という趣旨の感想も参加者から数件聞かれた。

日時：4月8日㈯ 14：00〜15：30

講師：川瀬佑介（本展監修者、国立西洋美術館主任研究員）

参加人数：61人

②担当学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日㈰、5月28日㈰ 11：00〜12：00

対象：中学生以上

参加人数：合計55人（23日30人、28日25人）

③こども鑑賞会

「『ドン・キホーテ』の世界に旅立とう！」

スペインという国や出版物と版画の関係などについてまだ知識の少ない小学生に対して、絵本版の『ドン・キホーテ』を読み聞かせてから、本展第Ⅰ章(i)「ドン・キホーテ」を鑑賞した。大まかなストーリーと主な登場人物を知ったことで、参加者は展示室で同じ場面の挿絵を見比べたり、作品の世界を想像したりして鑑賞を楽しむことができていた。

日時：4月22日㈯、5月27日㈯ 13：00〜14：30

対象：小学生

参加人数：合計11人（22日6人、27日5人）

④2日間連続ワークショップ

「ウォーターレスリトグラフの作品づくり」

リトグラフは制作工程が複雑で技術を要するため、制作工程が比較的シンプルで初心者でも挑戦しやすいウォーターレスリトグラフの技法体験の場を提供した。一般に、4版種のなかでもやや難解な印象を受けやすい「平版」について、実践を通して仕組みや表現の特色を理解していただく機会となった。

日時：5月13日㈯、5月14日㈰ 10：30〜13：00

講師：今泉奏（版画工房 kawalabo！スタッフ）

対象：中学生以上

参加費：1,000円

参加人数：14人

⑤配布資料「版画技法解説」
本展出品作品の多くに用いられている版画技法について、図と解説をまとめたシート「版画技法解説」を作成し、展示室で配布した。
日時：４月８日㈯～６月11日㈰
利用部数：1,840部

⑥セルフガイド「おさんぽミュージアム スペインのイメージ展 ver.」
⑤「版画技法解説」に加えて、こどもから大人まで気軽な鑑賞を促すセルフガイド「おさんぽミュージアム」の本展バージョンを作成し、展示室等で配布した。
日時：４月23日㈯～６月11日㈰
発行部数：610部（随時増刷）
利用部数：610部

⑵企画展「浪漫の光芒ー永見徳太郎と長崎の近代」関連企画
①ワークショップ「わたしを発信！ZINE づくり」
長崎文化の伝道者として晩年まで発信し続けた永見の活動を知るとともに、自分が発信したいことを ZINE という小冊子の形にして自分自身を客観的に見つめ直す機会とした。制作時間が足りなかったという感想もあったが、参加者の手が止まることはなく、それぞれが工夫を凝らした作品にたどり着いた。相互鑑賞の時間ではゆったりとした雰囲気の中、興味深く他の作品紹介に耳を傾けていた。
日時：11月26日　13：00～16：00
会場：アトリエ、企画展示室
対象：中学生以上（事前申込制）
参加費：200円（要本展観覧券）
参加人数：８人

②ガイドブック「永見手帖」
本展を分かりやすく解説した「永見手帖」を制作し、一般配布を行ったほか、特別鑑賞プログラム利用の学校に対して、事後学習用資料として配布した。
日時：10月14日㈯～１月８日（月・祝）
発行部数：6,500部

⑶コレクション展「東松照明と長崎」関連企画
ワークショップ「長崎を撮る」　※事前申込
東松照明について、講師の話を聴きながら作品を鑑賞した後、参加者の事前課題作品を見ながら「長崎」や被写体への視点、作品の見せ方について考えた。講師から写真のセレクト・レタッチのアドバイスをいただいた。撮影者の視点や、写真という表現媒体について東松照明の制作を知り、参加者が自身の制作について考える場となった。
日時：10月29日㈰　11：00～16：30　※途中休憩あり
講師：東松泰子（東松照明オフィス INTERFACE 代表）
会場：アトリエ、常設展示室第４室
対象：16歳～40歳の長崎県在住もしくは出身の方
参加費：無料（要コレクション展観覧券）

参加人数：８人

⑷シリーズレクチャー「コレクション・イン・フォーカス」

当館学芸員が所蔵作品・作家についてのレクチャーを行った。長崎ゆかりの美術やスペイン美術に対して関心を高め、開催中の展覧会への理解を深めていただくことを目的とする。
参加者の満足度は各講座とも高く、専門性の高い内容に関心を持つ方を中心に質の高い生涯学習の場と機会を提供するものとなった。
時間：11：00～11：40
会場：ホール
対象：一般
募集方法：当日受付
参加費：無料
参加人数：146人（６回合計）
日時及び内容：下表の通り

	開催日	内容	講師	参加人数
第１回	４月16日(日)	鴨居玲はスペインで何を見たか	森園　敦	34人
第２回	５月27日(土)	黒きスペイン（エスパーニャ・ネグラ）：ゴヤからソラーナへ	稲葉友汰	28人
第３回	８月６日(日)	池野巖の新収蔵作品	福満葉子	22人
第４回	９月３日(日)	津上みゆきと「風景」	稲葉友汰	17人
第５回	11月19日(日)	永見徳太郎と長崎の近代	松久保修平	13人
第６回	令和６年 ２月４日(日)	森永純の仕事	松久保修平	19人
第７回	令和６年 ３月17日(日)	長崎ゆかりの染色作家たち	川口佳子	13人

2）こどもアートクラブ

小学１～６年生を対象にし、「まなぶ・つくる・深める」をねらいとした作品鑑賞と造形活動を楽しむプログラム。今回は「ものの見方を変える」をテーマに、参加者がさまざまな作品や素材、表現方法に出会う活動とした。

期間：７月～９月

会場：アトリエ、常設展示室、企画展示室、館内、美術館周辺

対象：小学生

募集方法：事前申込

参加費：1,500円（全３回分）

参加人数：延べ56人

	開催日時	タイトル	内容
第１回	７月15日㈯ 10：15～12：00	美術館ってどんなところ？	美術館の役割、コレクションを知り、じっくり作品をみる機会とした。プログラムの初回のためアイスブレイクの時間も設け、次回に向けて雰囲気づくりを行った。
第２回	８月19日㈯ 10：15～12：00、 13：00～15：00	みずからかかわりつくる時間	アーティストが考案した水に関わるワークショップを午前と午後に分けて活動した。展示室にて水を表現した作品も鑑賞した。
第３回	９月16日㈯ 10：15～12：00、 13：00～14：00	写真で語るながさき	「東松照明と長崎」展を鑑賞した後、美術館周辺を散策し長崎の魅力を再発見した。最後にグループごとに写真を展示し発表した。

3）移動美術館

美術館までの来館が困難な遠隔地の県民に対して作品を鑑賞する機会を提供するもの。展覧会と併せてワークショップ等を実施し、広く芸術に親しんでいただく機会を提供した。

⑴移動美術館 IN 小値賀町

期間：10月３日㈫～10月15日㈰ ※うち２日間休館日
　　10：00～17：00
会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール
入場料：無料
出品点数：30点　※うち３点は特別出品
入場者数：350人
主催：小値賀町教育委員会、長崎県美術館
後援：小値賀町文化連盟

関連事業：

①オープニングセレモニー

日時：10月３日㈫　10：00～10：30
会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール入口前
参加人数：20人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：10月３日㈫　10：30～11：00
会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール
講師：稲葉友汰（長崎県美術館学芸員）
参加人数：20人

③ワークショップ「おしゃべり鑑賞会＋缶バッジづくり」
（全５回開催）

日時：10月７日㈯　①13：00～14：00　②14：30～15：30
　　10月８日㈰　③10：30～11：30　④13：00～14：00
　　⑤14：30～15：30
会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール
講師：守屋聡（長崎県美術館チーフエデュケーター）
参加人数：45人

④木のプール

期間：10月３日㈫～10月15日㈰
場所：小値賀町離島開発総合センター町民ホール入口前

⑤その他

１．小値賀中学校生徒による鑑賞会
日時：10月６日㈮
会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール
講師：守屋聡（長崎県美術館チーフエデュケーター）
参加人数：42人

２．高齢者施設でのアウトリーチ活動「貼り絵でつくる万華鏡」
日時：10月５日㈭　14：00～15：00
会場：小値賀町高齢者生活福祉センターたんぽぽ荘
講師：守屋聡（長崎県美術館チーフエデュケーター）
参加人数：７人（別途見学４人）

出品リスト：

番号	収蔵番号	作家名	名称	
1	A2i1045	彭城貞徳	日没と海	
2	A2i0001	彭城貞徳	九十九島・月夜の景	
3	A2i1042	山本森之助	落葉	
4	A2i0348	山本森之助	河畔の村と冬木立	
5	A2i0507	横手貞美	モンマルトル風景	
6	A2i0216	野口彌太郎	長崎の夕ぐれ	
7	A2i0028	野口彌太郎	夜のサン・ドニ	
8	A2i0032	島内きみ	枯草	
9	A2i0235	小林敏夫	街で（巴里）	
10	A2i1087	井川惺亮	Peinture（絵画）	
11	A2i0154	北村綱義	夕映	
12	A2i0335	辻利平	松浦	
13	A2i0305	笠松宏有	女の肖像	
14	A2i1108	菊畑茂久馬	海 101	
15	Bni0022	富永直樹	新風	
16	Bha0059	富永直樹	大将の椅子	
17	A2i0537	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	川の流れる風景	
18	A2i0575	オットー・トーレン	嵐の前	
19	A2i0574	ジェイムス・マクドゥガル・ハート	キューバ風景	
20	A2i0542	アントニオ・ムニョス・デグライン	聖地―聖母の泉	
21	A2i0099	リカルド・バローハ	シウダー・レアル	
22	A2i0559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂	
23	A3ro0097	サルバドール・ダリ	〈哲学者の錬金術〉哲学者の坩堝	
24	A3ro0097	サルバドール・ダリ	〈哲学者の錬金術〉陰と陽	
25	A3ro0097	サルバドール・ダリ	〈哲学者の錬金術〉錬金術師の夢、もしくは生命の樹	
26	A3ro0083	ジュアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 2	
27	A3ro0083	ジュアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 29	
特別出品		井上壽一	阿弥陀寺、小田家門前より	小値賀町歴史民俗資料館所蔵
		井上壽一	笛吹町海岸の断崖	〃
		井上壽一	大島、宇島、黒島	〃

⑵移動美術館 IN 波佐見町

期間：11月８日㈬～20日㈪ ※うち１日休館日
　　９：00～17：00
会場：波佐見町歴史文化交流館 特別展示室
入場料：無料
出品点数：20点
主催：波佐見町歴史文化交流館、長崎県美術館
後援：波佐見町
入場者数：1,717人

関連事業：

①学芸員によるギャラリートーク

日時：11月８日㈬　９：30～10：00
会場：波佐見町歴史文化交流館 特別展示室
講師：福満葉子（長崎県美術館学芸専門監）
参加人数：20人

②波佐見焼コースターづくり＆おしゃべり鑑賞会

日時：11月12日㈰　①10：00～11：30　②13：30～15：00
・波佐見焼コースターづくり

会場：波佐見町歴史文化交流館交流室・休憩室
講師：裏邉彩子・裏邉恵（陶磁器成形有限会社「ウラベ」／「Utte」メンバー）
・おしゃべり鑑賞会
会場：波佐見町歴史文化交流館 特別展示室
講師：堀越蒔李子（長崎県美術館エデュケーター）
　　山口百合子（長崎県美術館事業企画グループサブリーダー）
参加人数：30人

③木のプール

日時：11月８日㈬～11月20日㈪
　　※休館日を除く　９：00～17：00
会場：波佐見町歴史文化交流館町民ギャラリー・講座室

出品リスト：

番号	収蔵番号	作家名	名称
1	A3ro0430	パブロ・ピカソ	女の顔
2	A2i0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
3	A3ro0054-1	マルク・シャガール	扉絵（『サーカス』より）
4	A3ro0054-17	マルク・シャガール	猛獣たち（『サーカス』より）
5	A3ro0054-21	マルク・シャガール	馬たち（『サーカス』より）
6	A2i0144	山本森之助	凍れる華厳
7	A2i0002	山本森之助	雨後
8	A2i1087	井川惺亮	Peinture
9	A2i1174	野見山暁治	風の吹く階段
10	A2i1177	野見山暁治	部屋に入ってきた雲
11	A2i1031	鴨居玲	蛾
12	A2i0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ
13	A2i0791	鴨居羊子	終演
14	Hi0190	東松照明	人形浄瑠璃／皿山大神宮・東彼杵郡・波佐見町
15	Hi0129	東松照明	隠れキリシタンの墓地／東彼杵郡・波佐見町
16	Hi0220	東松照明	草冠７／東彼杵郡・波佐見町
17	Hi0256	東松照明	窯屋の土間／東彼杵郡・波佐見町
18	Hi0357	東松照明	無題／東彼杵郡波佐見町
19	Hi0439	東松照明	無題／東彼杵郡波佐見町
20	Bha0089	青木野枝	雲谷／長崎

4）みんなのアトリエ

⑴春のぽかぽか美術館　キッズふれアート　はじめてミュージアム

①ながさきのくしゃくしゃおばけ

長崎の新聞でつくるくしゃくしゃおばけ。ブランコのように揺れながら、紙の森にくしゃくしゃと飛び込み、紙の感触を楽しんだ。

日時：５月３日(水・祝)～５月７日(日)
　　10：00～16：15（30分／回）
会場：ホール
募集方法：事前申込
参加費：100円／人
協力：PLAY!PARK
参加人数：1,460人

②パエリアの具になる！

アトリエに直径５ｍの大きなパエリアを模した遊具を設置し、サフランライスの中で泳いだり、寝転がったり、具材を投げ入れたり、くつろいだり、好きな具になって遊べるようにした。

会場：アトリエ
日時：５月３日(水・祝)～５月７日(日)
　　10：15～16：25（40分／回）
対象：小学生以下　※未就学児は保護者同伴
募集方法：事前申込
参加費：無料
協力：PLAY!PARK
参加人数：1,051人

③まきまきひだ襟

展覧会に展示している作品から着想を得、柔らかい紙を使って折り方や切り方を工夫しながらオリジナルひだ襟を制作できるようにした。ひだ襟を身に着けて撮影できるコーナーも設置した。

会場：運河ギャラリー
日時：５月３日(水・祝)～５日(金・祝)
　　①10：00～12：00　②13：30～16：30
募集方法：当日随時
参加費：無料
参加人数：632人

⑵夏のわくわく美術館

日常生活で触れている陶磁器素材を、製品としてだけでなく工芸の視点で考える機会を提供した。さらに、長崎県内の工房に端材提供などの協力を仰ぎ、地域の工芸を知る機会とした。

①金継ぎ体験

日時：８月５日㈯　10：30～13：00
会場：アトリエ
対象：中学生以上
募集方法：事前申込
講師：ナカムラクニオ（「６次元」主宰／美術家）
参加人数：22人

②波佐見焼コースターづくり

日時：８月27日㈰　①10：15　②10：55　③11：35
　　④13：30　⑤14：10　⑥14：50
会場：アトリエ
対象：子どもから大人まで　※小学生以下は保護者同伴
企画協力：Utte（波佐見焼産地から産業廃棄物を減らすプロジェクト）
参加人数：96人

⑶秋イベント「つくって探検！カラフル双眼鏡」

未就学児～小学校低学年の親子連れを対象とした地元メディア主催イベントに併せ実施したもの。子どもたちが外歩きの時に身に着け、いつもと違う色のついた景色が見える、美術館の内外を探検気分で散策するためのツールを作ることで周囲への観察を促した。
日時：11月４日㈯、５日㈰
　　10：00～12：00、14：00～16：00
会場：アトリエ
対象：子どもから大人まで　※小学生以下は保護者同伴
参加費：無料
募集方法：随時受付
参加人数：749人

⑷ウィークエンドミュージアム

秋から冬にかけて月に一度、日曜日に子どもから大人まで気軽に参加できるワークショップを実施し、制作体験ができる機会を提供した。
期間：2023年９月～2024年３月（全６回）
時間：10：00～12：00、14：00～16：00
会場：アトリエ、ホール、講座室
対象：子ども～大人まで
募集方法：当日受付
参加費：100円
参加人数：715人

開催日及び内容

	開催日	タイトル	内容	参加人数
第１回	９月10日(日)	流し絵うちわ	流し絵の技法を用いて画面を作った後、好きな部分をうちわの形に切り取ることでうちわに仕上げた。	135人
第２回	10月１日(日)	万華鏡ワールド	丸い紙に色を塗ったり色紙を貼り付けたりしたものを装置にセットし回すことで、自ら作った模様が万華鏡となり移り変わる様子を楽しんだ。	207人
第３回	12月17日(日)	アップサイクルクラフト「ウォールデコ」	トイレットペーパーの芯を好きな幅の輪っか状に切り出し、円形やだ円形など基本形をつくり、並べてつなぎ合わせて壁飾りをつくった。	65人
第４回	１月14日(日)	墨でひろがるにじみの世界	日本画の「たらしこみ」技法を遊びながら学び、最後に缶バッジに仕上げて持ち帰った。	82人
第５回	２月11日(日)	まわるスクラッチ灯籠	コップに塗った絵の具を乾かし、引っかいたり削ったりして絵を描き、描いた絵が光で浮かび上がる、回り灯籠をつくった。	149人
第６回	３月３日(日)	織ってつくるグリーティングカード	様々な色・素材の紙を織物のようにたての線とよこの線で組み合わせ、グリーティングカードに仕上げた。	77人

5）学校との連携

⑴スクールプログラム（学校利用）

学校と美術館との連携事業として、図工・美術科の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動、PTA などの活動で利用していただくためのプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、学校担当者とエデュケーターが協議し内容を組み立てた。

令和５年度利用件数：351件、利用者総数：8, 864人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	校種別合計
保育園	117	146	175	171	68	96	153	60	143	70	181	27	1, 407
幼稚園	138	175	122	73	0	78	88	86	0	109	112	43	1, 024
学童保育	0	0	0	0	894	119	0	0	0	0	40	86	1, 139
小学校	8	19	94	33	7	407	708	843	195	183	55	43	2, 595
中学校	29	84	282	336	63	10	135	243	24	42	7	0	1, 255
高等学校	0	57	42	6	23	32	166	46	25	4	0	62	463
特別支援学校	0	0	0	0	22	0	11	13	0	17	22	41	126
大学	0	46	24	52	39	0	0	14	13	27	0	6	221
専門学校	16	0	0	103	14	0	0	0	19	28	0	0	180
PTA	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
教職員研修	22	0	0	0	233	25	27	0	0	0	0	0	307
教員	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
その他(保護者､添乗員等)	42	8	0	0	0	16	0	0	0	0	28	0	94
合計	372	535	768	798	1, 363	783	1, 288	1, 305	419	480	445	308	8, 864

関連事業

①長崎県美術館　さわやかおさんぽツアー

子ども園・幼稚園・保育園、保育所に通う就学前の幼児を対象に、美術館の作品を鑑賞しながら、館内・バックヤードツアーをお散歩気分で楽しんでいただく企画。初めて美術館を訪れる園児にとって、美術館のあちこちをめぐるツアーは好奇心をかきたてられるもののようであった。美術館でのマナーについても、園児は初めて聞く約束事に少し緊張しつつも、作品鑑賞を楽しんでいる様子であった。

期間：４月11日㈫～６月８日㈭の金曜・休館日を除く平日
　　①10：00～11：00　②10：30～11：30
　　③11：00～12：00

対象：園児20人程度

募集方法：申込 FAX 用紙にて申し込み

利用者数：26件　496人（園児409人、引率87人）

②こども園・幼稚園・保育園・保育所対象　長崎県美術館年間利用プログラム

就学前の幼児に対して、おしゃべり鑑賞と鑑賞する作品や作家に関連する表現活動をセットにしたプログラムを年間複数回実施するもの。昨年度から申し込み件数が増加し、約1. 6倍の利用者数になった。リピーター園も数14件ありつつ、新規の園も７件あった。アンケートの回答にある活動中・後の園児の様子から、鑑賞する展覧会の内容と表現活動を結び付けることで、美術や美術館に対する園児の理解や関心、意欲が高まったといえる。

期間：６月19日㈪～令和６年３月７日㈭
※金曜日・休館日を除く平日
①10：00～11：30　②10：30～12：00
回数：年間２～４回
対象：園児20人程度
所要時間：90分程度
参加費：材料費100円×園児数
申込件数：21園445人
利用者数：実施 69回　延べ1,388人
（園児：1,171人、引率：202人、その他：15人）

	①	②	③	④
実施期間	６／19～８／10	９／４～10／26	11／６～12／21	令和６年１／29～３／７
展覧会名	新収蔵____池野清と巖	須磨コレクション２―名品選	浪漫の光芒 ―永見徳太郎と長崎の近代	長崎ゆかりの染織作家たち
表現活動	いろをかさねる	ポーズをきめろ！ シルエットじがぞう	コレクターズバッグづくり	コーヒー染めのとんがり帽子

③遠隔教育プログラム

長崎県美術館と県内遠隔地の学校または県内遠隔地の施設を結んで同時中継によるプログラムを実施した。

ⅰ）波佐見町立中央小学校、波佐見町立東小学校　※５補助金による事業　１－②参照

ⅱ）桜が丘保育園　※５補助金による事業　１－②参照

ⅲ）五島市立久賀中学校　※５補助金による事業　１－②参照

④特別鑑賞プログラム

美術館用意の貸切バスにて、学校と美術館を送迎する鑑賞プログラム。県内の児童・生徒に、長崎県美術館が所蔵する長崎ゆかりの美術やピカソ、ミロ、ダリなどのスペイン美術など国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を提供することで、美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育てることを目的とする。二期に分けて実施し、開催時期や展覧会内容に即した校種参加が見られ、県内地域万遍なく参加があった。

名称：第Ⅰ期特別鑑賞プログラム
実施期間：４月８日㈯～６月11㈰
内容：企画展「スペインのイメージ 版画を通じて写し伝わるすがた」
常設展鑑賞、館内ツアー
対象：長崎県内中学校、高等学校、特別支援学校の美術部・引率教師
募集方法：公募
募集期間：案内文書到着日～６月８日㈭　運行可能なバスの台数が上限に達するまで。
参加費：下表のとおり（引率教員は無料）

地　域	料金／児童・生徒１人
長崎市、諫早市、長与町、時津町	100円
大村市、西海市	200円
佐世保市、雲仙市、島原市、南島原市、東彼杵郡	300円
平戸市、松浦市、佐々町	500円

参加校：３校
参加者数：48人（生徒45人　引率教員３人）
名称：第Ⅱ期特別鑑賞プログラム
実施期間：令和５年10月16日㈪～12月24日㈰
※第２・４月曜日は除く
内容：企画展「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」、常設展鑑賞、館内ツアー
対象：長崎県全域の小中学校（単位：学年・学級・美術部）
募集方法：公募
募集期間：案内文書到着日～11月19日㈰　運行可能なバスの台数が上限に達するまで。
参加費：下表のとおり（引率教員は無料）

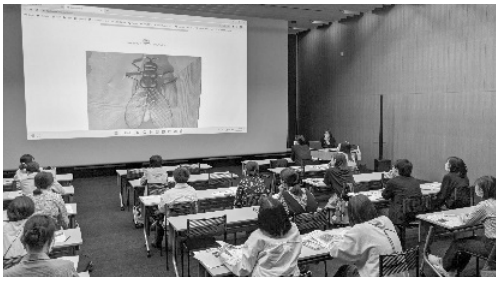
地　　域	料金／児童・生徒１人
長崎市、諫早市、長与町、時津町	100円
大村市、西海市	200円
佐世保市、雲仙市、島原市、南島原市、東彼杵郡	300円
平戸市、松浦市、佐々町	500円

参加校：７校
参加人数：197人（生徒177人　引率教員20人）

⑵教員向け研修会

①先生のための美術館ツアー～ティーチャーズデイ～

長崎県内の先生方に美術館が実施しているスクールプログラムの体験や質疑応答、自由鑑賞の時間を取り、展覧会を楽しむとともに美術館への関心を持つ機会とする。
ⅰ）ティーチャーズデイ「美術館活用のいろいろ」
日時：４月23日㈰　10：00～12：30
場所：ホール、展示室、館内
対象：長崎県内幼保小中高大学教員
募集方法：事前申込
参加費：無料
参加人数：22人
ⅱ）授業活用のための教員向けレクチャーの実施　ティーチャーズデイ鑑賞体験・レクチャー「作品のみかたを探る」
日時：６月25日㈰　10：00～12：30
場所：ホール、展示室、館内
対象：長崎県内幼保小中高大学教員
募集方法：事前申込
参加費：無料
参加人数：23人
ⅲ）授業活用のための教員向けレクチャーの実施　ティーチャーズデイ鑑賞体験・レクチャー「作品のみかたを探る」in 五島市
日時：８月23日㈬　13：30～15：30
場所：福江文化会館２階会議室
対象：長崎県内幼保小中高大学教員
募集方法：事前申込
参加費：無料
参加人数：５人　※５補助金による事業　１参照



②鑑賞教育研修会「出島研修」

スクールプログラムの利用促進を目的とした長崎県下全域の教職員対象の研修会。

期間：８月３日㈭、４日㈮

会場：ホール、講座室、アトリエ、運河ギャラリー

対象：長崎県小中学校教員

募集方法：事前申込

内容：

１）記念講演「未来の美術」をめぐる冒険
　講師：ナカムラクニオ（「６次元」主宰／美術家）

２）企画展鑑賞：企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」

３）実技講座（８／３：分科会１～３、８／４：講座４～７）

第１分科会　思いをもって～自己表現をよろこび、創造を楽しむ子どもの姿をめざして～
　講師：松尾希音（島原市立大三東小学校教諭）

第２分科会　作品とどう出会わせ，どのようにゴールまで導くか～児童に達成感を感じさせる指導の実践～
　講師：中尾健史（雲仙市立多比良小学校教諭）

第３分科会　版画で伝える郷土の魅力
　講師：山口直起（南島原市立有家中学校教諭）

講座１　季節の工作と掲示物～特別支援学級の取り組みから～
　講師：八田寛（長崎市立福田小学校教諭）

講座２　クレヨン・パス・コンテ・絵の具について原材料の視点から学ぶ
　講師：小野寺康弘、佐藤槙吾（ぺんてる株式会社）

講座３　金継ぎ体験ワークショップ
　講師：ナカムラクニオ（「６次元」主宰／美術家）

講座４　おしゃべり鑑賞体験のいろいろ
　講師：山口百合子（長崎県美術館事業企画グループサブリーダー）

参加人数：合計233人（３日／123人　４日／110人）

主催：長崎県美術館、長崎県造形教育研究会

後援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、島原市教育委員会、雲仙市教育委員会、南島原市教育委員会

③長崎県教育センター研修講座

長崎県教育センターより依頼を受け、長崎県内幼小中高等学校、特別支援学校の教員を対象に鑑賞教育・表現活動のありかたについて講義と実技演習を実施した。

日時：９月28日㈭　10：15～16：30

会場：ホール、アトリエ、展示室

対象：長崎県内小中高等学校、特別支援学校教員

内容：「みる、きく、話す、考える鑑賞活動～平和教育の視点とつなぐ～」

講師：山口百合子（長崎県美術館事業企画グループサブリーダー）

主催：長崎県教育センター
参加人数：21人

④長崎市学校運営研修会

長崎市内の小中学校新任・転入校長を対象に「本市の教育方針、教育基本計画及び教育文化施設等について理解を深めるとともに、管理職としての資質を向上させること」を目的とした研修会。長崎県美術館館長講話やスクールプログラムの説明、作品鑑賞を実施した。
日時：10月28日(土)　10：00～12：00
会場：ホール、常設展示室
対象：長崎市新任・転入 小中学校校長
参加費：無料
主催：長崎市教育委員会学校教育課学務係
参加人数：27人

⑶ほっとミュージアムクーポン

不登校児童・生徒と保護者、関係者に美術館での作品鑑賞の他、美術館カフェでの軽食等を提供することで、児童・生徒の精神の安定と不登校状況の改善を図るきっかけとする企画。今回より長崎県教育庁主催の「確かな一歩事業」との連携事業として実施した。
期間：令和６年１月10日(水)～３月29日(金)間の平日
　　10：00～16：00
対象：長崎県内の不登校児童・生徒と保護者、関係者
利用者数：合計28人（児童・生徒14人、保護者14人）

⑷高等学校卒業生への特別招待券贈呈

県下の高等学校卒業生を対象に招待券を贈呈し、長崎県美術館の企画展と美術館コレクション展を鑑賞する機会を提供する企画。卒業生の美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育むとともに、郷土愛をさらに深めていただくことを目的としたもの。招待券名称を「きてみてチケット」とし、配付時期を秋口にして利用期間を長く設定することで利用促進につなげた。
期間：令和５年12月上旬～令和６年３月31日(日)
対象：長崎県下の公立、私立、定時制を含む長崎県下の高等学校卒業生と特別支援学校高等部卒業生
利用者数：合計520人

⑸博学連携

①長崎大学教育学部との連携

長崎大学教育学部の授業の一環として「キッズふれアートはじめてミュージアム　春のぽかぽか美術館」にて実施した各イベントのサポートスタッフとして参加いただいた。本年は３日間にわたって23名の学生を受け入れた。

⑹博物館実習

概要：学芸員資格取得のための博物館実習。
日程：８月26日(土)～８月30日(水)　各日10：00～17：00
対象：学芸員資格取得希望者

実習費：5,000円
実習生：３校５人（佐賀大学３人、長崎国際大学１人、多摩美術大学１人）

26日(土)	10：00～12：00	ガイダンス 講義「長崎県美術館について」
	13：00～17：00	館内見学 講義「長崎県美術館の作品収集とコレクション」 実習課題準備 WS 事前学習・準備
27日(日)	10：00～12：00	演習「波佐見焼コースターづくり WS」参加
	13：00～17：00	実習課題準備 講義「美術館の広報活動」 講義「美術館の教育普及活動」
28日(月)	10：00～12：00	講義「郷土美術とその調査研究」 講義／見学「美術作品の保存修復」
	13：00～17：00	演習「作品へのライティング」 講義「長崎県美術館の企画展示」 実習課題準備
29日(火)	10：00～12：00	講義「美術館の経営について」 実習課題準備
	13：00～17：00	演習「美術館における IPM 活動」 演習「収蔵庫見学／作品取扱いについて」
30日(水)	10：00～12：00	講義「美術館のボランティア活動について」 実習課題準備
	13：00～17：00	実習課題準備 実習課題発表 全体総括

6）海外との教育普及事業連携

令和５年度長崎県美術館・慶南道立美術館交流事業
韓国慶南道立美術館が慶尚南道地域の中学・高校を対象に行っている教育プログラム「韓国の巨匠たち」を基に、同美術館の教育スタッフが来館しワークショップを実施。韓国語と映像を交え韓国慶尚南道地域ゆかりの作家を紹介しながら、その作家の制作プロセスを追体験した。
日時：12月９日㈯　14：00〜16：00
会場：アトリエ
対象：高校生
講師：ジョン・ジンギョン（慶南道立美術館エデュケーター）※外部講師として参加
　　イ・ミヨン（慶南道立美術館学芸員）
募集方法：事前申込
参加費：無料
参加人数：10人
主催：長崎県美術館、慶南道立美術館

7）地域連携

白衣の中に、アートの心を。〜自分好みの役立て方で、医療現場でのコミュニケーションはもっと楽しくなる〜
講師による講演会の後、常設展示室で対話型鑑賞を行った。作品鑑賞体験活動を通してアートの視点や役割が医療分野においてどのように有効にはたらくのか、より理解を深める機会とした。また気軽に美術館を利用してもらうきっかけとなった。
日時：７月29日㈯　14：30〜17：00
会場：アトリエ、常設展示室
対象：長崎県内の医療従事関係者、医療従事者を目指す学生
講師：森永康平（独協医科大学非常勤講師、MED　AGREE CLINIC うつのみや院長、ミルキク代表）
募集方法：事前申込
参加費：無料
参加人数：19人
主催：長崎県美術館
協力：ミルキク、長崎みなとメディカルセンター

8）鑑賞ツールの開発

⑴美術館ガイドブック
当館の所蔵作品や建物について、館内各所をめぐりながら知ることができる美術館ガイドを通年配布した。
対象：子どもから大人まで
実施方法：館内にて無償配布

9）アトリエブログ

教育普及・生涯学習事業を身近に感じていただくことを目的として、ワークショップや講座の最新情報や実施報告を美術館ホームページ上に掲載した。これまで実施したワークショップ内容を中心に定期的に更新する。
更新回数：16回

5．補助金等による事業

学校と共創する美術で学ぶ平和教育
「学校とミュージアムの共創～平和教育と鑑賞プログラムの開発・活用～」

長崎県美術館が核となり、当館の所蔵作品をもとに美術作品の鑑賞を通して平和について学ぶ、新しい「平和教育プログラム」を学校と共創して構築することを目的とし実施した。

補助金名：令和５年度文化芸術振興費補助金(Innovate MUSEUM 事業)
主催：学校と共創する美術で学ぶ平和教育実行委員会（長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県美術館）

１．「美術で学ぶ平和教育プログラム」の拡充と普及

①授業活用のための教員向けレクチャーの実施
令和４年度に作成した鑑賞授業案と鑑賞ツールの利用促進を目的とした教員を対象とした説明会を実施した。
◆鑑賞体験・レクチャー「作品のみかたを探る」ティーチャーズデイ（令和５年６月25日、長崎県美術館、参加人数：23人）
◆鑑賞体験・レクチャー「作品のみかたを探る」in 五島市（令和５年８月23日、福江文化会館、参加人数５人）

②授業案を活用した鑑賞プログラムの実施
利用申込をいただいた団体には鑑賞ツール利用のためのパスワードを提供し、プログラム実施後アンケートによるフィードバックをもらった。当館職員がオンラインでつないで授業実施をしたり、授業参観をしたり先生方と授業前後での検討協議を重ね、それぞれの学校のニーズに合わせた授業案活用に協働した。
事例１：鑑賞プログラム「アロージョさんの作品をみてみよう！」（令和５年７月18日、保育園、年長児21人）
事例２：美術科「美術でつなげる平和の願い」（令和５年７月３日～７日、中学校１年生４クラス、延べ161人）
事例３：現代の国語「考えを共有していくために」（令和５年12月８日～19日、高等学校２年生３クラス、延べ79人）
事例４：公開特別講座「日本語で楽しむ美術鑑賞」（令和５年12月23日、大学、一般・日本語を勉強中の方、３人）

③授業案の拡充・実践
遠隔地域である五島市立久賀中学校（令和５年12月13日）、波佐見町立中央小学校・東小学校（令和５年11月29日）、長崎外国語大学（令和６年１月９日）にて新たに作成した授業案と画像を用いて美術館職員がモデル授業として実施した。

２．デジタル教材開発とプラットフォーム構築

①デジタル教材開発検討委員会の実施と製作　→　③デジタル教材の格納・環境整備
長崎県美術館所蔵作家５組について「平和教育×鑑賞教育」

プログラムとしてそれぞれの鑑賞授業案と高精細画像、授業実践例を掲載したデジタル鑑賞ツール「PEACE（Peace Education through Art Content Explorer）」を長崎大学情報データ科学部の協力のもと製作した。長崎県美術館 HP 上にて公開し、誰でも閲覧可能であるが、詳細ページへ進むためには利用申込が必要。※利用申込：令和６年４月１日より開始。

②収蔵作品や作家に関連する情報収集のための現地視察と調査「PEACE」の製作にあたり、ピックアップ作家に加えた丸木位里・俊と舟越保武の調査のため、原爆の図 丸木美術館（埼玉県）と岩手県立美術館を訪問し、関連作品の実見や担当学芸員との情報交換を行った。

３．成果報告

①授業実践校の事例公開

「PEACE」に授業案や鑑賞ツールを活用した学校の実践事例を紹介するページを設置。池野清：２件（内訳 小２）、アロージョ：５件(内訳 幼保・小・中・高 各１)、舟越保武：２件（内訳 小２）、東松照明：２件（内訳 小・大 各１）を掲載。※今後は授業アイデアや実践事例を追加予定

②「PEACE」開発者と鑑賞ツール利用者による座談会の開催それぞれの立場から作品画像を使った鑑賞の手応えや美術作品のデジタル化についての課題と成果、教科横断型の授業提案、「PEACE」の運用に向けて意見交換した。

実施日｜令和６年１月７日(日)　13：00〜15：00

開発者｜金谷一朗（長崎大学情報データ科学部教授）、山口百合子（長崎県美術館事業企画グループサブリーダー）

利用者｜宮崎友理子（たちばなこども園保育教諭）、中島素子（県立島原工業高等学校国語科教諭）

コメンテーター｜山岸利次（長崎大学人文社会科学域教育学系准教授）

③記録集作成・発信

３年間のプロジェクトのあゆみや「PEACE」の内容紹介をガイドブックとしてまとめた。使い方を掲載したリーフレットと併せて作成し、PDF データを web 上で公開した。

6．収集事業

1）新収蔵作品

●新収蔵点数は購入６件（８点）、寄贈68件（89点）、総数74件（97点）である。
●購入＞寄贈の順に配列した。
●外国作家＞国内作家の順に配列した。
●原則として作家名（外国作家はアルファベット順、国内作家は五十音順）＞制作年（昇順）の順に配列した。
●各作品のデータの配列は次の通り。
通し番号／作者名（生没年）／英文作者名／作品名／制作年／技法・材質、サイズ（cm）／備考／取得方法、寄贈の場合は寄贈者名、収蔵番号
●紙作品および写真のサイズについては、特に明記のない限り「紙サイズ；イメージサイズ」である。

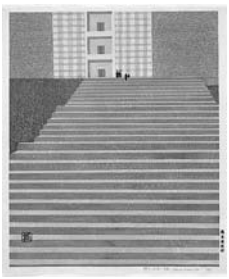
【購入】

1
池田俊彦（1980-）
IKEDA Toshihiko
The melting lord
−After light after time after gravity−
制作：2018-21；刷り：2021
エッチング・紙　Ed. 2/10　３枚１組　各102. 0×66. 0
購入　A3イ0210

2
彭城貞徳（1858-1939）
SAKAKI Teitoku
秋の夕暮（？）
制作年不詳
油彩・カンヴァス　79. 1×154. 8
購入　A2イ1197

3
橋本興家（1899-1993）
HASHIMOTO Okiie
静 A（長崎）
1961
木版・紙　Ed. 2/60
63. 1×52. 7；60. 6×49. 3
購入　A3ロ0502-01

4
橋本興家（1899-1993）
HASHIMOTO Okiie
静 B（長崎）
1961
木版・紙　Ed. 2/60
63. 2×52. 8；60. 5×49. 2
購入　A3ロ0502-02



5
橋本興家（1899-1993）
HASHIMOTO Okiie
ある幻想　長崎連作の内
1987
木版・紙　Ed. 21/80
46. 8×58. 6；41. 0×52. 7
購入　A3ロ0503

6
松崎卯一（1895-1972）
MATSUZAKI Uichi
龍舌蘭のある風景
1936
木版・紙
27. 6×39. 0；23. 8×35. 6
購入　A3ロ0504

【寄贈】

7
リカルド・バローハ
（1871-1953）
Ricardo BAROJA
物乞い
1929
油彩・板　50. 2×66. 3
須磨コレクション
寄贈　須磨杜丘秋氏　A2イ1198

8
リカルド・バローハ
(1871-1953)
Ricardo BAROJA
貨物自動車
1929
油彩・板　49.5×65.7
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2イ1199

9
リカルド・バローハ
(1871-1953)
Ricardo BAROJA
遅延
1943
油彩・板　37.8×57.3
須磨コレクション
寄贈　須磨杜丘秋氏　A2イ1200

10
エドゥアルド・ラガルデ・アランブル（1883-1959？）
Eduardo LAGARDE ARAMBURU
女の顔
制作年不詳（20世紀前半）
ペン、インク・紙　22.1×28.2
須磨コレクション
寄贈　須磨杜丘秋氏　A2ロ0632

11
ラファエル・ペニュエラス
(1906-1993)
Rafael PENUELAS
須磨彌吉郎の肖像
1943頃
油彩・カンヴァス　57.5×47.5
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2イ1201

12
セシリオ・プラ（1860-1934）
Cecilio PLA
マンサネラ(アラゴン)の風景
制作年不詳
油彩・カンヴァス　53.6×63.8
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2イ1202

13
ダニエル・バスケス・ディアス
(1882-1969)
Daniel VAZQUEZ DIAZ
パロス・デ・モゲールの美しき女性
制作年不詳（1941-46頃）
鉛筆・紙　35.0×26.6
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2ロ0633

14
フェルナンド・デ・ビリョーダス
(1883-1920)
Fernando de VILLODAS
16歳の自画像
1899頃
油彩・カンヴァス　19.3×17.2
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2イ1203

15
リカルド・デ・ビリョーダス
(1846-1904)
Ricardo de VILLODAS
肖像
制作年不詳
油彩・板　23.1×14.5
須磨コレクション
寄贈　須磨杜丘秋氏　A2イ1204

16
作者不詳
Unknown Artist
室内
制作年不詳
油彩・カンヴァス　51.7×73.3
須磨コレクション
寄贈　須磨杜丘秋氏　A2イ1205

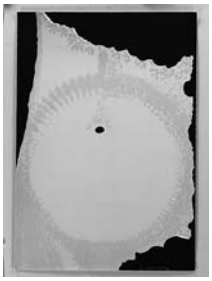
17
作者不詳
Unknown Artist
男性裸体習作
制作年不詳
鉛筆、白コンテ・簀目紙
56.7×40.0
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2ロ0634

18
作者不詳
Unknown Artist
男性裸体習作
制作年不詳
鉛筆・紙　39.5×29.5
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2ロ0635

19
作者不詳
Unknown Artist
男性裸体習作
制作年不詳
鉛筆（木炭？）・簀目紙　40.0×30.0
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2ロ0636

20
作者不詳
Unknown Artist
男性裸体習作
制作年不詳
鉛筆・簀目紙　39.8×30.0
須磨コレクション
寄贈　薮亀己美子氏　A2ロ0637

21
ジュアン・ガルディ・アルティガス
(1938-)
Joan GARDY ARTIGAS
太陽
1967
リトグラフ・紙　89.0×62.5
寄贈　松田健児氏　A3ロ0505



22
ジュアン・ガルディ・アルティガス
(1938-)
Joan GARDY ARTIGAS
無題
1968頃
リトグラフ・紙　77.0×63.0
寄贈　松田健児氏　A3ロ0506

23
ジュアン・ガルディ・アルティガス
(1938-)
Joan GARDY ARTIGAS
炎
1972
リトグラフ、エッチング、
アクアティント・紙　59.5×38.5
寄贈　松田健児氏　A3ロ0507

24
池野巖（1926-1990）
IKENO Iwao
色紙
1964
墨、水彩・紙　24.2×27.6
寄贈　北澤眞理子氏　A2ロ0638

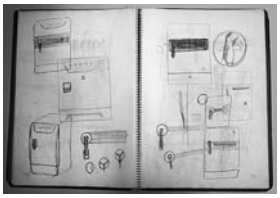
25
小林敏夫
KOBAYASHI Toshio
活水
制作年不詳
油彩・カンヴァス　27.4×22.7
寄贈　大塚哲氏　A2イ1206

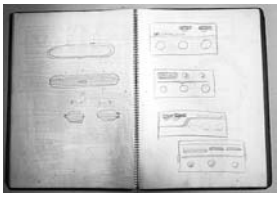
26
小林敏夫
KOBAYASHI Toshio
裸（譜）
1961
油彩・板　33.3×24.0
寄贈　大塚哲氏　A2イ1207

27
富永直樹
TOMINAGA Naoki
スケッチ一式
1940-50年代　（全22点）
寄贈　富永良太氏　A2ロ0639

27-1
スケッチブック
（三洋ラジオ・冷蔵庫・洗濯機他）
全84枚（綴じられた紙：70枚　切り離された紙：12枚）

27-2
スケッチブック
（三洋ラジオ・冷蔵庫・洗濯機他）
全27枚（綴じられた紙：27枚うち白紙1枚　切り離された紙：2枚うち白紙1枚）

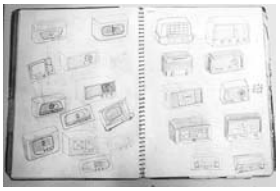




27- 3

スケッチブック
（三洋ラジオ・冷蔵庫・洗濯機他）

全65枚（綴じられた紙：56枚　切り離された紙：９枚）



27- 4

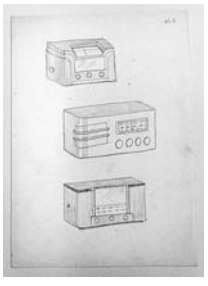
スケッチブック
（味の素ケース・テスター・自宅設計）

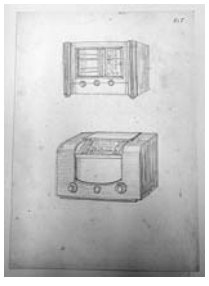
全63枚（綴じられた紙：64枚うち19枚白紙　切り離された紙：19枚うち白紙１枚）

27- 5

スケッチブック（沖電気ラジオ）

全46枚（ファイルに収められている）

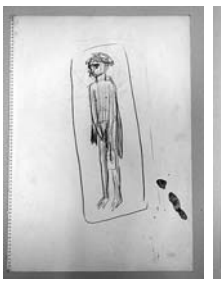


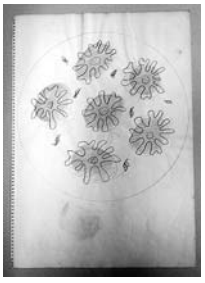


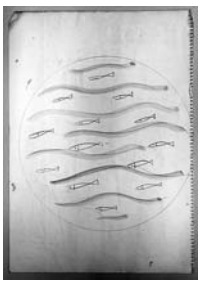
27- 6

素描

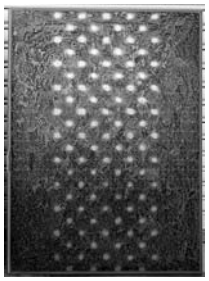
全17枚



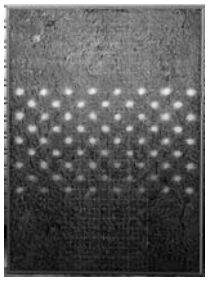




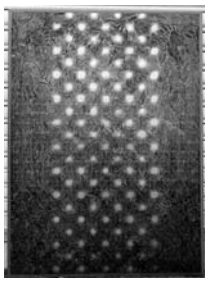
28
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　111×80.5
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0133



29
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　111×80.5
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0134

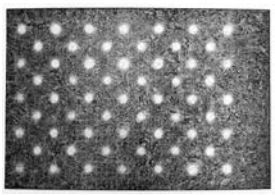


30
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　111×80.5
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0135

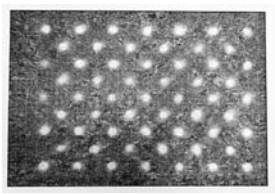


31
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　79.2×54.8
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0136

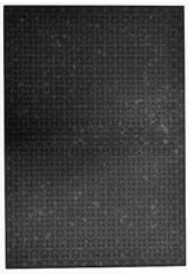
32
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　54.9×79.3
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0137



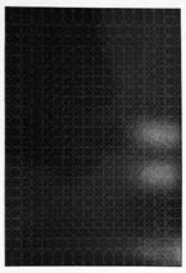
33
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　54.8×79.2
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0138



34
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　79.1×54.6
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0139

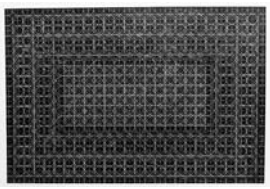


35
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　79.2×54.5
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0140

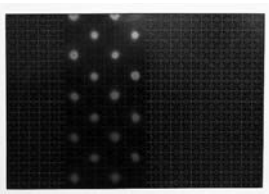


36
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　79.3×54.9
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0141

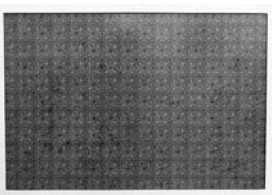
37
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　54.8×79.2
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0142



38
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　54.8×79.3
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0143



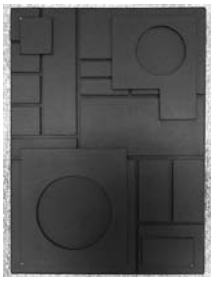
39
前田齊
MAEDA Hitoshi
ENDLESS
制作年不詳
アクリル絵具・紙　54.7×79.2
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0144



40
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
2011
ミクストメディア　82×58×4.7
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0145

41
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　41×27
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0146

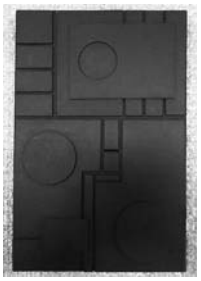
42
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　33.2×24.2
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0147



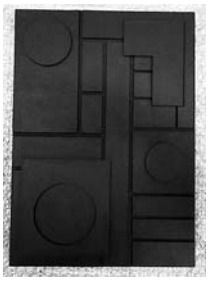
43
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27.2×22.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0148

44
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27.2×22.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0149

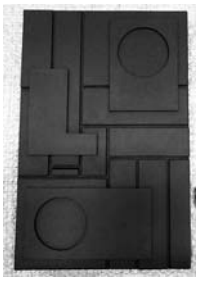
45
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　30.6×20.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0150



46
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　29.7×21.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0151

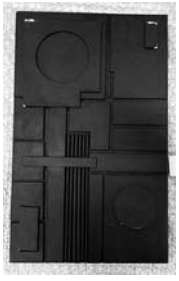


47
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　30.2×19.9
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0152

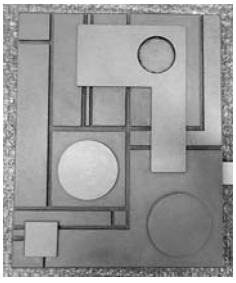


48
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　22.6×16.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0153

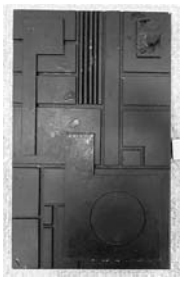
49
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　30.0×18.4
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0154



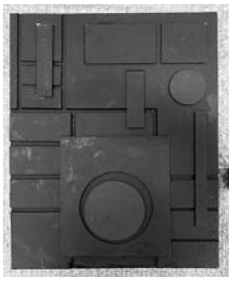
50
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27.2×22.0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0155



51
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　30.0×18.4
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0156

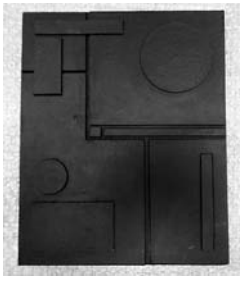


52
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0157

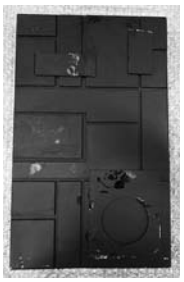


53
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0158

54
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0159

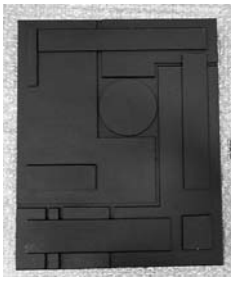


55
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　30. 0×18. 4
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0160



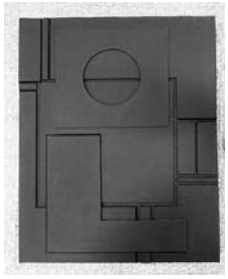
56
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0161

57
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0162

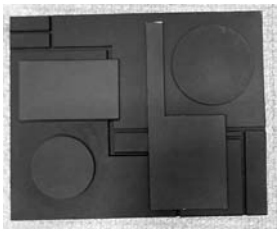


58
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0163

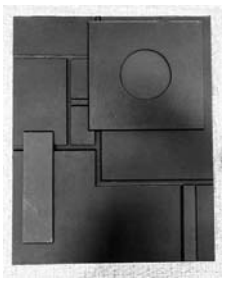
59
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0164



60
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　22. 0×27. 2
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0165

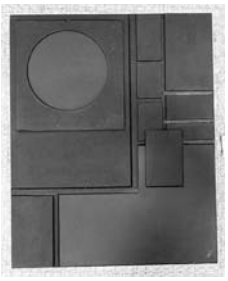


61
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0166

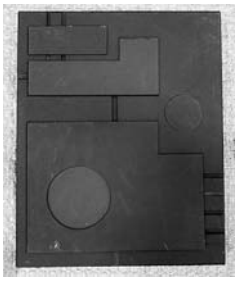


62
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0167

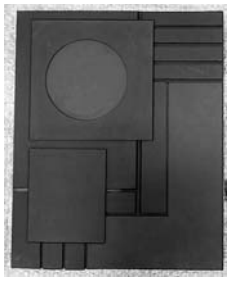
63
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0168



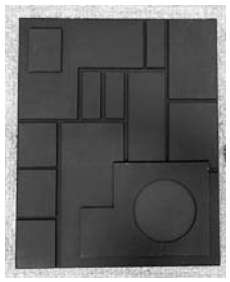
64
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0169



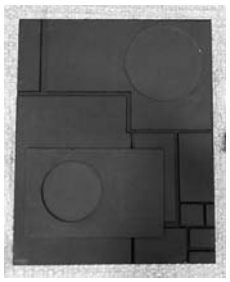
65
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0170



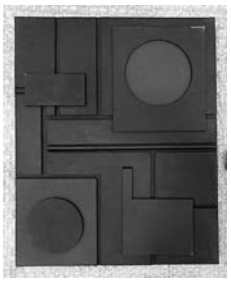
66
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0171



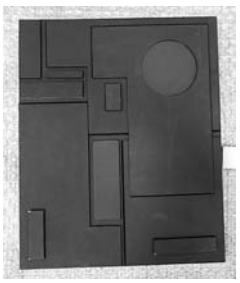
67
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0172



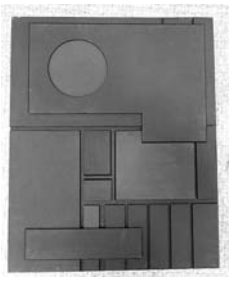
68
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0173



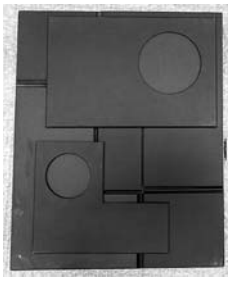
69
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0174



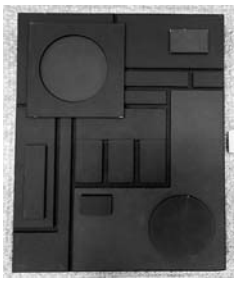
70
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0175



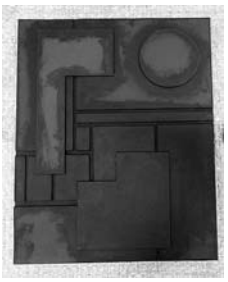
71
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0176



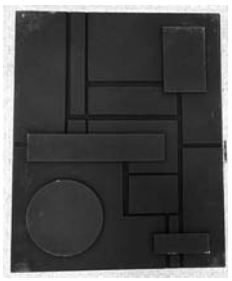
72
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0177



73
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0178



74
前田齊
MAEDA Hitoshi
Chocolate City
制作年不詳
ミクストメディア　27. 2×22. 0
寄贈　前田昭子氏　A2ニ0179



2）新収蔵図書

（冊）

	購入	寄贈	計
和書	71	289	360
洋書	23	25	48
逐次刊行物	198	392	590
展覧会図録	19	500	519
視聴覚資料（DVD 等）	0	14	14
計	311	1,220	1,531

（年報・紀要は逐次刊行物の中に含む）

7．保存・修復事業

1）作品修復

絵画作品修復・額縁調整

委託先：たけのした工房（長崎県）

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A2イ1186	池野巌	荷車	1	絵具層の亀裂、剥離、欠損部分の固着強化 画面の汚損除去 額のガラスを低反射アクリル板に交換 額の裏蓋の設置、吊金具の交換
2	A2イ1193	池野清	枯野	1	黄変したワニス層の除去 絵具層欠損部分の充填、整形、補彩 ワニス塗布 額のガラスを低反射アクリル板に交換 額の裏蓋をベニヤからポリカーボネート板に交換 吊金具の設置
3	A2イ0335	辻利平	松浦	1	絵具層の亀裂、剥離部分の固着強化
4	A2イ0235	小林敏夫	街で（巴里）	1	絵具層の亀裂、剥離部分の固着強化
5	A2イ1169	山本森之助	画家とモデル	1	支持体と旧木枠の分離 裏面の汚損除去と殺菌 ストリップライニング 楔付新調木枠への張り込み 額のガラスを低反射アクリル板に交換 額の裏蓋の設置、吊金具の交換
6	A2イ1168	山本森之助	浅間山	1	黄変したワニス層の除去 絵具層の欠損部分の固着強化 絵具層欠損部分の充填、整形、補彩 楔の設置と張力調整 ワニス塗布 側辺の錆びた釘をステンレス釘に交換 額のガラスを低反射アクリル板に交換 木枠に貼られたラベルの処置（木枠からの分離、裏打ち、木枠への貼り戻し） 額の裏蓋をベニヤからポリカーボネート板に交換 吊金具の設置
7	A2イ1031	鴨居玲	蛾	1	額の欠損部分への充填、整形、補彩
8	A2イ0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ	1	額の欠損部分への充填、整形、補彩
9	A2イ1177	野見山暁治	部屋に入ってきた雲	1	絵具層の亀裂、剥離、欠損部分の固着強化 絵具層欠損部分の充填、整形、補彩
10	A2イ0141	山本森之助	凍れる華厳	1	額の欠損部分への充填、整形、補彩
11	A2イ0589	バレンティン・デ・スビアウレ	バスクの村人	1	絵具層の亀裂、剥離、欠損部分の固着強化 額の裏蓋設置

2）額装関係

マット装

委託先：たけのした工房（長崎県）

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A2ro0620	ホセ・グティエレス・ソラーナ	怪しげな仮面	1	マット装
2	A3ro0499	池野巌	網場風景	1	マット装
3	A3ro0500	池野巌	春雪	1	マット装
4	A2ro0622	池野巌	孤魚	1	マット装
	A3ro0498	池野巌	佐多稲子『樹影』表紙絵原画	1	マット装
	A2ro0621	池野巌	大浦運上所横丁	1	マット装
	A3i0208	田川憲	坂本町 異人墓地	1	マット装
	A3i0209	田川憲	めがね橋早春譜	1	マット装
	A3i0207	田川憲	人間の丘	1	マット装
	Hi0659	奈良原一高	沈黙の園『王国』、壁の中『王国』	8	マット装
	A3i0011	田川憲	ピナテールと出島	1	マット装
	A2ro0629	原覚	雨季	1	マット装

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
4	A2ro0630	原覚	遠雷	1	マット装
	A2ro0631	原覚	国東晩秋	1	マット装
	A2ro0618	渡辺［宮崎］与平	鵜	1	マット装
	A2ro0619	渡辺［宮崎］与平	鼠	1	マット装
	A3i0100	ホセ・エルナンデス	ミノタウロス	11	マット装
	A3ni0133	アントニオ・ベラスケス画、フアン・アントニオ・サルバドール・カルモナ版刻	聖プラス	1	マット装
	A3ni0144	アントニオ・パロミーノ画、フアン・ベルナベ・パロミーノ版刻	キリスト磔刑図	1	マット装
	A3ni0256	フアン・アントニオ・サルバドール・カルモナ	受胎告知	1	マット装
	A3ro0502	橋本興家	静A（長崎）	1	マット装
	A3ro0503	橋本興家	静B（長崎）	1	マット装
	A3ro0504	橋本興家	ある幻想（長崎連作の内）	1	マット装
	A3ro0505	松崎卯一	龍舌蘭のある風景	1	マット装
	寄託作品	桃島勝一	一式	16	マット装

3）額の作成

	種類	サイズ	点数
1	ゴヤ版画集『戦争の惨禍』用 塗装（黒）	額外寸　42.1×55.0cm	20

4）虫害環境調査

委託先：たけのした工房（長崎県）

期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
内容	毎月末にモニタリング用トラップの設置及び回収、昆虫数の集計、昆虫の同定、調査報告書の作成
調査結果	夏季をピークとして昆虫の館内への侵入が確認された。なかでもシミ類に対しては収蔵庫を含めた館内各所に害虫駆除剤ムシクリン（MC）を塗布し対策を実施。この作業に伴い、通常の清掃に加えて、当館職員による館内各所の清掃も行った。

5）脱酸性化処理

図書資料の脱酸性化処理と簡易補修

委託先：丸善雄松堂株式会社九州支店（福岡県）

委託業務履行：キハラ・プリザベーション株式会社（埼玉県）

番号	登録番号	著者・編者	書名	出版社	出版年	作業内容
1	7711	美術工藝會	文部省第二回美術展覧会図帖	美術工藝會	1909年	綴じ直し・表紙、裏表紙繕い・綴じ紐新調
2	5404	文部省	文部省第八回美術展覽會圖録日本画之部	文部省	1914年	ホチキス除去・綴じ直し・角切れ補強・綴じ紐はオリジナルを使用
3	5405	文部省	文部省第八回美術展覽會圖録西洋畫及彫刻之部	文部省	1914年	ホチキス除去・綴じ直し・表紙、裏表紙繕い・綴じ紐はオリジナルを使用
4	7616	文部省	文部省第拾回美術展覽會圖録西洋画及彫刻之部	審美書院	1916年	綴じ金具除去・綴じ直し・綴じ紐はオリジナルを使用
5	5413	文部省	文部省第十一回美術展覽會圖録西洋畫及彫刻之部	文部省	1917年	綴じ金具除去・綴じ直し・フラットニング・角切れ補強・綴じ紐はオリジナルを使用
6	7620	文部省	文部省第十二回美術展覽會圖録西洋画及彫刻之部	審美書院	1918年	綴じ金具除去・綴じ直し・フラットニング・角切れ補強・綴じ紐はオリジナルを使用
7	5408	文部省	帝国美術院第二回美術展覧会図録西洋画及彫刻之部	審美書院	1920年	綴じ金具除去・綴じ直し・表紙、裏表紙繕い・角切れ補強・綴じ紐はオリジナルを使用
8	5406	文部省	帝国美術院第三回美術展覧会図録西洋画及彫刻之部	審美書院	1921年	綴じ金具除去・綴じ直し・角切れ補強・綴じ紐はオリジナルを使用

8．作品貸出記録

⑴「マヌエル・フランケロ―モノの言語」（1点）
広島市立大学芸術資料館：令和5年6月1日㈭～6月21日㈬
マヌエル・フランケロ《無題》2007-08年、A2ロ0512

⑵「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」（35点）
国立西洋美術館：令和5年7月4日㈫～9月3日㈰
アンヘル・リスカーノ《自由（『ドン・キホーテ』より）》A2イ0621
アンヘル・リスカーノ《エル・トボソのドゥルシネーア（『ドン・キホーテ』より）》A2イ0622
アンヘル・リスカーノ《ドン・キホーテとライオン（『ドン・キホーテ』より）》A2イ0620
アンヘル・リスカーノ《自分の島を治めるサンチョ・パンサ（『ドン・キホーテ』より）》A2イ0623
サルバドール・ダリ《ドゥルシネア姫の出現》1957年、A3ロ0092-026
サルバドール・ダリ《夜のドン・キホーテの夢想》1957年、A3ロ0092-030
サルバドール・ダリ《部屋で読書するドン・キホーテ》1957年、A3ロ0092-032
サルバドール・ダリ《風車への攻撃》1957年、A3ロ0092-027
サルバドール・ダリ《黄金時代》1957年、A3ロ0092-022
パブロ・ゴンサルボ・イ・ペレス《トレド､アルカンタラ橋》1848-54年、A2イ0480
フランシスコ・デ・ゴヤ《暗い背景のマハ》1824-28年頃、A3イ0084-001
フランシスコ・デ・ゴヤ《盲目の歌人》1824-28年頃、A3イ0039
フランシスコ・デ・ゴヤ《雄牛の角で持ち上げられた盲人／神の報いがあろう、野蛮な遊び》1804年以前（1867年）、A3イ0083
アントニオ・サウラ《無題（サウロマシー）》1990年、A2ニ0078
アントニオ・サウラ《無題（サウロマシー）》1990-91年、A2ニ0076
アントニオ・サウラ《無題》1991年、A2ニ0077
アントニオ・サウラ《無題（サウロマシー）》1991年、A2ニ0079
リカルド・バローハ《郊外の二人（連作『スペインの情景』より）》1907年、A3イ0071
リカルド・バローハ《教理問答（連作『スペインの情景』より）》1906年頃、A3イ0072
リカルド・バローハ《仮装行列》1928-31年、A3イ0054
リカルド・バローハ《メモリア門》1912年、A2イ0554
リカルド・バローハ《道の下》1937年、A2イ0555
ホセ・グティエレス・ソラーナ『エスパーニャ・ネグラ（黒きスペイン）』（書籍・図書資料）1920年
ホセ・グティエレス・ソラーナ《腕を組んで踊る仮面たち》1932-33年頃（1943年以前）、A3イ0038
ホセ・グティエレス・ソラーナ《怪しげな仮面》1925年頃、A2ロ0620
ホセ・グティエレス・ソラーナ《アスファルト作業員》1930年、A2イ0477
ホセ・エルナンデス《黒の葛藤》1973年、A3イ0086
ホセ・エルナンデス《静物―オマージュ》1990年、A3イ0102
ホセ・エルナンデス《バカナル3》1975年、A3イ0089-03
ホセ・エルナンデス《バカナル4》1975年、A3イ0089-04
ホセ・エルナンデス《植物的人物》1973年、A3イ0088
フアン・ヘノベス《無題》1970年、A3ロ0086
アントニ・クラベ《手袋のアッサンブラージュ》1976年、A3イ0075
アントニ・タピエス《アンフォルメル》1987年、A3ロ0087
エドゥアルド・チリーダ《開く》1972年、A3イ0077

⑶「あそび、たたかうアーティスト池田龍雄」（18点）
佐賀県立美術館：令和5年9月6日㈬～10月29日㈰
池田龍雄《島尾敏雄著『月下の渦潮』挿絵（17点）》1980年、A2ニ0045
島尾敏雄『月下の渦潮』（書籍・図書資料）1点

⑷「シーボルト来日200周年記念 大シーボルト展」（1点）
長崎歴史文化博物館：令和5年9月30日㈯～11月12日㈰
富永直樹《若き日のシーボルト》1979年、Bハ0041

⑸「芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱石、菅虎雄」（1点）
神奈川県立近代美術館　葉山：令和6年2月10日㈯～4月7日㈰
永見徳太郎《長崎港》大正時代、A2イ0245

⑹長崎県庁舎知事室での展示（3点）
長崎県庁舎知事室：令和6年3月31日㈰まで
堀田清治《新緑の長崎（川端通り）》1968年、A2イ035
辻利平《マジョリカの花器》1986年、A2イ383
村岡平蔵《長崎の家》1953年、A2イ061

⑺長崎県庁舎行政棟8階展望室での展示（1点）
長崎県庁舎行政棟8階展望室：令和6年3月31日㈰まで
富永直樹《華麗なる王女》1977年、Bハ0060

⑻長崎県庁舎秘書課所管会議室での展示（3点）
長崎県庁秘書課所管会議室：令和6年3月31日㈰まで
辻利平《教会のある丘》1979年、A2イ0336
辻利平《津崎瀬戸》1983年、A2イ0340
萩原輝夫《マリア園あたり》1987年、A2イ0353

⑼長崎県庁舎議会事務局所管会議室での展示（５点）

長崎県庁舎議会事務局所管会議室：令和６年３月31日㈰まで

辻利平《島原風景》1984年、A2イ0384
辻利平《漁港好日》1981年、A2イ0338
大塚伊次《東山手風景》1972年、A2イ0199
中山武之《残照九十九島》1985年、A2イ0297
納富進《長崎の天主堂（出津）》1973年、A2イ0190

⑽長崎県庁舎パブリックスペースでの展示（２点）

長崎県庁舎２階協働エリア、屋上スロープ前：令和６年３月31日㈰まで

富永直樹《クリスマス・イブ》1989年、Bハ0053
富永直樹《若き日のシーボルト》1979年、Bハ0017

⑾長崎県庁舎議会棟議長来客用控室での展示（３点）

長崎県庁舎議会事務局所管会議室：令和５年11月25日㈯から３月31日㈰まで

笹岡了一《長崎の教会》1967年、A2イ0023
林鶴雄《雲仙ゴルフ場の見ゆる景》1960年、A2イ0051
楢原健三《グラバー邸》1967年、A2イ0022

9．調査・研究事業

1）研究活動

当館職員による研究活動。

稲葉友汰

●展覧会の企画・構成
- 「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」
- 「世界遺産登録５周年記念展：祈りのありか」
- 「ホセ・エルナンデス―闘牛の黙する音楽」
- 「長崎県美術館名品展　移動美術館 IN 小値賀町」

●執筆等
- 『スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた』（展覧会図録／編集、執筆）国立西洋美術館
  論考「ゴヤ：飛翔する「奇想と創意」－スペインからフランスへ」
  論考「世紀転換期のバルセロナ－都市と芸術の新たな関係性」
  論考「エスパーニャ・ネグラ－もう一つのスペイン」
  作品解説（54点分）
- 『Imaged and Imagined: Spain Seen through Prints from Japanese Collections』（展覧会図録英語版／編集、執筆）Centro de Estudios Europa Hispánica, The National Museum of Western Art, Tokyo
  論考「Flight of "Fantasy and Invention" from Spain to France」（英訳：Cheryl Silverman）
  論考「Turn of the Century Barcelona: New City and Art Interactions」（英訳：Cheryl Silverman）
  論考「España negra: Another Spain」（英訳：Jean Lin）
- エッセイ「"井川惺亮 Peinture　折り鶴幾何学と共に"展に思いを馳せて」『RING ART 活動記録集2023 Vol. 15』RING ART
- エッセイ「津上みゆき－めぐりくる時と風景にまなざしをひたす」『現代の視点シリーズ　Art　Calendar2024　津上みゆき』光村印刷株式会社
- 連載エッセイ「芸術ウェーブ」『長崎新聞』令和５年５月～（奇数月第一日曜日掲載）
- 「ホセ・グティエレス・ソラーナ《腕を組んで踊る仮面たち》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年４月２日掲載
- 「フアン・パントーハ・デ・ラ・クルス《フエンテス伯爵の肖像》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年７月２日掲載
- 「トラルバの画家《洗礼者聖ヨハネ》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年10月１日掲載
- 「リカルド・バローハ《レコレートス通り》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年12月３日掲載
- 「作者不詳（カスティーリャ派）《聖母の嘆き（ピエタ）》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和６年３月３日掲載

●講演・発表
- 「黒きスペイン（エスパーニャ・ネグラ）：ゴヤからソラーナへ」（コレクション・イン・フォーカス第２回）令和５年５月27日
- 「井川惺亮　Peinture　折り鶴幾何学と共に」展（ナガサキピースミュージアム）トークイベント登壇（作家との対談形式）令和５年６月24日
- 研究発表「「エスパーニャ・ネグラ」にみる芸術家の系譜：ゴヤからソラーナへ」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会2023年度夏期研究会、令和５年８月５日、上智大学
- 「津上みゆきと「風景」」（コレクション・イン・フォーカス第４回）令和５年９月３日

●審査等
- 令和５年度南島原市アーティスト・イン・レジデンス事業：審査委員

●出講等
- 長崎外国語大学「芸術論 I」（前期５コマ：令和５年５月16、27、30日、６月６日）※５月27日に２コマ実施

川口佳子

●展覧会の企画・構成

・「永田玄 タイ古陶の美」展

・「長崎ゆかりの染織作家たち」展

●執筆等

・『永田玄 タイ古陶の美』展覧会図録（編集・展覧会ノート、章解説等の執筆）

・「中山文孝『長崎港の図』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和５年６月４日

・「清水久和『鏡の髪型』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和５年９月３日

・「中里三猿『染付浮上鶴鳴図花筒』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和５年11月５日

・「堀口正子『桜花紋絞り昼夜帯』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和６年２月４日

・「長崎県美術館　港の風景を育むリビングルーム」（ぷらっとミュージアム！43 美術館建築の表裏）『新美術新聞』No. 1650、令和６年３月１日

●講演等

・「長崎ゆかりの染織作家たち」（コレクション・イン・フォーカス第７回）令和６年３月17日

●出講等

・長崎純心大学「博物館展示論」（集中講義／７コマ／令和５年６月３日）

・長崎外国語大学「芸術論Ⅰ」（集中講義／５コマ／令和５年７月４日、11日、18日、22日

古賀恭子

●審査等

・令和５年度長崎県高等学校総合文化祭（美術部門）「現代アート部門（映像）」１次審査：審査委員

●出講等

・令和５年度長崎県高等学校総合文化祭（美術部門）「現代アート部門（映像）」講評会　令和５年10月28日

福満葉子

●展覧会の企画・構成

・「新収蔵―池野清と池野巖」展

・「長崎県美術館名品展　移動美術館 IN 波佐見町」

●執筆等

・『「新収蔵―池野清と池野巖」』（リーフレット）

・「横手貞美『ガラージュ』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和５年５月７日

・「池野巖『枯紫陽花』『酷』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和５年８月６日

・「絵画は証する　被爆地の洋画家　池野清・巖」『美術の窓』９月号（No. 480）、78－79頁

・「田川憲『原城址』（紙上美術館～県美術館コレクション～）」『長崎新聞』令和６年２月４日

●講演等

・「池野巖の新収蔵作品」（コレクション・イン・フォーカス第３回）令和５年８月６日

●出講等

・長崎純心大学「博物館展示論」（集中講義／７コマ／令和５年５月20日、６月24日）

堀越蒔李子

●執筆等

・「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」配付資料「版画技法解説」

・「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」セルフガイド「おさんぽミュージアムスペインのイメージ展 ver.」

・山口百合子、堀越蒔李子『長崎県美術館2023　先生のための鑑賞教育×平和教育プラットフォーム「PEACE」』（ガイドブックおよびリーフレット／企画・構成、編集、執筆）学校と共創する美術で学ぶ平和教育実行委員会、令和６年２月25日発行

●出講等

・「第55回日本医学教育学会大会」内「ワークショップ 13」：共同ファシリテーター、令和５年７月28日

松久保修平

●展覧会の企画・構成

・「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」

・「森永純―写真の中の事実」

●執筆等

・「彭城貞徳《花づくし》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年５月７日掲載

・「長崎の「大」文化人・永見徳太郎をめぐる旅　第３回　コレクターとしての情熱」『ながさき経済』No. 750（夏号／2023）、長崎経済研究所、令和５年６月

・「中西利男《長崎にて（東山手）》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年７月２日掲載

・「長崎の「大」文化人・永見徳太郎をめぐる旅　第４回　つながり、つなぐ媒介者」『ながさき経済』No. 751（秋号／2023）、長崎経済研究所、令和５年９月

・「永見徳太郎《朝のヒマラヤ》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年10月１日掲載

・『浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代』（展覧会図録／執筆・編集）
論考「永見徳太郎の文化的諸相―あるいは、一人の「文化人」と長崎の近代」
コラム「永見と南蛮屏風」「恋の勇者―まぼろしの創作集」「「我鬼」と「夏汀」―二人の国王」「「西海旅日記」と永見邸」「昭和期における交友：「アーティスト達の一瞬間」」「食道楽・永見徳太郎」
章解説（プロローグ、第１章～第３章、エピローグ）
作品解説（76点）
資料編「永見コレクションのためのノート（永見コレクション出品・掲載記録抜書）」「永見徳太郎年譜」「永見徳太郎自筆・談話　書誌」「主要参考文献一覧」「作品リスト」

・「「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」㊤収集と交流」『長崎新聞』令和５年10月20日掲載

・「「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」㊦「長崎」を発信」『長崎新聞』令和５年11月10日掲載

・「荒木十畝《鳳凰》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和５年12月３日掲載

・「「我鬼国王」からの書状　永見徳太郎と芥川龍之介」『樂』第62号、イーズワークス、令和５年12月

・「森永純《河／「河―累影」より》」「紙上美術館～県美コレクション～」『長崎新聞』令和６年３月３日掲載

●講演等

・「長崎が生んだ文化人・永見徳太郎の全貌」（「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」展関連企画）令和５年10月14日

・「永見徳太郎と長崎の近代」（コレクション・イン・フォーカス第５回）令和５年11月19日

・「森永純の仕事」（コレクション・イン・フォーカス第６回）令和６年２月４日

森園敦

●展覧会の企画・構成

・「鴨居玲のスペイン時代 ―スペイン・バロックの巨匠ジュゼペ・デ・リベーラの作品とともに」

・「東松照明と長崎」

●執筆等

・「鴨居玲のスペイン時代」（展覧会リーフレット）

・『浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代』（展覧会図録）作品解説５点

・「椛島勝一　単行本『絵ものがたり正ちゃんのぼうけん(2)』表紙絵原画」「紙上美術館～県美コレクション」『長崎新聞』令和５年４月２日

・「奈良原一高　沈黙の園『王国』より」「紙上美術館～県美コレクション」『長崎新聞』令和５年９月３日

・「渡辺与平《枯木寒鴉図》」「紙上美術館～県美コレクション」『長崎新聞』令和５年11月５日

●講演等

・コレクション・イン・フォーカス第１回「鴨居玲はスペインで何を見たか」令和５年４月16日(日)

・「諫早出身の挿絵画家　椛島勝一」令和５年11月４日(土) 県立長崎図書館郷土資料センター

●出講等

・長崎純心大学「博物館展示論」（集中講義／４コマ）令和５年６月１日

●その他

・科研費・基盤研究（A）（研究代表者：長田年弘・筑波大学教授）「パルテノン彫刻研究－神殿装飾と祭祀における同族神話の構築」（2023-６年度）に協力者として参加

守屋聡

●審査等

・「島原・天草・長島架橋構想絵画コンテスト」審査：審査委員
・長崎県「食品ロス削減ポスターコンテスト」審査：審査委員
・「交通安全啓発図画コンクール」選考委員会：審査委員
・第35回長崎県まちづくりの絵コンクール審査会：審査委員

●出講等

・長崎純心大学「博物館教育論」（前期／15コマ）令和５年４月12日～８月２日

山口百合子

●執筆等

・「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」ガイドブック「永見手帖」
・山口百合子、堀越蒔李子『長崎県美術館2023　先生のための鑑賞教育×平和教育プラットフォーム「PEACE」』（ガイドブックおよびリーフレット／企画・構成、編集、執筆）学校と共創する美術で学ぶ平和教育実行委員会、令和６年２月25日発行
・「教美アートギャラリー」第16回『教育美術』第84巻第11号、教育美術振興会、令和５年11月１日発行

●講演等

・令和５年度平和教育担当者研修会

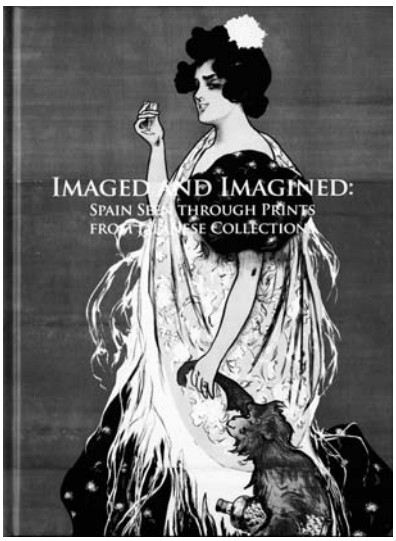
●審査等

・令和５年度「障害者週間のポスター」に係る専門審査：審査委員
・令和５年度薬物乱用防止推進ポスターの審査：審査委員
・令和５年度明るい選挙啓発ポスター県審査会：審査委員
・第69回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」特別賞審査会：特別賞審査員
・第17回南島原市北村西望賞教育美術展の審査：審査委員
・Ｇ７長崎保健大臣会合開催記念　ウェルカムフラッグ絵画の選定に係る専門審査：審査委員

2）刊行物一覧

［展覧会図録等］

1



スペインのイメージ：
版画を通じて写し伝わるすがた
Imaged and Imagined:
Spain Seen through Prints from Japanese Collections

謝辞｜Acknowledgements
ごあいさつ
目次

スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた　序文
川瀬佑介

１章
黄金世紀への照射：ドン・キホーテとベラスケス
REFLECTING ON TRADITION
１－１｜ドン・キホーテ
セルバンテス著『ドン・キホーテ』の変転するイメージ
パトリック・レナガン
１－２｜ベラスケス
ベラスケスの印象――自然と高貴さ、知性と魔術
アリーサ・ラクセンバーグ
２章
スペインの「発見」
THE “DISCOVERY” OF SPAIN
２－１｜旅行者の見たスペイン
「文明」から遠ざかって：オリエントと過去をめぐる旅
マリア・デ・ロス・サントス・ガルシア・フェルゲーラ
２－２｜人物タイプ
マハとジプシー：異国スペインの女たち
川瀬佑介
２－３｜ゴヤの影響：ドラクロワ、マネ
ゴヤ：飛翔する「奇想と創意」――スペインからフランスへ
稲葉友汰
３章
闘牛、生と死の祭典
BULLFIGHT, FESTIVAL OF LIFE AND DEATH
闘牛とその表象――生と死の閾
木下亮
４章
19世紀カタルーニャにおける革新
CATALONIA AND THE MODERNITY
IN THE NINETEENTH

4－1｜マリアーノ・フォルトゥーニ
マリアーノ・フォルトゥーニの版画制作
川瀬佑介
4－2｜バルセロナからパリへ：世紀末の光と影
世紀転換期のバルセロナ――都市と芸術の新たな関係性
稲葉友汰
5章
ゴヤを超えて：20世紀スペイン美術の水脈を探る
BEYOND GOYA : FINDING THE UNDERCURRENTS OF
20TH−CENTURY SPANISH ART
5－1｜エスパーニャ・ネグラ
エスパーニャ・ネグラ――もう一つのスペイン
稲葉友汰
5－2｜叫びと抵抗：20世紀スペインにおける政治と美術
社会状況に強いられる時代：スペイン内戦とフランコ独裁政権下の芸術と政治
イサーク・アイト・モレーノ
稲葉友汰
6章
日本とスペイン：20世紀スペイン版画の受容
JAPAN'S RECEPTION OF SPANISH MODERN PRINT
20世紀の日本に流入したスペインの同時代美術――版画を中心に
松田健児／リカル・ブル

コラム｜1
19世紀フランスの挿絵入り定期刊行物に見るスペイン：舞台、建築、美術
川瀬佑介

コラム｜2
19世紀舞踊史におけるスペイン：ロマンティック・バレエとスペイン国民舞踊
設楽（小山）聡子

コラム｜3 カタルーニャ現代版画と山梨　その記憶と断片
向山富士雄

カタログ｜Catalogue
作家解説
参考文献

責任編集：川瀬佑介
編　集：稲葉友汰
中田明日佳
編集補佐：長尾順子
吉井慎一郎
執　筆：イサーク・アイト・モレーノ（東京大学准教授）
稲葉友汰
川瀬佑介
木下亮（昭和女子大学特任教授）
久保田有寿（国立西洋美術館特定研究員）

坂本龍太（三重県立美術館学芸員）
佐藤紗良（日本学術振興会特別研究員 PD［東京大学］）
設楽（小山）聡子（慶應義塾大学非常勤講師）
リカル・ブル（バルセロナ自治大学教授）
増田哲子（北海道大学准教授）
松田健児（慶應義塾大学教授）
山田のぞみ（札幌芸術の森美術館学芸員）
山枡あおい（国立西洋美術館研究員）
アリーサ・ラクセンバーグ（ジョージア大学［アメリカ］名誉教授）
パトリック・レナガン
（ヒスパニック・ソサエティ・オブ・アメリカ版画素描担当主任学芸員兼彫刻担当学芸員）
翻　訳：
西文和訳：
川瀬佑介
楠根圭子（武蔵野美術大学非常勤講師）
久米順子（東京外国語大学准教授）
坂本龍太
英文和訳：
浅野菜緒子（国立西洋美術館特定研究員）
松原典子（上智大学教授）
和文英訳：
マーサ・マクリントク
デザイン：馬面俊之
編集協力・制作：インターパブリカ
西山哲
藤沼優子
印　刷：光村印刷株式会社
川﨑智徳（プリンティング・ディレクター）
和田良子
発　行：国立西洋美術館
27×20cm、307ページ、ハードカバー、3,100円

2

浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代

A Romantic Shaft of Light Nagami Tokutaro and Modern Nagasaki

はじめに

永見徳太郎の文化的諸相　―あるいは、一人の「文化人」と長崎の近代
松久保修平

「南蛮病」永見徳太郎と「南蛮狂」池長孟
塚原晃

プロローグ　銅座の殿様―永見徳太郎
第一章　あつめる―「南蛮美術」の大コレクター
永見と南蛮屏風
第二章　つくる―アーティスト・永見夏汀
恋の勇者―まぼろしの創作集
第三章　つなげる―芸術家たちとの交流
「我鬼」と「夏汀」―二人の国王
「西海旅日記」と永見邸
昭和期における交友：「アーティスト達の一瞬間」
エピローグ　かたる―長崎の「伝道者」
食道楽・永見徳太郎

資料編
永見コレクションのためのノート
永見徳太郎年譜
永見徳太郎自筆・談話　書誌
主要参考文献一覧
作品リスト

編著者：長崎県美術館
展覧会企画・構成：松久保修平（長崎県美術館）
執　筆：塚原晃（神戸市立博物館）
　　松久保修平
　　森園敦（長崎県美術館）
デザイン：尾中俊介（Calamari Inc.）
発　行　人：片山仁志
発行所・編集制作：株式会社長崎文献社
印　刷：日本紙工印刷株式会社
26×19cm、217ページ、ソフトカバー、2,970円

3

永田玄の眼　タイ古陶の美

The Eye of Nagata Gen: The Beauty of Old Thai Ceramics

目次　Contents
はじめに　Preface
蒐集家の独白／永田玄　Collector's Monologue / Nagata Gen
ランナータイ王国の焼きもの／矢島律子　Lanna Kingdom Ceramics / Yajima Ritsuko
展覧会ノート／川口佳子　Exhibition Note / Kawaguchi Yoshiko
図版　Plates
出品リスト　List of Works
主要参考文献　Selected Bibliography
フォトクレジット　Photo Credits

発行日：令和５年10月27日
執　筆：永田玄
　　矢島律子（鶴見大学教授）
　　川口佳子（長崎県美術館学芸員）
翻　訳：クリストファー・スティヴンズ
アートディレクション：岡本一宣
デザイン：小泉桜
　　久保田真衣（o.i.g.d.c）
印　刷：図書印刷株式会社
編集・発行：長崎県美術館
30×21cm、ソフトカバー、2,420円

4

鴨居玲のスペイン時代

―スペイン・バロックの巨匠ジュゼペ・デ・リベーラの作品とともに

Rey Camoi's Spanish Period: with the Work of the Baroque Master Jusepe de Ribera

はじめに
１．バルデペーニャスでの制作
２．プラド美術館における巨匠たちとの出会い
おわりに

編　集：長崎県美術館
テキスト：森園　敦（長崎県美術館学芸員）
デザイン：今井千恵子（ロンディーネ）
制　作：コギト
発　行：国立アーチリサーチセンター
30×21cm、リーフレット

5

新収蔵―池野清と池野巖

New Acquisitions: Kiyoshi Ikeno and Iwao Ikeno

新収蔵――池野清と池野巖
New Acquisitions: Kiyoshi Ikeno and Iwao Ikeno
長崎県美術館

出品作品目録
主要参考文献

執　筆：福満葉子（長崎県美術館）
発　行：長崎県美術館
発行日：令和５年６月14日
Text:Yoko Fukumitsu, Nagasaki Prefectural Art Museum
Published by : Nagasaki Prefectural Art Museum
Date of Publication : 14 June 2023
30×21cm、リーフレット、非売品

［教育普及・生涯学習事業記録集］

6

長崎県美術館2023
先生のための鑑賞教育×平和教育プラットフォーム「PEACE」ガイドブック

Peace Education through Art Content Explorer

ごあいさつ
プロジェクト概要
・平和教育に資する鑑賞教育
・プロジェクトのあゆみ

先生のための鑑賞教育×平和教育プラットフォーム「PEACE」できました！
・「PEACE」コンテンツ紹介
・授業案と鑑賞ツール、使ってみました！

「PEACE」のあれこれ―「PEACE」開発者と鑑賞ツール利用者による座談会
・「座談会を終えて」山岸利次（長崎大学人文社会科学域教育学系　准教授）

編集後記

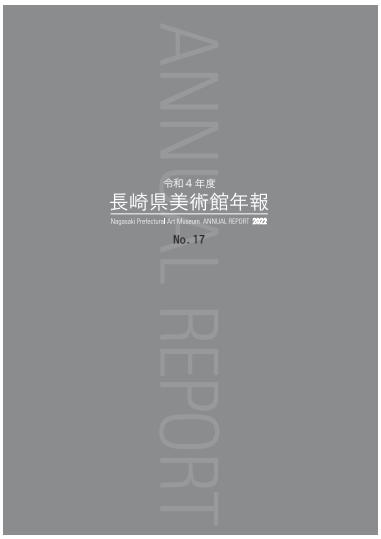
企画・編集：長崎県美術館　教育普及・生涯学習（山口百合子、堀越蒔李子）
デザイン：古庄悠泰、古庄結（景色デザイン室）
印　刷：株式会社インテックス
発　行：学校と共創する美術で学ぶ平和教育実行委員会
発行日：令和６年２月25日
30×21cm、パンフレット、非売品

［その他］

7

令和 4 年度長崎県美術館年報 No. 17

Nagasaki Prefectural Art Museum Annual Report 2022



目次

1．沿革・主な出来事
　1）沿革・主な出来事
　2）会議
　3）特記事項
2．利用者数一覧
3．展覧会事業
　1）企画展
　2）コレクション展
4．教育普及・生涯学習事業
　1）展覧会関連企画
　2）こどもアートクラブ
　3）移動美術館
　4）みんなのアトリエ
　5）学校との連携
　6）海外との教育普及連携
　7）鑑賞ツールの開発
　8）ブログ「アトリエ便り」
5．助成金等による事業
6．収集事業
　1）新収蔵作品
　2）新収蔵図書
7．保存・修復事業
　1）作品修復
　2）額装関係
　3）額の作成
　4）虫害環境調査
　5）脱酸性化処理
8．作品貸出記録
9．調査・研究事業
　1）研究活動
　2）刊行物一覧
10．アートボランティア事業
　1）登録人数
　2）活動内容
　3）活動実績
11．広報マーケティング事業
　1）主要広報記録
　2）広報印刷物
　3）ホームページ
　4）アートビジョン

5）会員事業
6）入館者アンケート
7）研修事業
12. イベント等
1）主催・共催イベント
2）主催以外のイベント
13. 貸施設事業
1）県民ギャラリー
2）ホール等
3）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
中止になった貸施設事業
14. ショップ、カフェ
1）ショップ事業
2）カフェ事業
15. 収支
16. 組織
1）組織
2）諮問機関
17. 建築概要
18. 基本理念
19. 関係法規

編集・発行：長崎県美術館（公益財団法人　長崎ミュージアム振興財団）
印　刷：株式会社昭和堂
Ａ４判、178ページ、ソフトカバー、非売品

10. アートボランティア事業

1）登録人数（令和5年4月1日時点）

男	7人	9%
女	68人	91%
合計	75人	100%

2）活動内容

名　称	内　容
図　書	・図書登録作業 ・書庫資料整理 ・情報コーナー活動＊
学　芸	・コレクション展などの作品解説 ・新聞記事スクラップ
運　営	・イベント・コンサート補助＊ ・館内美化活動＊
広　報	・チラシポスター発送作業 ・資料整理、新聞切り抜き ・ボランティア通信作成
教　育	・教育普及・生涯学習事業補助（スクールプログラム、ワークショップ、こどもアートクラブなど） ・アトリエ整備
共　通	・バナーバッグ製作・チャリティー販売会 ・ポスター掲示・配布

＊他分野からの参加可能

3）活動実績

年間活動者延べ数：1,012人

開催時期	内　容
4月1日(土)	ボランティア通信 vol.30発行
6月～10月	バナーバッグ製作
10月15日(日)	アートボランティア・アートコミュニケーター募集開始
10月21日(土)	バナーバッグチャリティー販売会
10月1日(日)	ボランティア通信 vol.31発行
3月26日(日)	ボランティア修了式

①バナーバッグ製作・チャリティー販売会

使用済みの展覧会バナーを利用して当館のアートボランティアがバッグを製作・販売した。売上金はウクライナの博物館と文化遺産の保全・復旧の支援を目的にICOM（国際博物館会議）へ全額寄付した。

【製作・準備】
活動回数：15回（販売日も含む）
制作個数：510個（内ピカソ展関係者寄贈２個、清掃・受付スタッフ用４個）
活動者数：延べ57人
【販売会】
日時：①10月21日㈯　10：30〜15：00
　　②11月４日㈯　10：30〜15：00
会場：①アトリエ、②水辺の森公園
来場人数：244人
販売個数：496個
売上：661, 923円（内6, 323円は当日設置した募金箱への寄付）

②ボランティア修了式

令和５年度の活動の振り返りと、本年度をもって退会する方への感謝状の授与を行った。併せて当館のスクールプログラムの一環である模写＋缶バッジ作りを体験し、美術館活動に理解を深めていただくとともに、ボランティア同士の交流の機会とした。

日時：３月23日㈯　10：00〜12：00
会場：アトリエ
参加人数：26人

⑷アートボランティア、アートコミュニケーターよりよりの新規募集

アートボランティアの４期募集と、新たにアートコミュニケーターよりよりの募集を実施した。

【募集概要】
応募受付期間：令和５年10月15日㈰〜令和６年１月９日㈫
アートボランティア募集人数：35人
アートコミュニケーターよりより募集人数：20人
【活動説明会】
募集にあたりボランティア活動についての説明会を３回実施した。
①11月７日㈫　18：00〜19：30　参加人数：14人
②11月25日㈯　10：30〜12：00　参加人数：28人
③11月25日㈯　10：30〜12：00　参加人数：３人
場所：長崎県美術館アトリエ
【選考】
応募者数：アートボランティア：55人、よりより：25人（内アートボランティア併願：17人）
○１次選考：書類審査

○２次選考：面接　令和６年２月３日(土)～５日(月)
選考結果：定員を超えたが応募者は全て２次選考通過。
【研修】※令和６年度実施予定
○アートボランティア、「よりより」合同養成研修：令和６年４月～５月にかけて計６回
○「よりより」の研修：令和６年６月～11月にかけて計８回

11. 広報マーケティング事業

1）主要広報記録

⑴ テレビ・新聞（展覧会事業は除く）

放送日・発売日	種　別	媒　体	内　容
4月2日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
5月1日	テレビ	ncm「なんでんカフェ」	春のぽかぽか美術館
5月5日	新聞	読売新聞	春のぽかぽか美術館
5月7日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
6月4日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
6月7日	新聞	読売新聞	ボランティア岸川さん活動振り返り
6月19日	新聞	長崎新聞	こどもアートクラブ
7月2日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
8月6日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
9月3日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
9月8日	新聞	西日本新聞	ウィークエンドミュージアム
10月1日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
10月11日	新聞	朝日新聞	オリジナルバナーバッグ　チャリティー販売会
10月27日	新聞	西日本新聞	ワークショップ「つくって探検！カラフル双眼鏡」
11月5日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
11月24日	テレビ	NBC「Pint」	アートボランティア募集
12月1日	新聞	長崎新聞	スペイン美術講演会
12月3日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
2月4日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」
2月12日	テレビ	KTN「マルっと！」	月9ドラマロケ地紹介
2月26日	新聞	新美術新聞	館紹介
3月3日	新聞	長崎新聞	収蔵作品紹介シリーズ「紙上美術館」

⑵ 雑誌等（展覧会事業は除く）

発売日・掲載日	種　別	媒　体	内　容
4月1日	月刊誌	ながさきプレス	カフェ紹介
4月1日	ガイドブック	観光コンシェルジュ	館紹介
4月20日	ガイドブック	カラープラス長崎	館紹介
5月15日	ガイドブック	まっぷるマガジン長崎2024年版	館紹介
6月8日	ガイドブック	るるぶハウステンボス	館紹介
6月19日	ウェブサイト	casabrutus.com	館紹介
6月23日	生活情報紙	とっとって motto!	こどもアートクラブ
8月1日	フリーペーパー	ならでわ！	館紹介
8月18日	SNS	ストローカル	カフェ紹介
8月25日	生活情報紙	とっとって motto!	おとなも！こどもも！夏のわくわく美術館「波佐見焼コースターづくり」
9月初旬	ムック	パレット	館紹介
9月22日	生活情報紙	とっとって motto!	ウィークエンドミュージアム
9月27日	季刊誌	クルーズトラベラー	館紹介
9月初旬	ムック	パレット	館紹介
10月1日	フリーペーパー	Kizuna	館紹介
10月6日	ガイドブック	ココミル　長崎　ハウステンボス	館、カフェ紹介
11月1日	月刊誌	教育美術	平和学習寄稿
11月1日	月刊誌	FFG 調査月報	館紹介
11月27日	月刊誌	ながさきプレス	イルミネーション
12月	ウェブサイト	Japan Travel Planner	館紹介
12月28日	ウェブサイト	Walkerplus	イルミネーション
12月28日	ウェブサイト	駅探	イルミネーション

発売日・掲載日	種　別	媒　体	内　容
12月28日	ウェブサイト	日本旅行	イルミネーション
12月29日	ガイドブック	おとな旅プレミアム	館紹介
2月13日	ガイドブック	るるぶ九州ベスト ‘25	館紹介
2月21日	ガイドブック	日本のミュージアムを旅する	館紹介、ショップ紹介
3月1日	機関誌	文協	館紹介
3月5日	SNS	文化庁　博物館総合サイト Instagram	美術館ロゴ紹介
3月25日	月刊誌	地域創造レター	令和5年度公立美術館出前型研修事業開催報告

(3) プレスリリース（39件）

発行日	内　容
4月4日	春のぽかぽか美術館
4月11日	コレクション展展示替え「収蔵名品展」
5月26日	企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」
6月2日	2023こどもアートクラブ参加者募集
6月5日	コレクション展展示替え「新収蔵―池野清と池野巖」
6月16日	白衣の中に、アートの心を。～自分好みの役立て方で、医療現場でのコミュニケーションはもっと楽しくなる～ 参加者募集
6月25日	企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」内覧会
6月28日	企画展「トムとジェリー カートゥーン・カーニバル」
7月28日	企画展「トムとジェリー カートゥーン・カーニバル」内覧会
7月28日	2024年度 長崎県美術館・県民ギャラリー使用者募集
8月8日	台風接近に伴う臨時休館
8月9日	台風接近に伴う開館時間変更
8月17日	企画展「トムとジェリー カートゥーン・カーニバル」1万人セレモニー
8月17日	企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」1万人セレモニー
8月25日	ウィークエンドミュージアム
8月27日	企画展「トムとジェリー カートゥーン・カーニバル」3万人セレモニー
8月30日	企画展「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」
9月10日	コレクション展展示替え「東松照明と長崎」
9月15日	オリジナルバナーバッグ チャリティー販売会
9月20日	長崎県美術館名品展「移動美術館 IN 小値賀町」
10月4日	高齢者福祉施設出張ワークショップ
10月6日	企画展「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」オープニングセレモニー＆内覧会
10月14日	アートボランティア＆アートコミュニケーター募集
10月14日	長崎県美術館名品展「移動美術館 IN 波佐見町」
10月17日	ワークショップ「つくって探検！カラフル双眼鏡」
10月20日	小企画展「永田玄の眼 タイ古陶の美」
10月27日	コレクション展展示替え「長崎ゆかりの日本画」「世界遺産登録5周年記念展：祈りのありか」
11月20日	韓国慶南道立美術館との教育プログラム「韓国の作家 ペク・スンゴンの画業とコラージュによる空間表現」
11月27日	遠隔授業
11月28日	企画展「さくらももこ展」
11月28日	スペイン美術講演会「20世紀後半、日西の美術交流―民藝を軸に」
12月19日	正月優待企画「お正月2days コレクション展無料ご招待＆永見徳太郎展ご優待」
1月5日	企画展「さくらももこ展」内覧会
1月19日	令和6（2024）年度展覧会スケジュールのお知らせ
1月26日	コレクション展展示替え「森永純―写真の中の事実」「長崎ゆかりの染織作家たち」
1月29日	企画展「超絶技巧の鉛筆画 吉村芳生展」
2月14日	企画展「さくらももこ展」1万人セレモニー
3月6日	企画展「さくらももこ展」2万人セレモニー
3月29日	先生のための鑑賞教育×平和教育プラットフォーム「PEACE」運用開始

2）広報印刷物

令和５年度の展覧会を紹介する「年間スケジュール」、全館広報紙「長崎県美術館　月間スケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を紹介。館内へ設置するとともに会員、周辺施設へ配布した。
１週間の美術館情報を集約した「今週のご案内」を館内２箇所に掲示し、週ごとの情報発信を行った。

⑴年間スケジュール：Ａ４、三つ折り、４色／４色　40,000部

⑵月間スケジュール：
　Ｂ４、二つ折り、４色／４色　36,000部（3,000部／月）

⑶今週のご案内：Ｂ２、片面２色、毎週月曜日に情報更新

3）ホームページ

展覧会、教育普及、イベント、ミュージアムショップ、カフェ、美術館ニュースなどについて常にタイムリーな情報を更新。
また、貸会場の貸し出し状況の公開、収蔵作品紹介、募集案内（貸会場、スタッフ募集）などの情報公開も行った。
http://www.nagasaki-museum.jp

ページ構成：
・トップページ（週間スケジュール、イベントカレンダー、お知らせ）
・企画展（令和５年度企画展情報、トークショー開催レポート、企画展年間スケジュール）
・コレクション展（開催中の展覧会情報、コレクション展及び移動展年間スケジュール）
・県民ギャラリー等（貸会場のうち、展覧会を紹介）
・学校利用（スクールプログラム学校利用案内、Peace Education through Art Content Explorer）
・各種イベント（ワークショップ、講演会等、コンサート、アートビジョン、その他イベント情報）
・基本情報（施設情報、料金・アクセス、貸会場、館長あいさつ、コンセプト、沿革、条例、ボランティア、他館との連携、年報、財団財務状況）
・所蔵品検索（名品案内、作家検索、作品検索、コレクション展の作品、美術図書検索）
・各種申込み（ワークショップ、講演会、メルマガ申込み、会員（プレミアメンバーズ）、スクールプログラム、貸会場、団体申込み、ミュージアムショップ）
・ショップ&カフェ（ミュージアムショップ情報、カフェ情報）
・年間会員・寄附（パートナーズ紹介、寄附について）
・美術館公式X
・ミュージアムショップ公式X
・美術館公式 Instagram
・美術館公式 YouTube
・ブログアトリエ便り（教育普及・生涯学習事業の活動紹介）
・ながさきミュージアムネットワーク
・友好館（スペイン国立プラド美術館、釜山市立美術館）
・オフィシャルパートナー（株式会社ジャパネットホールディングス）
・英語版サイト（館長あいさつ、施設案内、開館時間等、アクセス、収蔵作品案内、年間スケジュール）
・リクルート（職員募集等）
・リンク（県内主要施設・観光団体・提携美術館・交通機関など20件にリンク）

アクセス件数：
562, 392件（１日平均1, 541件）

Peace Education through Art Content Explorer 画面（一部）

企画展画面（一部）

4）アートビジョン

館主催事業の情報や当館賛助会員企業名等の基本情報の放映、当館収蔵作品を紹介する映像、館内主催のイベント関連映像等を放映した。貸し施設として、館内のイベントと連動した告知映像、県内高校生の映像作品、県内自治体等の各種事業を紹介する映像を放映した。

1．主な基本上映内容

・総合案内映像（美術館基本情報）
・展覧会案内（企画展・コレクション展・県民ギャラリー・運河ギャラリーを告知）
・美術館ロゴモーショングラフィックス（日本デザインセンター制作）
・スペースシャワー TV 告知映像
・協賛企業名表記
・オフィシャルパートナー「株式会社ジャパネットホールディングス」の企業 CM

2．その他上映

No	上映日時	上映時間	上映回数	内容	主催者
1	4月1日㈯～ 5月14日㈰	10：00～18：00の間	328回	G 7 長崎保健大臣会合開催告知	長崎県文化観光国際部
2	4月16日㈰～ 令和 6 年 3 月31日㈰	11：30～15：30の間	975回	長崎県文化資源映像 「CROSSING NAGASAKI」	長崎県文化振興・世界遺産課
3	8月10日㈭	14：00～	1回	第105回全国高等学校野球選手権大会 創成館高等学校出場試合	日本高等学校野球連盟、朝日新聞社
4	10月26日㈭～ 10月29日㈰	10：00～16：30の間	24回	令和 5 年度長崎県高等学校総合文化祭 （美術部門）映像メディア入賞作品	長崎県高等学校文化連盟美術専門部

No. 1、2、4は、貸し施設として上映。

5）会員事業

⑴メールマガジン

毎月１回メールマガジンを発行。展覧会、イベント情報を掲載。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数：12回／会員数：1,554人（令和６年３月末）

⑵年間フリーパスポート

・コレクション展の年間フリーパス ※継続希望者のみ発行

料金：一般1,200円、大学生900円、小中高生600円、シニア（70歳以上）900円

年間発行実績：１枚（令和６年３月末）

⑶プレミアメンバーズカード（個人会員）

・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス

・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10％割引

・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：5,000円

会員数：563人（令和６年３月末）

⑷ミュージアムパートナーズカード（賛助会員）

・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス（１口につきカード１枚発行）

・１口につき館主催企画展招待券を50枚、コレクション展招待券を20枚発行

・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10％割引

・館内、アートビジョン、およびホームページにて賛助会員リストを記載

・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：１口50,000円

会員数：82法人・103口（令和６年３月末）

⑸キャンパスパートナーズ（大学会員）

・学生証の提示でコレクション展が年間フリーパス

・館主催企画展はコレクション展との差額料金（差額が500円を超える場合は500円）。

・カフェの料金を10％割引

年会費：

学生数	年会費（税込）
300人未満	30,000円
1,000人未満	80,000円
2,000人未満	150,000円
4,000人未満	250,000円
4,000人以上	350,000円

令和５年度会員：長崎外国語大学、長崎歯科衛生士専門学校、長崎県立大学シーボルト校、活水女子大学、長崎大学

⑹オフィシャルパートナー

・美術館事業への協賛

会員数：１法人（令和６年３月末）：株式会社ジャパネットホールディングス

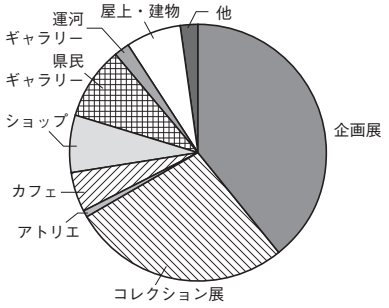
6）入館者アンケート

アンケート収集方法……記入用紙を館内３か所に設置しウェブフォームの二次元コード、URL を館内で表示した。回答は任意。
アンケートサンプル数……2, 313
アンケート質問内容
1．来館目的
2．満足度
3．来館回数
4．基本情報（性別、年齢、居住地）

集計結果：

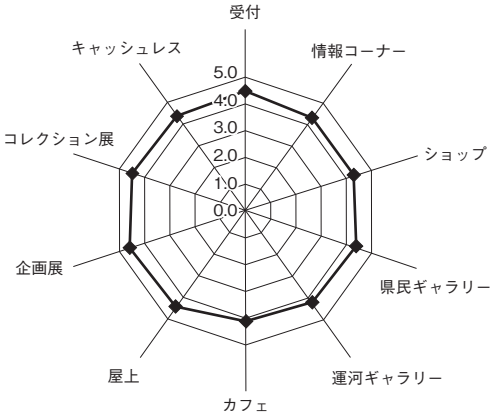
1

来館目的（複数回答）								
企画展	コレクション展	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	運河ギャラリー	屋上・建物	他
39%	27%	1％	5％	7％	9％	2％	7％	2％



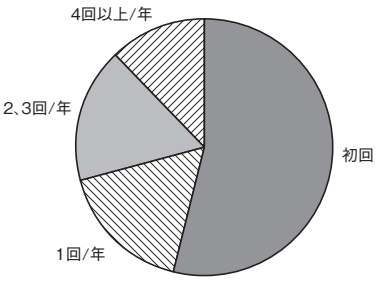
2

満足度（５段階評価）									
受付	情報コーナー	ショップ	県民ギャラリー	運河ギャラリー	カフェ	屋上	企画展	コレクション展	キャッシュレス
4. 5	4. 3	4. 3	4. 4	4. 3	4. 2	4. 5	4. 6	4. 5	4. 4



3

来館回数			
初回	1 回/年	2, 3回/年	4回以上/年
54%	17%	17%	12%

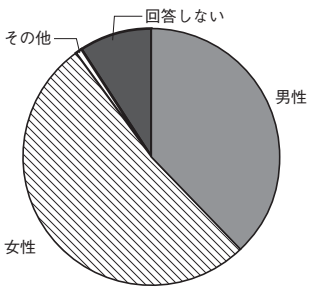


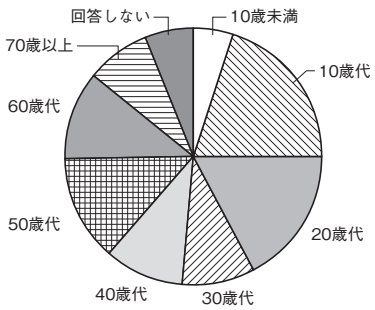
4

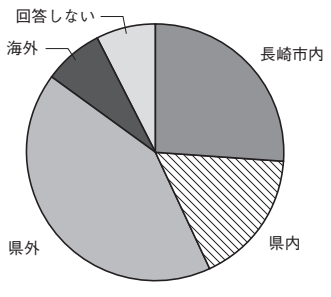
性別			
男性	女性	その他	回答しない
38%	52%	1％	9％

年齢								
10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	回答しない
5％	20%	17%	9％	10%	13%	11%	8％	6％

居住地				
長崎市内	県内	県外	海外	回答しない
25%	16%	40%	7％	7％







7）研修事業

令和４・５年度公立美術館地域展開型研修事業（美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ）

本事業は、一般財団法人地域創造が公募するオーダーメイド型の研修事業に採択され実施した。地方公共団体が設置する美術館の職員等の実践的な公立美術館運営能力の向上及び公立美術館の相互交流の促進を図るため、公立美術館の現場の要望にそった研修を令和４年度、５年度の２カ年にわたり開催するものである。
本研修の目的は、長崎県の公立美術館・博物館において、県の文化の創出や文化・芸術を通した交流人口の拡大を図り地域の活性化につながる施策を実施するために、各館の広報担当者が地域の特性や文化・芸術の分野に特化した効果的な広報展開や各館がもつデータを基にしたマーケティング手法を学ぶための研修を行うことである。
令和５年度は、第２回目及び第３回目の研修を行った。
対象：長崎県内の美術館・博物館の職員（広報担当、総務担当、学芸員など）、当該施設を設置する地方公共団体の行政部局の職員、博物館相当施設などの文化施設職員
会場：長崎県美術館ホール
主催：長崎県美術館、一般財団法人地域創造
参加費：無料

⑴第２回美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ
「常設展の魅力向上と来館者数増加のための施策を考える」
常設展の魅力向上と入場者数増加施策のための調査・分析に関する研修として、大阪市の博物館・美術館等が組織するミュージアム活性化実行委員会が2019年に行った「常設展の魅力向上にかかる調査業務」について、本業務に携わったお二人を講師に迎え、調査結果と実際に反映した施策について具体的な事例を紹介していただいた。
日時：令和５年７月19日㈬　13：30～17：00
内容：講義①「常設展の魅力向上にかかる調査について」
　　講師：船越幹央（大阪大学総合学術博物館教授）
　　講義②「調査結果を受けて―館での取り組み、機構での取り組み」
　　講師：釋知恵子（地方独立行政法人大阪市博物館機構　事務局経営企画課）
　　講義③「常設展示改修立案のための調査について」
　　講師：船越幹央
参加人数：22人

⑵第３回美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ
「ミュージアムから発信～デジタルマーケティング戦略と地域創生への取り組み～」
美術館・博物館における SNS での情報発信やデジタルマーケティング戦略の研修及び美術館・博物館が地域の魅力向上と交流人口の拡大に貢献するための研修として、お二人の講師に具体的な事例を紹介いただいた。
日時：令和６年２月14日㈬　13：30～17：20
内容：講義①「SNS を活用したデジタルマーケティング戦略」
　　講師：洞田貫晋一郎（森ビル株式会社　文化事業部 森美術館 広報・プロモーション担当　シニアエキスパート）
　　講義②「長崎の魅力を活用した地域創生及び広報戦略」
　　講師：鳥巣智行氏（株式会社 Better 代表取締役）
参加人数：18人

12. イベント等

1）主催・共催のイベント

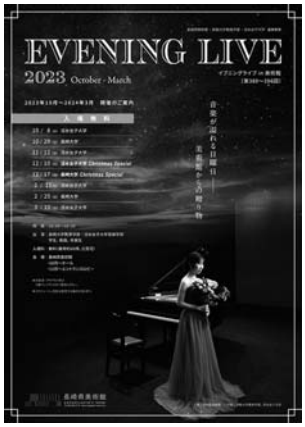
⑴イブニングライブ（無料）

概要：芸術の発信場所である美術館として、美術はもとより、芸術性の高い音楽を提供する事業として、開館年度である平成17年５月から開催。美術と音楽との融合を目指し、展覧会に沿った内容や季節に応じたコンサートを開催。大学との連携事業として、学生の学外における体験型教育の支援事業としても推進するとともに、学生ボランティアの活動の場を提供することで、広く地域との交流を持った事業として展開。展覧会や季節にちなんだ音楽を学生が企画し、一年を通して予定し、前期４～８月（計８回）、後期10～３月（計８回）を開催し、合計16回実施した。コロナ感染拡大防止のための中止はなかった。

出演：長崎大学教育学部、活水女子大学音楽学部学生・教員・卒業生

会期：毎月第２・４日曜日１日１ステージ開催

時間：夏時間〔４月～８月〕
16：30～17：00
冬時間〔10月～翌３月〕
16：00～16：30
※実施は16回
※令和５年度（第381回～第396回）

総入場者数：1,024人

⑵イブニングライブスペシャル（無料）

①イブニングライブスペシャル by 活水

「ワインと音楽　知られざるスペインの世界」

内容：企画展「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」関連企画として、〈スペイン〉のワインと音楽をテーマに鼎談と演奏、ワインの試飲を行なった。

日程：６月11日㈰　開場16：00～　開演16：30～

出演：キュレーター／テノール　中村仁（音楽学部講師）
ゲスト／ピアノ　丸山晟民
（パリ国立高等音楽院第２課程在学中）
ゲスト　森永慎一郎（ワインショップもりなが店長）

会場：ホール

入場者数：95人

②イブニングライブスペシャル by 長大

「東アジア・ミュージック・フェスティバル2024」

内容：東アジア・ミュージック・フェスティバルは、日本・中国・韓国の音楽家たちが集い、共演し対話する音楽会。これまで、長崎県と上海市、昌原市にある大学が中心となり、各地の自治体や文化団体とも協働しながら展開してきた。各国の実力派アーティストの華麗な競演に、地元若手アーティストによるアンサンブル、そして、今後の東アジアの実り豊かな多文化共生にむけたミニシンポジウム等、多彩なステージを開催した。

日程：令和６年２月25日㈰　開場18：00～　開演18：30～

出演：ソプラノ：潘幽燕 Pan Youyan
テノール：キム・ドンスン Kim Dongsoon
ユニットN：中村卓士（ピアノ）、岩崎梓（フルート）、村畑幸得（クラリネット）
時津仁美（ヴァイオリン）、村田静菜（チェロ）
ピアノ：堀内伊吹　新井友梨
参加大学…上海師範大学音楽院、昌原大学校芸術大学、活水女子大学、長崎大学

会場：エントランス

参加人数：80人

2）主催以外のイベント

⑴2023ながさきみなとまつり「打ち上げ花火」鑑賞（無料）
日程：７月29日㈯、30日㈰　開場20：10　開演20：30～
会場：屋上庭園
観客数：合計1,556人（29日921人、30日635人）

⑵ユネスコ無形文化遺産・南音と古琴の世界コンサート（無料）
南音と古琴はユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に登録された中国伝統音楽である。今回は、著名な音楽伝承者・演奏家を招聘し、こうしたアジア文化交流史のダイナミズムを、「世界無形文化遺産」南音と古琴を通して俯瞰することを目的とする。
日程：令和６年２月11日（日・祝）　開場11：00　開演11：30～
会場：エントランスロビー　　観客数：60人

3）協力事業

⑴NAGASAKI 夏まつり2023　スペシャル感謝祭コンサート in 長崎県美術館（有料）
長崎の風物詩「ながさきみなとまつり」の２日間、長崎県美術館ホールでコンサートを同時開催。花火大会は屋上からの絶景をアーティストとともに鑑賞します。コロナ明けの今年の夏は音楽の力、アートの力で笑顔と勇気＆感動を！
出演者：得田サトシ、中西弾、吉本ヒロ、赤松貴文、家永玲於、岩佐一成、変面ショー、スマートオブジェクト.、松尾由佳
観客数：130人（７／29）、150人（７／30）
主催：（一財）松尾財団／㈱タクト
協力：公益財団法人長崎ミュージアム振興財団
スケジュール：
Day１　７月29日㈯
　　19：00～　コンサート「お祭りデー」
　　20：30～　花火大会鑑賞会
Day２　７月30日㈰
　　19：00～　コンサート「平和の祈り」
　　20：30～　花火大会鑑賞会
チケット料金：
各日2,000円（全席自由）／両日通し券3,000円（全席自由）／当日券　+500円

⑵FM Nagasaki presents　畠山美由紀＆藤本一馬 Premium Live（有料）
日程：５月21日㈰　開場17：00　開演17：30
会場：ホール　　観客数：110人
出演：畠山美由紀（Vo.）藤本一馬（Gui）
主催：エフエム長崎　協力：長崎県美術館

⑶Skoop On Somebody「Coming 2 you 2023」（有料）
日程：６月17日㈯　開場16：00　開演16：30
会場：ホール　　観客数：100人
料金：当日8,800円
出演：Skoop On Somebody
主催：エフエム長崎　協力：長崎県美術館

⑷冬にわかれて（有料）
日程：令和６年１月13日㈯　開場20：00　開演20：30
会場：エントランスロビー　観客数：230人
料金：前売り4,000円／当日4,500円／学生1,500円
　　※小学生まで無料
出演：寺尾紗穂（Pf.）、伊賀航（B.）、あだち簾三郎（Drs.）
主催：エフエム長崎　協力：長崎県美術館

⑸柏木広樹＆光田健一 Duo Live Tour 2023“二人旅”（有料）
日程：令和６年１月31日㈬　開場19：00　開演18：30
会場：ホール　　観客数：80人
料金：前売5,500円、当日6,000円
出演：柏木広樹（チェロ）、光田健一（ピアノ）
主催：エフエム長崎　協力：長崎県美術館

⑹Namikaze　―Challenger Ecosystem―
長崎県内外の最前線で活躍しているチャレンジャーによるトークセッション。大石知事もトークショーに参加。テーマは「事業承継」や「ブランディング」、「チームビルディング」など、起業家・ビジネスパーソン、どんな人にもお楽しみいただける内容を企画した。その他、AI ワークショップやコミュニケーションワークショップ、企業展示を実施。
日時：令和６年２月２日㈮　14：00～20：00、２月３日㈯　11：00～20：00（30分前開場）
会場：CO-DEJIMA（出島交流会館２階）、長崎県美術館
協力：長崎県、CO-DEJIMA　　協力：長崎県美術館　他
人数：トークショーイベント参加者　延べ400人
　　ナイトミュージアム40人　　交流会39人
スケジュール：
・DAY１　２月２日㈮
　①14：00～17：00　ワークショップ（会場｜CO-DEJIMA）
　②17：30～18：20　トークショー（会場｜長崎県美術館 エントランスロビー）
　③18：00～20：00　展示「ナイトミュージアム～Diver~ AI と創られた夜の美術館にあなただけの宝物を探しに行こう」（会場｜長崎県美術館 運河ギャラリー）
　④18：30～20：00　交流会（会場｜長崎県美術館 ホール）

・DAY２　２月３日㈯
①11：00～13：00　ワークショップ「アート観賞で創造性を磨く体験型自己探求！」（会場｜長崎県美術館 常設展示室＋アトリエ）
②11：00～17：50　トークショー（会場｜長崎県美術館 エントランスロビー）
③18：00～20：00　交流会（会場｜CO-DEJIMA）

同時開催｜２月３日㈯　長崎友輪家イベント
10：00～18：00　フォト展示（会場｜長崎県美術館 運河ギャラリー）
11：00～17：00　マルシェ（会場｜長崎県美術館 運河劇場）
11：00～17：00　イートインスペース（会場｜長崎県美術館 アトリエ）

⑺2024長崎ランタンフェスティバルコラボイベント
「愛と平和のコンサート in Nagasaki」
日程：令和６年２月23日㈮　開場20：00　開演20：15
会場：エントランスロビー　　観客数：174人
出演者：ツァオ・レイ（二胡）、中村卓志（ピアノ）、吉本ヒロ（パーカッション）、赤松貴文（ベース）、家長玲於（チェロ）他
料金：指定席5,000円、自由席3,000円、学生1,000円
※未就学児入場不可
主催：（一財）松尾財団　　共催：㈱夢成人、㈱タクト
後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会
協力：長崎県美術館、エフエム長崎

⑻FM Nagasaki「Fly-Day Wonder 3」20th Anniversary
（有料）
黒猫同盟 Tour 2024　めざせ！モンマルトル supported by TAKE OFF
日程：３月28日㈭　開場20：00　開演20：30
会場：エントランスロビー　　観客数：230人
料金：全自由　7,700円（整理番号付・税込）
出演：黒猫同盟（上田ケンジと小泉今日子）、akkin（Guitar）、奥野真哉（Keyboad）
主催：エフエム長崎　協力：長崎県美術館

13. 貸施設事業

1）県民ギャラリー

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	〈前期〉4月18日(火)～4月23日(日) 〈中期〉4月25日(火)～4月30日(日) 〈後期〉5月2日(火)～5月7日(日)	第48回長崎県書道展	全室	株式会社長崎新聞社	3,503
2	5月9日(火)～5月14日(日)	第75回記念二紀展長崎巡回展	全室	一般社団法人二紀会長崎支部	1,289
3	5月16日(火)～5月21日(日)	第21回南島原市セミナリヨ現代版画展巡回展	全室	南島原市セミナリヨ版画祭実行委員会（南島原市教育委員会）	866
4	5月23日(火)～5月28日(日)	脇坂登志雄　油絵展	A室	脇坂登志雄	753
5	5月23日(火)～5月28日(日)	第38回長崎南画青房会展	B室	長崎南画青房会	850
6	6月1日(木)～6月4日(日)	第20回長崎県ねんりんピック生きがい作品展	全室	公益財団法人長崎県すこやか長寿財団	1,397
7	6月6日(火)～6月11日(日)	ハンセン病療養所長崎県出身入所者等の作品展・パネル展	A室	長崎県福祉保健部国保・健康増進課	741
8	6月6日(火)～6月11日(日)	第19回水彩連盟長崎支部展	B室	水彩連盟長崎支部	1,106
9	6月6日(火)～6月11日(日)	第48回長崎市写真団体合同展	C室	長崎市写真団体合同展実行委員会	1,134
10	6月14日(水)～6月25日(日)	第54回長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	2,386
11	6月27日(火)～7月2日(日)	第3回永尾あつ子展	A室	永尾あつ子	842
12	6月27日(火)～7月2日(日)	第23回白日会長崎支部展覧会	BC室	白日会長崎支部	771
13	7月4日(火)～7月9日(日)	「ありがとうのおくりもの」 —newborn photo—	A室	Kotonoha×ecru photography.	983
14	7月4日(火)～7月9日(日)	第49回長崎県水彩画展	BC室	長崎県水彩画協会	962
15	7月11日(火)～7月16日(日)	田中秀穂油彩画展「旅の思い出と長崎を描く」	A室	田中秀穂	1,449
16	7月11日(火)～7月16日(日)	川浪義光写真展「刻の彩り4」	B室	川浪義光	953
17	7月11日(火)～7月16日(日)	2023日洋会長崎支部展	C室	日洋会長崎支部	858
18	7月18日(火)～7月23日(日)	第21回長崎アートフェスティバル	全室	npo法人長崎市美術振興会	1,252
19	7月25日(火)～7月30日(日)	いのち、さくとき。岡村智佐子展	A室	岡村智佐子	534
20	7月25日(火)～7月30日(日)	8月8日は『両親の日』合同作品展	B室	RRC 808（呼吸リハビリテーション倶楽部808）	736
21	7月25日(火)～7月30日(日)	8＋9　2023　さりげない平和を通して Ⅱ—被爆の継承—	C室	RINGART運営委員会	719
22	8月2日(水)～8月6日(日)	第44回ながさき8・9平和展	全室	ながさき8・9平和展企画委員会	1,025
23	8月11日(金)～9月3日(日)	トムとジェリー　カートゥーン・カーニバル	全室	長崎県美術館 共催／NCC長崎文化放送	44,231
24	9月17日(日)～10月1日(日)	第68回長崎県美術展覧会	全室 企画展示室	長崎県美術展覧会実行委員会	8,762
25	10月4日(水)～10月9日(月振)	西澤律子写真展　C'est Joli！～世界でみつけたここちいい時間～	A室	西澤律子	1,076
26	10月4日(水)～10月9日(月振)	ねじまき鳥ドローン部写真展2022	B室	ねじまき鳥ドローン部	1,361
27	10月4日(水)～10月9日(月振)	第50回日本水彩画会長崎支部展	C室	日本水彩画会長崎支部	1,096
28	10月11日(水)～10月15日(日)	海街、長崎からつながる水中世界	A室	ダイブショップスマイラーズ	1,091
29	10月11日(水)～10月15日(日)	中尾・江東油絵二人展	B室	中尾静枝 江東由紀子	791
30	10月11日(水)～10月15日(日)	第76回三菱重工洋画クラブ展	C室	三菱重工洋画クラブ	883
31	10月17日(火)～10月22日(日)	第57回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	844
32	10月25日(水)～10月29日(日)	令和5年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】（高校美術展）	全室	長崎県高等学校文化連盟美術専門部	1,812
33	11月1日(水)～11月5日(日)	長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	2,473
34	11月7日(火)～11月12日(日)	第42回長崎県美術協会洋画部会員展	全室	長崎県美術協会洋画部	1,049
35	11月14日(火)～11月19日(日)	母のポートレート展	A室	塚田遼平	605
36	11月14日(火)～11月19日(日)	国際公募アート未来第16回長崎支部展	B室	国際公募アート未来長崎支部	670
37	11月14日(火)～11月19日(日)	第32回長崎県美術協会書部代表作家展	C室	長崎県美術協会書部	737
38	〈前期〉11月23日(木・祝)～12月1日(金) 〈後期〉12月3日(日)～12月10日(日)	第72回長崎市民美術展	全室	長崎市民美術展実行委員会	7,622
39	12月12日(火)～12月17日(日)	第4回新日会日本画展	A室	新日会	439

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
40	12月12日(火)～12月17日(日)	第57回日本リアリズム写真集団(JRP)長崎支部写真展	B室	日本リアリズム写真集団(JRP)長崎支部	503
41	12月12日(火)～12月17日(日)	長崎県立波佐見高等学校美術・工芸科第７回卒業制作展	C室	長崎県立波佐見高等学校美術・工芸科	414
42	１月７日(日)～１月14日(日)	第19回長崎県選抜作家美術展	全室	長崎県選抜作家美術展運営委員会	2,010
43	１月16日(火)～１月21日(日)	第69回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」	全室	長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会	3,874
44	１月23日(火)～１月28日(日)	第72回長崎市小中学校連合美術展	全室	長崎市教育委員会、長崎市小学校図工・書写研究部、長崎市中学校美術・書写研究部	12,000
45	１月31日(水)～２月４日(日)	第11回長崎市障害者アート作品展	全室	長崎市福祉部障害福祉課	1,388
46	２月６日(火)～２月11日(日)	第42回長崎県美術協会日本画部合同展	ＡＢ室	長崎県美術協会日本画部合同展	826
47	２月６日(火)～２月11日(日)	2023年度（第17回）活水女子大学生活デザイン学科作品展	C室	活水女子大学健康生活学部生活デザイン学科	842
48	２月14日(水)～２月18日(日)	第５回けいほ展	A室	瓊浦高等学校	872
49	２月14日(水)～２月18日(日)	npo 法人長崎美術振興会第34回南画部展	B室	npo 法人長崎市美術振興会南画部	649
50	２月14日(水)～２月18日(日)	長崎県美術協会第22回写真部会員展	C室	長崎県美術協会写真部	667
51	２月20日(火)～２月25日(日)	どうび展	A室	長崎児童美術研究会	773
52	２月20日(火)～２月25日(日)	第25回長崎県合同押花展	B室	長崎つばき押花会	610
53	２月20日(火)～２月25日(日)	かしわの会＆DS（デッサンスタイル）絵画展覧会	C室	かしわの会	1,016
54	２月27日(火)～３月３日(日)	npo 法人長崎市美術振興会洋画部展2024	A室	npo 法人長崎市美術振興会洋画部	933
55	２月27日(火)～３月３日(日)	第23回「西の会」展	ＢＣ室	加野絵画研究室	1,036
56	３月５日(火)～３月10日(日)	日々日常展＋inNagasaki	A室	ながさきＲぶりゅっと	661
57	３月５日(火)～３月10日(日)	松村明写真選集展　立ち上がる光	B室	松村明	670
58	３月５日(火)～３月10日(日)	第35回長崎創造展	C室	創造会長崎支部	904
59	３月12日(火)～３月17日(日)	長崎県美術協会デザイン部作品展	ＡＢ室	長崎県美術協会デザイン部	650
60	３月19日(火)～３月24日(日)	日韓現代美術展（Deux　Soleils）展―二つの太陽―（国際的な友情に寄せて）	A室	日韓現代美術展（Deux　Soleils）展運営委員会	1,269
61	３月19日(火)～３月24日(日)	馬場和男遺作展	C室	馬場和男遺作展実行委員会	1,605
				県民ギャラリー入場者数合計	134,823

２）ホール等

No.	使用日	行事名	会場	使用者
1	４月８日(土)～４月９日(日)	リトルブラックドレス noir 展＆蝶ネクタイ展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
2	４月11日(火)～４月16日(日)	岡田龍征　色鉛筆画「絵顔展」	運河ギャラリー	岡田真紀子
3	４月15日(土)	「青春のパリ！建孝三、山口修二人のギタリスト」	ホール講座室	コンサートホール40音楽小屋
4	５月９日(火)	中国の二胡とピアノコンサート	ホール講座室	日本楽友協会
5	５月19日(金)～５月20日(土)	第９回九州心臓弁膜症カンファレンス	ホール講座室	日本ライフライン株式会社
6	６月10日(土)	「二胡と楊琴の調べ2023」	ホール講座室	弦悦二胡学院
7	６月17日(土)	Skoop On Somebody「Coming 2 you2023」	ホール講座室	株式会社エフエム長崎
8	６月18日(日)～６月19日(月)	リトルブラックドレス noir 展＆蝶ネクタイ展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
9	６月22日(木)	AKIRA NAGATA FLUTE RECITAL『クロスオーバーの世界』	ホール講座室	SALP-Such A Lovely Place
10	７月11日(火)～７月16日(日)	藤井勝雲窯作陶展	運河ギャラリー	藤井勝雲窯　窯元藤井勝雲
11	７月15日(土)～７月17日(月)	建築家との家づくり相談会	ホール	株式会社上山建設（ASJ）
12	７月20日(木)	第２回写真フォーラム	ホール	npo 長崎市法人長崎市美術振興会写真部
13	７月21日(金)～７月23日(日)	本家鍋島緞通展	運河ギャラリー	本家鍋島緞通吉島伸一鍋島緞通株式会社
14	７月25日(火)～７月30日(日)	国獣展2023	運河ギャラリー	国獣 PROJECT
15	８月18日(金)	《ある日、オリーブの丘で》	ホール講座室	k-music
16	８月18日(金)～８月20日(日)	長崎県の保護犬保護猫ビフォーアフター展	運河ギャラリー	一般社団法人ネコノタメナラ
17	８月21日(月)～９月３日(日)	ぼくの絵、わたしの絵展～第82回全国教育美術展	運河ギャラリー	NHK 長崎放送局
18	８月25日(金)	松元りさソロコンサート	ホール講座室	オペレッタ座
19	９月７日(木)～９月８日(金)	学会「2023年有機反応機構研究会」	ホール講座室	長崎県工業技術センター工業材料環境科

No.	使用日	行事名	会場	使用者
20	9月17日(日)～9月19日(火)	リトルブラックドレス noir 展&蝶ネクタイ展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
21	9月18日(月)	高野寛 with 宮川剛・九州ツアー2023「大福長熊」長崎編	ホール講座室	薬院レコード
22	9月24日(日)	音楽物語「アニオー」	ホール	プロジェクト・アニオー
23	10月16日(月)～10月25日(水)	NHK 大河ドラマ「どうする家康」巡回展	ホール	NHK 長崎放送局
24	11月4日(土)～11月6日(月)	リトルブラックドレス noir 展&蝶ネクタイ展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
25	11月7日(火)～11月8日(水)	NPDG 国際会議	ホール講座室	外務省軍備管理軍縮課
26	11月21日(火)～11月26日(日)	三菱重工グループ子どもスケッチ大会作品展	運河ギャラリー	ダイヤモンドオフィスサービス株式会社
27	11月24日(金)	ルジェク・シャバカピアノリサイタル in 長崎県美術館	ホール講座室	国際の街・長崎コンサート実行委員会
28	11月28日(火)～12月7日(木)	令和5年度ＪＡ共済小・中学生書道コンクール入賞作品展示会	運河ギャラリー	全国共済農業協同組合連合会長崎県本部
29	12月8日(金)～12月10日(日)	第35回長崎県まちづくりの絵コンクール作品展	運河ギャラリー	長崎県土木部、長崎県都市計画協議会
30	1月7日(日)	カレンダー市2024～あなたもできる国際協力～	ホール	学生国際 NGO BOAT
31	1月20日(土)～1月21日(日)	リトルブラックドレス noir 展&蝶ネクタイ展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
32	1月25日(木)～1月26日(金)	2024年1月研究会電子情報通信学会　LOIS 研究会／ICM 研究会	ホール講座室	一般社団法人　電子情報通信学会
33	1月28日(日)	山王保育園造形作品展	運河ギャラリー	社会福祉法人山王保育園
34	2月18日(日)	Ｖファーレン長崎・ファンミーティング	ホール	Ｖファーレン長崎
35	2月7日(水)～2月12日(月・祝)	アールブリュット　はじめの一歩展（障害者アート展）	運河ギャラリー	長崎県障害者社会参加推進センター
36	2月15日(木)～2月18日(日)	第29回長崎県立長崎工業高等学校インテリア科展	運河ギャラリー	長崎県立長崎工業高等学校
37	2月20日(火)～2月25日(日)	第15回タナカタケシ油絵教室作品展	運河ギャラリー	タナカタケシ油絵教室
38	2月29日(木)～3月4日(月)	令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクール入選作品展	運河ギャラリー	長崎県地域振興部市町村課
39	3月2日(土)～3月3日(日)	第19回 NCC ふるさと CM 大賞　最終審査・表彰式	ホール講座室	長崎文化放送株式会社
40	3月9日(土)～3月10日(日)	海ちゃんぽん展～6組の異素材アートのコラボ～	運河ギャラリー	Hui Kai Art 協会
41	3月12日(火)～3月14日(木)	アートミュケーション展（Artmucation '24）	運河ギャラリー	縁 JOY プロジェクト、長崎県
42	3月16日(土)～3月24日(日)	第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作品展	運河ギャラリー	長崎県農業協同組合中央会
43	3月26日(火)～4月6日(土)	第7回パープルデーながさき2024てんかんアート展	運河ギャラリー	長崎医療センター

3）その他の設備

館内フリー Wi-Fi サービス提供開始

サービス開始日：5月21日(日)

名称：長崎県美術館 Free Wi-Fi

料金：無料（展示室を含むすべての場所で利用可能）

制限：1回あたり4時間まで

14. ショップ、カフェ

1）ショップ事業

１Ｆショップは、展覧会図録販売の増加に加え、展覧会関連のキャンペーンやSNSによる宣伝に注力した結果、全体の利用者が増加した結果、対前年比で増収となった。特設ショップもイッタラ展の他、トムとジェリー展やさくらももこ展といったキャラクター関連グッズが好調に推移し良好な実績を残すことができた。

〈１Ｆショップ売れ筋商品〉
展覧会図録
長崎県美術館 BISCUI10（プレーン・ココア）
ポストカード
しおり

	利用者数	来館者利用割合	年間収入額
１Ｆショップ	15,255人	5.1%	21,528千円
特設ショップ	−	−	17,905千円
合計	15,255人	5.1%	39,433千円

2）カフェ事業

展覧会で展開したパフェやスイーツが好評だったことから客単価が大きく上回った。仕入原価高騰より販売価格の値上げを余儀なくし、原価率において前年並みを維持し６年振りの営業利益を確保することができた。商品面ではスペイン産ビール並びにワインの提供や展覧会限定パフェも人気を呼んだ。

〈売れ筋商品〉
長崎角煮ごはん
たっぷり野菜長崎ハムサンド
コーヒー
展覧会限定パフェ

利用者数	来館者利用割合	年間収入額
16,506人	5.5%	16,943千円

〈企画展オリジナルメニュー〉

トムとジェリー
カートゥーン・カーニバル

トムとジェリーの
カーニバルパフェ

さくらももこ展

まるちゃんの
苺づくしパフェ

コジコジの
生クリーム・オ・レ

令和 5 年度
長崎県美術館年報 No. 18
2025年 3 月発行

編集･発行：長崎県美術館（公益財団法人　長崎ミュージアム振興財団）
〒850-0862 長崎市出島町 2 番 1 号
TEL 095 - 833 - 2110／FAX 095 - 833 - 2115

印刷：株式会社昭和堂

©Nagasaki Prefectural Art Museum, 2025

長崎県美術館

Nagasaki Prefectural Art Museum